

NEC



CEREBを使いこなそう

- アプリケーションの紹介
- CEREBメニュー/サイバーホーム3D/98ランチバー
- テレビを見る ●パソコン通信をする ●インターネットを使う
- 翻訳ソフトを使う ●マルチメディア機能を使う
- 留守番電話やファックスを使う ●こんな機能もあります
- その他のアプリケーションを使う ●Windowsを使う

NECパーソナルコンピュータ

PC-9800シリーズ

PC-9821 C233/C166

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は、万全を期して作成しております。万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、(3) 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
 - ・ 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NIFTY Managerは、ニフティ㈱の商標です。

Sound Canvas、DoReMiX、通信ジュークは、ローランド株式会社の商標です。

電脳戦機バーチャロン、Cyber Troopers VIRTUAL-ONはセガの商標です。

FontAvenue、瑞筆は、日本電気オフィスシステム株式会社の登録商標です。

98TVで表示する地図の作成にあたっては、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の300万分の1日本とその周辺、及び50万分の1地方図を使用したものである。(承認番号 平8総使、57号)

Photo CD portions copyright Eastman Kodak Company 1995

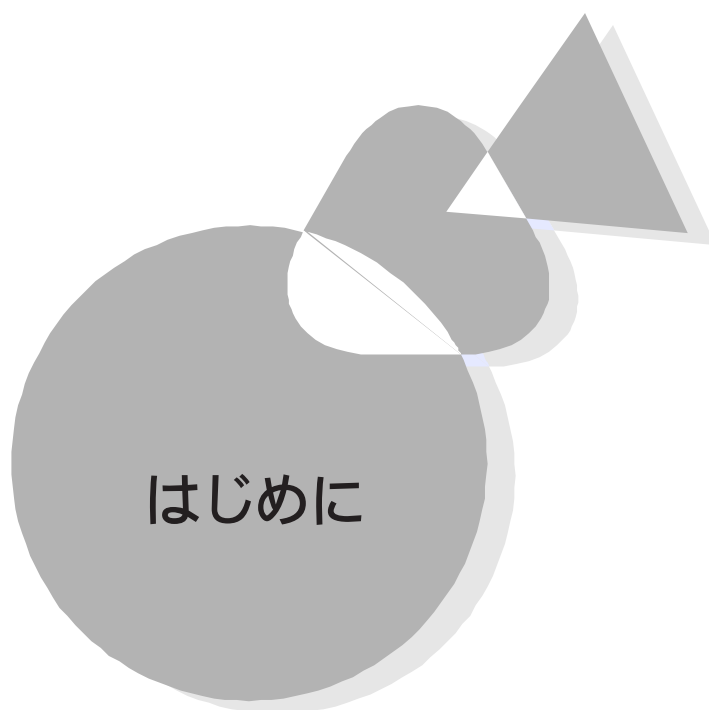
Activision is a registered trademark, and shanghai is a trademark of Activision, inc.

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

© NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

BN771A



本機には、CEREBメニューやそのほかさまざまなアプリケーションが添付されており、購入したその日から使いはじめることができるようになっています。

本書はそれらのアプリケーションの紹介と基本的な使い方について説明しています。

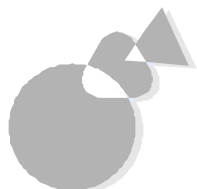
1997年6月 初版

1997年7月 2版

このマニュアルの構成

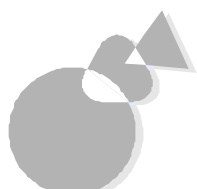
このマニュアルは次の内容で構成されています。
なお、このマニュアルは次の機種を対象にしています。

- ・ PC-9821C233/V
- ・ PC-9821C166/D



Part 1 アプリケーションの紹介

CEREBメニューに登録されているプログラムをCEREBメニューのグループごとに紹介しています。



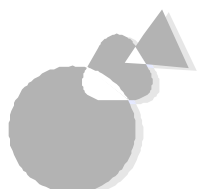
Part 2 98ランチバー/CEREBメニュー/ サイバーホーム3D

98ランチバー/CEREBメニュー/サイバーホーム3Dの各画面やアプリケーションの操作方法について説明しています。



Part 3 テレビを見る

本機でテレビを見たり、画像の取り込みを行うための操作方法について説明しています。



Part 4 パソコン通信をする

本機でPC-VANやNIFTY-Serveに接続するための設定方法について説明しています。



Part 5 インターネットを使う

本機でWWW(World Wide Web)に接続する方法を説明しています。



Part 6 翻訳ソフトを使う

英文を作成したり、英語を日本語に翻訳するのに便利なソフトの簡単な使用方法について説明しています。



Part 7 マルチメディア機能を使う

DVD-VIDEOディスク やCDを再生したり、電子アルバムを作ったりするのに便利なソフトについて説明しています。

DVD-VIDEOディスクの再生は、PC-9821C233/Vでのみご利用になれます。



Part 8 留守番電話やファックスを使う

留守番電話機能やファックスを使うための方法について説明しています。



Part 9 こんな機能もあります

本機を使いこなすのに便利なツールについて説明しています。



Part 10 その他のアプリケーションを使う

これまで説明した以外に、本機で使えるソフトを紹介します。



Part 11 Windowsを使う

Windowsのデスクトップでの操作を説明しています。



付録

各アプリケーションをメディアコントローラで操作する方法を一覧で紹介します。詳しくは、各アプリケーションの説明をご覧ください。

本書では、次のアプリケーションについての操作説明はしていません。
これらのアプリケーションの操作説明については、それぞれのマニュアル、またはオンラインヘルプを参照してください。

- Virtual Sound Canvas VSC-88
- 通信ジュークカラオケ
- MusicBox
- 通信カラオケ シングる
- Photo Museum
- Windows 95のアクセサリ類
- Microsoft Works for Windows 95
- DoReMiX
- てきばき家計簿Windowsマム
- 駅すばあと for Windows 95
- スーパー上海ドラゴンズアイ
- 「くりっく亭」1号店 家庭料理館

次の情報については、本機に添付されている次のマニュアルを参照してください。

- Windows95の基本操作について知りたい
『かんたんスタートガイド』
『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』
- インターネットをしたい
『インターネットスタートガイド』
- Windows95以外のOSを使いたい
『再セットアップガイド』
- システムを再セットアップしたい
『再セットアップガイド』
- MS-DOSモードで使いたい
『ステップアップガイド』
- 周辺機の接続方法やハードウェアの設定について知りたい
『ステップアップガイド』

■ ソフトウェアの最新情報のお知らせ

製品の最新情報、ソフトウェアのアップデートサービスの情報（ソフトウェアの強化・修正情報、モジュールの入手情報）を、FAXサービス、パソコン通信、インターネットでご案内しております。

- NECパソコン情報FAXサービス
FAX 東京：(03)8769-9821
大阪：(06)804-9821
- パソコン通信
PC-VAN NECパソコン情報（J NECPC）
NIFTY-Serve NEC Information Center Forum（GO FNECINFO）
- インターネット
98 Information URL <http://www.nec.co.jp/98/>

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性があります。



参考にしていただきたいことを説明しています。



本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

CD-ROMドライブ

PC-9821C233/VではDVD-ROMドライブを、PC-9821C166/DではCD-ROMドライブを指します。

BSワイド
ディスプレイテレビ

PC-DH28W1、PC-DH32W1を指します。

[XXX]

[]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[OK]ボタン

ESC

キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

マウス

マウスおよびメディアコントローラに付いているトラックボールを指します。

キーボード

本機添付のワイヤレスキーボードおよび別売のPC-9800シリーズ用キーボードを指します。

記載されているアプリケーションなどの製品正式名称は、以下のとおりです。

本文中の表記

正式名称

Windows 95

Microsoft® Windows® 95 Operating System

Windows 3.1

Microsoft® Windows® Operating System Version 3.1

Works
for Windows 95、
Works

Microsoft® Works for Windows® 95

アプリケーションを起動する方法は、CEREBメニューからの操作方法を説明しています。

[居間]グループ	CEREBメニューの グループを指しています。
[書斎]グループ	
[プレイルーム]グループ	
[インターネットお気に入り]グループ	
[インターネット&パソコン通信]グループ	
[書庫]グループ	

本文の画面は、実際の画面表示と異なる場合があります。

安全にお使いいただくために

△警告

- 本機に添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。
大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

目次

はじめに

このマニュアルの構成 iv

このマニュアルの表記について viii

Part 1 アプリケーションの紹介

アプリケーション一覧 2

アプリケーション利用上の注意 12

Part 2 98ランチバー/CEREBメニュー/ サイバーホーム3D

98ランチバー/CEREBメニュー/サイバーホーム3D 14

アプリケーションを操作する 15

Part 3 テレビを見る

98TVを操作する 22

98TVセットアップを操作する 34

色を調整する 35

チャンネルを設定する 36

ハイビジョン入力を設定する 39

電源をONにした後、すぐにテレビを見たいときは 40

Part 4 パソコン通信をする

BIGLOBE PC-VANを利用する～PC-VANナビゲータ 43

BIGLOBEサインアップナビ 43

PC-VANに接続する 52

NIFTY-Serveを利用する～NIFTY Manager 55

NIFTY-Serveサインアップ	55
NIFTY-Serveに接続する	61

Part 5 インターネットを使う

インターネットを利用する	66
--------------------	----

Part 6 翻訳ソフトを使う

英文を作成する～翻訳アダプタ	68
英語を日本語に翻訳する～翻訳アダプタ	70

Part 7 マルチメディア機能を使う

DVDプレーヤを使う	74
DVDプレーヤを起動する	74
DVDの設定	78
画面を設定する	79
DVDプレーヤを使用する際の注意事項	80
オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する～98プレーヤ	81
CDを再生する	82
オーディオCDを聴く	83
ビデオCD(カラオケCD)を見る	85
オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する	88
フォトCDを見る	89
電源をONにした後、すぐにCDプレーヤを使いたいときは	91
カーナビゲーション用CDを再生する～98MapPlayer	94
98MapPlayerを起動する	94
地図上の表示情報(ランドマーク)を利用する	97
IIS(Integrated Information Services)を利用する	102
画像や音声を編集する～98FILM工房	104
アルバムを作る～アルバム工房Light	110
はがきを作る	115
ビデオを作る	121
イメージスキャナユーティリティを使う	122

イメージスキャナユーティリティを起動する	122
機器の設定をする	122
読み込む画像の設定を変更する	124
画像を読み込んで編集する	124
イメージスキャナユーティリティの注意事項	127
カラーイメージユーティリティを使う	128
カラーイメージユーティリティを起動する	128
ディスプレイの設定	129
イメージデータを編集する	129
カラーイメージユーティリティの注意事項	130
マルチメディア機能を使う場合の注意	131
メディアプレーヤを利用する場合のご注意	131
ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意	131

Part 8 留守番電話やファックスを使う

留守番電話機能を使う	134
ファックスを送る/受ける	137

Part 9 こんな機能もあります

98Timerを使う	142
タイマプログラムを設定する	142
カレンダーを使う	150
ボイスリモコンを使う	155
文章をパソコンに読ませる～テキストリーダー	158
パソコンで電話番号案内を使う～Angel Line for Windows	160
コンピュータウイルスに備える～ScanVakzin Limited	163
ScanVakzin Limitedを使ってウイルスを検査する	163
海外ゲーム対応ユーティリティを使う	165
フォントを利用する～FontAvenueフォント	166
TrueType版FontAvenueフォントのご紹介	166
TrueType版FontAvenueフォントの削除と追加	167
FontAvenueフォントのJIS文字セットとベースラインを設定する ..	169
WIFE版FontAvenueフォントをTrueType版FontAvenueフォントで 代替する	172

Windows 3.1で作成したFontAvenueの外字をWindows 95に 移行する	172
WIFE版FontAvenueフォントについて	175
FontAvenueボードの注意事項	176
LANシリーズのデータを見る～LANWORD、LANPLAN/G、LANFILE ファイルのクイック表示	177
英語モードフォントを使用する	179
DOS APインストーラ	181
MS-DOSアプリケーションをインストールしてショートカットを 作成する	182
MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する	187
MS-DOSアプリケーションのショートカットのデバイスドライバ、 環境変数を変更する	188
DOS APインストーラの注意事項	188
手作業によるアプリケーションの登録	190
アプリケーションを利用する際の注意	191

Part 10 その他のアプリケーションを使う

その他のアプリケーションを利用する	194
-------------------------	-----

Part 11 Windowsを使う

Windowsのデスクトップを利用する	212
---------------------------	-----

付録

メディアコントローラ操作早見表	216
索引	221

アプリケーションの紹介

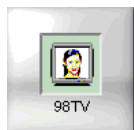
本機にはさまざまなアプリケーションがあらかじめ添付されており、すぐに使えるようになっています。ここでは、これらのアプリケーションを紹介します。

- アプリケーション一覧
- アプリケーション利用上の注意

アプリケーション一覧

本機の電源をONにすると、CEREBメニューの画面が表示されます。CEREBメニューには、グループごとにアプリケーションが登録されています。

居間



98TV

Windows上でテレビ番組を見ることができます。詳しくは本書Part3の「テレビを見る」をご覧ください。



98TELFAX

ファックスの送受信や留守番電話機能を使うことができます。詳しくは本書Part8の「留守番電話機能を使う」および「98TELFAXユーザーズガイド」をご覧ください。



98プレーヤ

オーディオCDやビデオCDを再生することができます。詳しくは本書Part7の「オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する」をご覧ください。



DVDプレーヤ(PC-9821C233/Vのみ)

DVD-VIDEOディスクを再生することができます。詳しくは本書Part7の「DVDプレーヤを使う」をご覧ください。



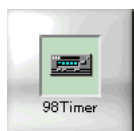
ビットキャスト ブラウザ(PC-9821C166/Dのみ)

ビットキャスト放送受信機能により、テレビの映像といっしょに送られるデータ放送を見ることができます。詳しい操作方は「ビットキャストブラウザ ユーザーズガイド」をご覧ください。



98カレンダー

パソコン上のカレンダーを使って、月間および日程のスケジュール管理ができます。詳しくは本書Part9の「カレンダーを使う」をご覧ください。



98Timer

指定した時間に本機の電源をON/OFFしたり、アプリケーションを起動したりできます。詳しくは本書Part9の「98Timerを使う」をご覧ください。



98MapPlayer

カーナビゲーション用CD-ROMを使って、道路地図やIIS(Integrated Information Services)を表示することができます。詳しくは本書Part7の「カーナビゲーション用CDを再生する」をご覧ください。



アルバム工房Light

デジタルカメラなどで取り込んだ写真をアルバムにすることができます。詳しくは、本書Part7の「アルバムを作る」チュートリアルCD-ROMの「アルバム工房入門ガイド」または「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「アルバム工房オンラインマニュアル」をご覧ください。



アドレス帳

アドレス帳には、ファックスの送信先の名前や電話番号、ファックス番号などを登録することができます。操作方法については、『98TELFAXユーザズガイド』やヘルプをご覧ください。



てきばき家計簿mam

マウスを使って簡単に操作できる家計簿ソフトです。詳しくは本書Part10の「てきばき家計簿Windows mam」をご覧ください。



くりっく亭1

家庭料理レシピを楽しく検索することができます。詳しくは本書Part10の「フジテレビ本格料理の決定版 レシピの殿堂」をご覧ください。



Photo Museum

MIDI サウンドをバックに、美しい風景写真を鑑賞するソフトです。詳しくは、本書Part10の「Photo Museum」または「Photo Museum」のCD-ROMケースに記載の説明文をご覧ください。

書斎

文章を作成する際に便利なワープロソフトや翻訳ソフトなどのアプリケーションが登録されています。



Microsoft Works for Windows 95

ワープロ、表計算、データベース、通信などの機能を1つにまとめた統合ソフトです。詳しくは本書Part10の「Microsoft Works for Windows 95」または「Worksガイドブック」をご覧ください。



ルーヴル美術館

精密に再現されたルーヴル美術館を巡り、100点の作品をインタラクティブに鑑賞するソフトです。詳しくは、本書Part10の「ルーヴル美術館」をご覧ください。



駅すばあと

全国交通網案内ソフトです。詳しくは、本書Part10の「駅すばあと for Windows 95」または「書庫」グループの「お読みください」フォルダにある「駅すばあとオンラインマニュアル」をご覧ください。



駅すばあとランドマーク登録

駅すばあとにランドマークを登録するためのソフトです。詳しくは「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「駅すばあとランドマーク登録ヘルプ」をご覧ください。



翻訳アダプタ

日本語から英語へ、英語から日本語へ双方向の翻訳機能を持つソフトです。詳しくは本書Part6の「英文を作成する」および「英語を日本語に翻訳する」をご覧ください。



98TV

Windows上でテレビ番組を見ることができます。詳しくは本書Part 3の「テレビを見る」をご覧ください。



98FILM工房

動画や静止画、音声などのデータを読み込んで自在に編集することができます。詳しくは本書Part7の「画像や音声を編集する」をご覧ください。



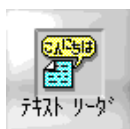
98MPEGSTUDIO ストリーム合成

複数のMPEGファイルを1つのファイルに合成します。個々のデータを1つにつなげて、長時間のMPEGファイルを作成できます。詳しくはヘルプをご覧ください。



98MPEGSTUDIO ファイル圧縮

デジタル形式のビデオデータやオーディオデータを、MPEG形式のファイルに圧縮します。詳しくはヘルプをご覧ください。



テキストリーダ

クリップボードビューワにコピーされた文章を音声で読み上げることができます。

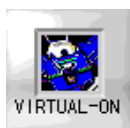
詳しくは、本書Part9の「文章をパソコンに読ませる」やヘルプをご覧ください。



冠婚葬祭

主婦の友社発行の実用書「冠婚葬祭」の内容が主体です。結婚や葬儀などの「しきたり」や「マナー」を会得することができます。詳しくは本書Part10の「冠婚葬祭」をご覧ください。

プレイルーム



バーチャロン

新兵器バーチャロイドを操作して、敵のバーチャロイドと戦う格闘ゲームです。詳しくは本書Part10の「バーチャロン」をご覧ください。



AI将棋 Ver. 1.5R

将棋ソフトです。コンピュータとの対局を楽しむだけではなく、対局の再生機能を使っての将棋のレベルアップもできます。

詳しくは本書Part10の「AI将棋 Ver.1.5R」をご覧ください。



雀道

本格派麻雀ゲームです。コンピュータキャラクタと戦ったり、自分の作ったオリジナルキャラクタを戦わせたりすることもできます。

詳しくは本書Part10の「雀道」をご覧ください。



スーパー上海ドラゴンズアイ

麻雀牌を使ったパズルゲームです。

詳しくは本書Part10の「スーパー上海ドラゴンズアイ」をご覧ください。



ジグラット

立体ブロックを並べるパズルゲームです。詳しくは、本書Part10の「ジグラット」をご覧ください。



Hover

自分の旗がすべて敵にとられる前に、敵のすべての旗を集めていくゲームです。

遊び方については、ヘルプをご覧ください。



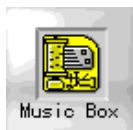
通信カラオケ シングる

パソコン通信を利用して音楽データを受信、演奏する家庭用通信カラオケソフトです。詳しくは本書Part10の「通信カラオケシングる」をご覧ください。



DoReMiX Ver. 1

簡易作曲ツールです。4小節単位でアイコン化されたフレーズデータをドラッグ&ドロップすることで、パズル感覚でオリジナル曲を作ることができます。詳しくは本書Part10の「DoReMiX」または「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「DoReMiXヘルプ」をご覧ください。



MusicBox

オルゴールのようにドラムが回転して曲を演奏することができます。

詳しくは本書Part10の「MusicBox」または「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「MusicBoxヘルプ」をご覧ください。

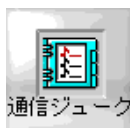


MusicBox曲集

ウインドウの中にある曲を演奏するプログラムが入ったフォルダです。

[MusicBox]フォルダには、次の曲が入っています。

- ・ ロンドンデリーの歌
- ・ ノクターン
- ・ 主よ人の 望みよ喜びよ
- ・ 美しき碧きドナウ
- ・ ラ・カンパネラ
- ・ エリーゼのために
- ・ 華麗なる 大円舞曲
- ・ アマリリス
- ・ トルコ行進曲
- ・ 人形の夢と目覚め
- ・ Heaven and Juliet



通信ジューク

パソコン通信を使って音楽データを受信して、演奏する通信カラオケソフトです。詳しくは本書Part10の「通信ジュークカラオケ」または「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「通信ジュークヘルプ」をご覧ください。



通信ジュークオンラインサインアップ

パソコン通信を利用してビデオテックス網に加入登録するためのソフトです。詳しくは「通信ジューク カラオケ 説明書」または「書庫」グループの「お読みください」フォルダにある「通信ジューク利用申込書」をご覧ください。



Virtual Sound Canvas VSC-88

パソコンに「シンセサイザー」機能を持たせて、MIDI データを演奏することができます。詳しくは本書Part10の「Virtual Sound Canvas VSC-88」または「書庫」グループの「ヘルプ」フォルダにある「Virtual Sound Canvas VSC-88 Help」をご覧ください。



おもちゃ箱

ゲームソフトのプログラムが入ったフォルダです。

[おもちゃ箱]フォルダには、次のゲームが入っています。

- ・ マインスイーパー
- ・ フリーセル
- ・ ハーツ
- ・ ソリティア

インターネットお気に入り



インターネットチュータ

インターネットについて詳しく学べます。

詳しくは『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



NECグループ

NECグループのホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



ホームページ検索

ホームページを検索するためのホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



ニュース

ニュースに関するホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



TV放送局

TV放送局のホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



天気予報

天気予報のホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



スポーツ情報

スポーツに関する情報のホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



雑誌

雑誌に関するホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



旅行/レジャー

旅行/レジャーに関するホームページが登録されているフォルダです。

インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



健康

健康に関するホームページが登録されているフォルダです。
インターネットへの接続の手続きをした後にご覧ください。インターネットについては『インターネットスタートガイド』をご覧ください。

インターネット&パソコン通信



ビットキャスト ブラウザ(PC-9821C166/Dのみ)

ビットキャスト放送受信機能により、テレビの映像といっしょに送られるデータ放送を見ることができます。詳しい操作方法は『ビットキャスト ブラウザ ユーザーズガイド』をご覧ください。



インターネットエクスプローラ

インターネット用のブラウザです。インターネットのさまざまな情報を表示できます。詳しくは『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



InternetMail

インターネットメールの送受信ができます。詳しくは『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



Internet News

インターネットのNet Newsを読むことができます。詳しくは『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



インターネットアクセスマネージャ

インターネットのアクセスをより便利に行うことができます。詳しくは『インターネットスタートガイド』をご覧ください。



PC-VANナビゲータ

パソコン通信サービス「PC-VAN」にアクセスして、PC-VANのさまざまなサービスを利用できます。詳しくは本書Part4の「BIGLOBE PC-VANを利用する」をご覧ください。



PcoMate

PC-VANの電子メールソフトです。詳しくはヘルプをご覧ください。



NIFTY Manager

パソコン通信サービス「NIFTY-Serve」にアクセスして、NIFTY-Serveのさまざまなサービスを利用できます。詳しくは本書Part4の「NIFTY-Serveを利用する」をご覧ください。



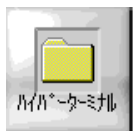
Angel Line Ver 1.04

NTTの電話番号検索サービスがパソコンで利用できるソフトです。詳しくは本書Part 9「パソコンで電話番号案内を使う」をご覧ください。



Angel Line アドレス帳

Angel Line for Windowsで検索/保存したデータを見ることができます。詳しくはヘルプをご覧ください。



ハイパーターミナル

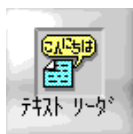
通信条件、モデムのコマンド、通信先のリモートコンピュータの電話番号などを設定して、電子掲示板、PC-VANなどの商用ネットに簡単にアクセスできます。

操作方法については、ヘルプをご覧ください。



翻訳アダプタ

日本語から英語へ、英語から日本語へ双方向の翻訳機能を持つソフトです。詳しくは本書Part 6の「英文を作成する」および「英語を日本語に翻訳する」をご覧ください。



テキストリーダー

クリップボードビューワにコピーされた文章を音声で読み上げることができます。

詳しくは本書Part 9の「文章をパソコンに読ませる」やヘルプをご覧ください。



設定/サインアップ

[設定/サインアップ]フォルダの中には、次のプログラムが入っています。

- ・BIGLOBE サインアップナビ
- ・NIFTY-Serve サインアップ
- ・NIFTYダイヤルアップネットワークの設定
- ・インターネット接続

書庫



チュータ

[チュータ]フォルダには、次のプログラムが入っています。

- ・アルバム工房入門ガイド
- ・パソコン用語集
- ・CEREB チュータ
- ・Windows 95チュータ
- ・MAGIC FLIGHT
- ・FILM工房レッスンビデオ



Windows 95チュータ、CEREBチュータ、FiLM工房レッスンビデオ、アルバム工房入門ガイドは、本機に添付のチュートリアルCD-ROMをセットしてからお使いください。

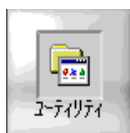


ヘルプ

各アプリケーションのヘルプおよび、ご利用法のプログラムが入ったフォルダです。

[ヘルプ]フォルダには、次のプログラムが入っています。

- ・ NIFTY Managerヘルプ
- ・ リモート操作支援ツールのヘルプ
- ・ 通信ジュークヘルプ
- ・ NIFTY-Serveサインアップヘルプ
- ・ PC-VANナビゲータヘルプ
- ・ 駅すばあとヘルプ
- ・ DoReMiXヘルプ
- ・ シングるのヘルプ
- ・ 通信ジュークの通信を始める前に
- ・ 98FiLM工房ヘルプ
- ・ アルバム工房オンラインマニュアル
- ・ MusicBoxヘルプ
- ・ Shanghai Technical Help
- ・ 駅すばあとランドマーク登録ヘルプ
- ・ VIRTUAL-ON Help
- ・ 翻訳アダプタ ヘルプ
- ・ Virtual Sound Canvas VSC-88 Help



ユーティリティ

[ユーティリティ]フォルダには、次のプログラムが入っています。

- ・ エクスプローラ
- ・ スケジューラ Limited
- ・ リモート操作支援ツール
- ・ 電卓
- ・ クイックFAX
- ・ コントロールパネル
- ・ FAXビューワ
- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティ
- ・ メモ帳
- ・ ペイント
- ・ ボリュームコントロール
- ・ メディアコントローラユーティリティ
- ・ PCIセットアップユーティリティ
- ・ PCIセットアップユーティリティ実行用FD作成ツール



お読みください

各アプリケーションを利用する際の必要事項、注意事項などのプログラムが入ったフォルダです。

[お読みください] フォルダには、次のプログラムが入っています。

- ・ NIFTY Managerリリースノート
- ・ 駅すばあとオンラインマニュアル
- ・ 翻訳アダプタ のお読みください
- ・ C E R E B のお読みください
- ・ シングるのお読みください
- ・ 通信ジュークのお読みください
- ・ 通信ジューク利用申込書
- ・ MusicBoxのお読みください
- ・ くりっく亭1のお読みください
- ・ アルバム工房の始めにお読みください
- ・ Microsoft Works 4.0の紹介
- ・ 98FILM工房のお読みください
- ・ AI将棋Ver.1.5Rお読みください
- ・ DoReMiXのお読みください
- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティのお読みください
- ・ Angel Lineのはじめにお読みください
- ・ Virtual Sound Canvas VSC-88 README1st



NEC ユースフルパック

[N E C ユースフルパック] フォルダには、次のプログラムが入っています。

- ・ イメージスキャナユーティリティ
- ・ テキストリーダー
- ・ FontAvenue外字コンバータ
- ・ カラーイメージユーティリティ
- ・ FontAvenueインストール
- ・ NEC ユースフルパックReadme
- ・ スキャンワクチン Limited
- ・ FontAvenue切り替え

アプリケーション利用上の注意

本機に添付されているアプリケーションをお使いになる場合の注意事項について説明します。

■ アプリケーションの追加と削除について

[書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある [コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]を選択すると、本機購入時にインストールされているアプリケーションを削除することができますが、再インストールは個別に機能をもつ以下のソフトウェア(タイトル)に限定されます。

他のアプリケーションを復元するには、システム全体を再セットアップする必要があります。この場合、お客様自身がインストールされたアプリケーションや作成されたデータを復元することはできません。

削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ実行願います。

● 個別に再インストールが可能なソフトウェア

- ・ バーチャロン
- ・ 「くりっく亭」1号店家庭料理館

98ランチバー/ CEREBメニュー/ サイバーホーム3D

98ランチバー、CEREBメニュー、サイバーホーム3DはWindowsをよりスムーズに親しみやすく使用していただくためのソフトウェアです。

ここでは98ランチバー、CEREBメニュー、サイバーホーム3Dの各画面やアプリケーションの操作を簡単にご紹介します。

- 98ランチバー/CEREBメニュー/サイバーホーム3D
- アプリケーションを操作する

98ランチバー/CEREBメニュー/ サイバーホーム3D

本機ではCEREBメニュー、サイバーホーム3Dおよびデスクトップの3つの画面を切り替えて使用することができます。画面の切り替えは98ランチバーから行います。98ランチバー、CEREBメニューおよびサイバーホーム3Dの詳しい使い方については98ランチバーのヘルプをご覧ください。デスクトップの使い方についてはPart 11の「Windowsを使う」をご覧ください。



98ランチバーは、マウスポインタをCEREBメニュー画面の上部に移動すると表示されます。

98ランチバー



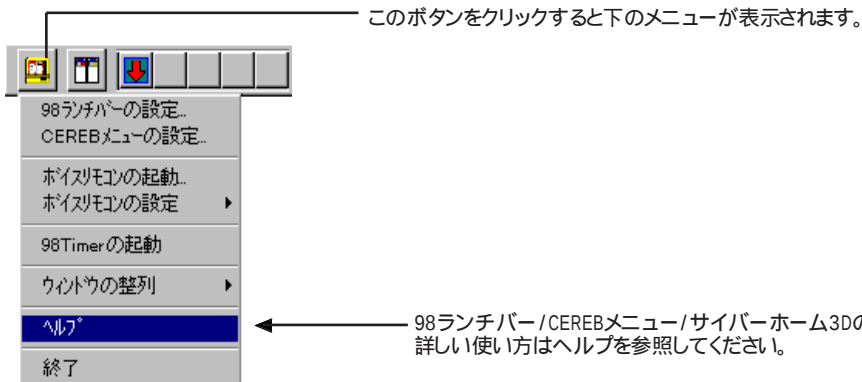
CEREBメニュー



サイバーホーム3D



PC-9821C166/Dの場合、画面が多少異なります。



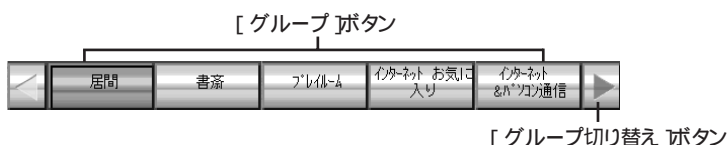
アプリケーションを操作する

マウスを使って、CEREBメニューに表示されているアイコンを選択すると、目的のアプリケーションを起動することができます。ここでは、アプリケーションの起動から終了までに必要となる、一通りの基本操作について説明します。

■アプリケーションを起動する

1 グループを選択します。

起動したいアプリケーションがあるグループの[グループ]ボタンをクリックします。
[アプリケーション起動]アイコンが表示されていないときは、[グループ切り替え]ボタン、[ページ切り替え]ボタン(●、●)を操作して、起動したいアプリケーションのアイコンを画面に表示させます。



2 マウスポインタをアイコンに合わせて、マウスの左ボタンをクリックします。

[アプリケーション起動]アイコンにマウスポインタを合わせると、マウスポインタが手の形に変わります。



フォルダのアイコンをクリックすると、さらにアイコンが表示されます。これらのアプリケーションを起動するにはアイコンをクリックしてください。

3 アプリケーションが起動します。



タスクバー



- ・ 起動中のアプリケーションはタスクバーに一覧表示されます。タスクバーに表示されているアプリケーションをクリックすると、アプリケーションを切り替えることができます。
- ・ アプリケーションを使用中に、CEREBメニューの画面のみ表示されている状態になってしまった場合(背景のCEREBメニューをクリックしてしまうとこのような状態になります)は、タスクバーに表示されているアプリケーションをクリックしてください。

■ アプリケーションを終了する

1 アプリケーションの終了方法は、アプリケーションによってさまざまです。

- ・ [ファイル]メニューから、[終了]を選択する。
- ・ アプリケーションの左上のアイコンをクリックして[閉じる]を選択する。
- ・ アプリケーションの右上の✕ボタンをクリックする。
- ・ [終了]ボタンをクリックする。

■ アプリケーションのファイルの保存

アプリケーションで作成した文書や絵などは、そのままでは画面に表示された情報でしかなく、電源をOFFにすると消えてしまいます。作成した文書や絵を残しておくには「ファイルの保存」という作業が必要です。また、クリップボードに転送した文書や画像は、転送するたびに保存しなければ消えてしまいます。

1 アプリケーションのメニューから[保存]を選びます。

多くのWindowsアプリケーションには、メニューバーの[ファイル]をクリックすると表示されるプルダウンメニューに[上書き保存] [名前を付けて保存] の2つのファイル保存コマンドがあります。

また、98プレーヤには[SAVE]ボタンがあります。[ファイル名を付けて保存]を選ぶか、[SAVE]ボタンを押すと[ファイル名を付けて保存]画面が表示されます。



すでにファイル名が付けられている場合に[上書き保存]を選ぶと、現在と同じファイル名で保存され、元の内容が書き替えられますので、注意してください。

2 保存する場所とファイル名を入力します。

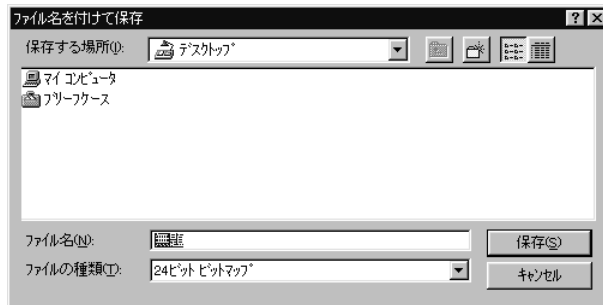


アプリケーションをより快適に利用するには

メモリを増やすと、アプリケーションをより快適に利用できます。

メモリの増やし方については『ステップアップガイド』の「メモリを増やす」をご覧ください。

- ・ [保存する場所] の右にある ▼ ボタンをクリックしてファイルを保存したい場所を選びます。
- ・ 保存形式が選択できるアプリケーションの場合、[ファイルの種類] の右にある ▼ ボタンをクリックして保存したいファイル形式を選びます。
- ・ [ファイル名] テキストボックスにファイルの名前を入力します。



- 3** [保存] ボタンをクリックします。
指定したファイル名で保存されます。



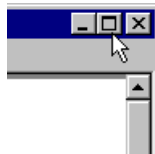
ファイルの保存についての詳しい説明は『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。

■ アプリケーションの大きさや位置を変える

- □ □ ボタンでウィンドウの大きさを変えることができます。

アプリケーションを画面いっぱいに表示するには

アプリケーションの右上に表示されている □ ボタンをクリックします。



自由な大きさに表示サイズを変更するには

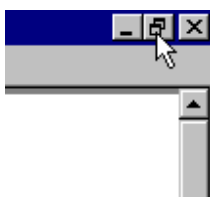
ウィンドウ枠にマウスポインタあわせ、ドラッグします。



□ は最大化ボタン、□ は最小化ボタンといいます。

アプリケーションの大きさを元に戻すには

アプリケーションの右上に表示されている  ボタンをクリックします。



アプリケーションをタスクバーに表示するには

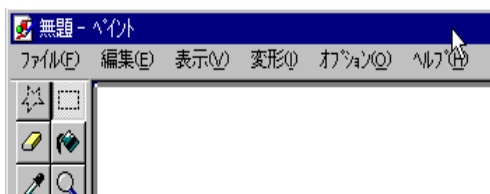
アプリケーションの右上に表示されている  ボタンをクリックします。



タスクバーに表示した状態では、ウィンドウが閉じられただけで、アプリケーションは終了していません。タスクバーに表示されているアプリケーションをクリックすると、すぐにウィンドウを開くことができます。

- タイトルバーのドラッグでウィンドウの位置を変えることができます。

ウィンドウ上部のタイトルバーにマウスポインタをあわせてドラッグすると、ウィンドウの位置を自由に変えることができます。ウィンドウの大きさはそのまま変化しません。



■ アプリケーションを切り替える

複数起動させたアプリケーションを切り替えながら使用方法について説明します。

- 1 [アプリケーション起動] アイコンをクリックし、あらかじめ複数のアプリケーションを起動させます。

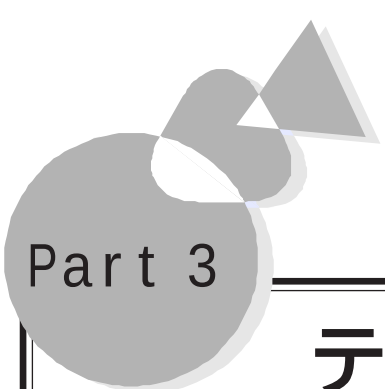


CEREBメニューに戻る場合は、タスクバー上に表示されている[CEREBメニュー]ボタンをクリックします。

- 2 タスクバーに表示されているアプリケーションをクリックします。
タスクバーには起動しているアプリケーションが表示されていますので、切り替えたいアプリケーションをクリックします。



- 3 選択したアプリケーションに切り替わります。
他のアプリケーションに切り替えたいときは、同じように手順2の操作を繰り返します。



Part 3

テレビを見る

98TVを使って、Windows上でテレビ番組を楽しむことができます。また、ビデオ機器を接続すると、ビデオの画像を本機で見ることができます。

テレビやビデオの画像は、画面いっぱいに表示させたり、ウィンドウ内表示といって小さく表示させることもできます。

- 98TVを操作する
- 98TVセットアップを操作する
- 色を調整する
- チャンネルを設定する
- ハイビジョン入力を設定する
- 電源をONにした後、すぐにテレビを見たいときは

98TVを操作する



PC-9821C166/Dをお使いの場合、98TVとビットキャストブラウザを同時に使用しないでください。同時に使用すると、98TVまたはビットキャストブラウザのテレビ画面が映らなくなります。



- ・ テレビを見るには、アンテナとの接続が必要です。接続の方法については、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
- ・ BSワイドディスプレイテレビ(PC-DH32W1/PC-DH28W1)に添付のリモコン送信機でもチャンネルの切り替えなどを操作できます。
- ・ 本Part では、PC-DH32W1とPC-DH28W1を総称して、「BSワイドディスプレイテレビ」と記述します。

■ テレビをつける

マウスでの操作

[居間]グループにある 98TV アイコンをクリックします。

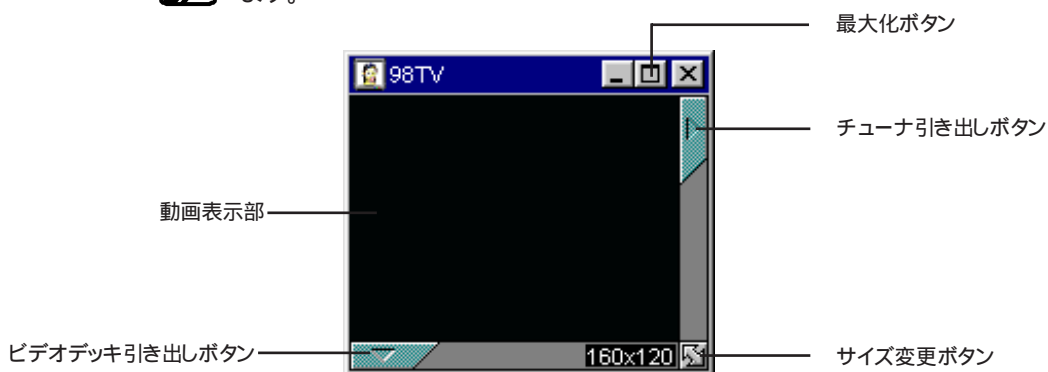
98TVの画面が表示されます。

メディアコントローラでの操作

[テレビ]ボタンを押します。



スイッチやボタンの上にマウスポインタを移動すると、簡単な説明が表示されます。



動画表示部

テレビやビデオの画像が表示される画面です。

ビデオデッキ引き出しボタン

このボタンをクリックすると、ビデオデッキが表示されます。

[] ボタンをクリックすると、ビデオデッキが閉じます。



最大化ボタン(17インチディスプレイ(PC-DH171)、BSワイドディスプレイテレビ接続時のみ機能します)

98TVを全画面表示にします。

全画面表示のときはマウスポインタは表示されません。次のどれかの操作をすると、98TVがウィンドウ内表示に戻ります。

(1) 17インチディスプレイ(PC-DH171)の場合

- ・ マウスをクリックする
- ・ **[ESC]** キーを押す
- ・ メディアコントローラの[フル画面]ボタンを押す

(2) BSワイドディスプレイテレビの場合

- ・ メディアコントローラの[フル画面]ボタンを押す

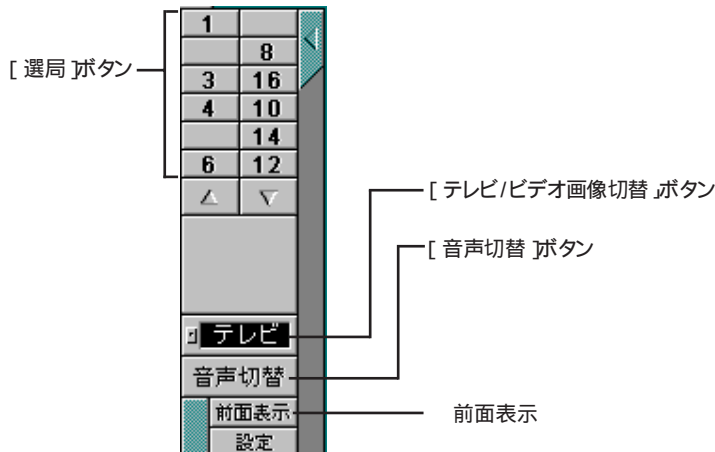


BSワイドディスプレイテレビ接続時では、全画面表示中にメディアコントローラや98Timerなどで98TV以外のアプリケーションを起動/操作した場合、98TVは全画面表示からウィンドウ内表示に自動的に切り替わります。

チューナ引き出しボタン

このボタンをクリックすると、チューナパネルが表示されます。

チューナパネルの[] ボタンをクリックすると、チューナパネルが閉じます。



サイズ変更ボタン

このボタンをドラッグすると、サイズを変更することができます。

[前面表示]ボタン

このスイッチをクリックすると、98TVが常に前面に表示されるようになります。再度、クリックすると解除できます。



- TV画面のサイズは横40ドット、縦30ドット単位で変更できます。
TV画面の最小サイズは120×90ドットで、最大サイズはディスプレイ解像度が1024×768、800×600(1024×600)、640×480(864×480)のときに、それぞれ880×660、640×480、520×390です。縦横比は変わりません。
画面サイズは、サイズ変更ボタンのとりに表示されます。
- TV画面サイズによって、表示される操作ボタンの数が変わります。
- 98TVを使用中に画面の解像度切り替え、もしくはモニタ切り替えを行う場合は、一度98TVを終了させ、そのあと画面の解像度切り替え、もしくはモニタ切り替えを行ってください。
- 98TVのウィンドウ上に他のアプリケーションのウィンドウを重ねると、アプリケーションの画像が乱れる場合がありますが、故障ではありません。

■ ウィンドウ内表示と全画面表示について

- 98TVがタスクバーに表示されている場合は、クリックすると、ウィンドウ内表示で98TVが表示されます。
- 98TVが[常に前面に表示する]状態のときに、全画面表示からウィンドウ内表示に戻したときには、98TVは、アクティブ(作業のできる状態)になっていないことがあります。98TVが前面に表示されていても、アクティブな状態でない場合には、メディアコントローラで操作できるのは[チャンネル]ボタンのみです。その他のボタンを使うときは、98TVをマウスでクリックしてアクティブな状態にしてから操作してください。
- 98TVが全画面表示されているときには、他のアプリケーションソフトに切り替えることはできません。テレビの画面をウィンドウ内表示に戻してからアプリケーションの切り替えを行ってください。
- 外部テレビ(市販の家庭用テレビ)で表示しているときに、98TVをウィンドウ内表示から全画面表示に切り替えると、外部テレビには表示されません。本機のディスプレイに表示されるようになります。
- 17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時には、ボイスリモコンまたはPCM再生/録音機能を使用していない場合に全画面表示を行うことができます。

■ テレビを消す

マウスでの操作

ボタンをクリックします。



テレビが全画面表示されているときは、操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。

メディアコントローラでの操作

[テレビ] ボタンを押します。



- ・ 98TVアプリケーションが他のアプリケーションウィンドウの後ろへ待避(インアクティブ状態)しているときに[テレビ] ボタンを押すと、98TVアプリケーションをCEREBメニューの前に表示(アクティブ状態)します。テレビを消すときは、再度[テレビ] ボタンを押します。
- ・ 17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時には、98TVアプリケーションが全画面表示されているときに[電源] ボタンを押すと、98TVアプリケーションのみが終了し、本機の電源はOFFにはなりません。BSワイドディスプレイテレビ接続時には、本機の電源がOFFになります。

■チャンネルの変更

マウスでの操作

[チューナ引き出し] ボタンをクリックしてチューナパネルを引き出した後で、選局ボタンをクリックします。または[▲ || ▼] ボタンをクリックします。

メディアコントローラでの操作

[チャンネル] ボタンを押します。



- ・ ビデオ入力を選択されているときは、操作できません。
 - ・ テレビが全画面表示されているときは、マウスでの操作はできません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[チューナ引き出し] ボタンが表示されていないときは、メディアコントローラの[チャンネル] ボタンを使用してください。
 - ・ チャンネル切り替えの直後は、テレビの信号が安定していないため、画面が乱れる場合があります。
 - ・ テレビの信号が弱い場合には、サウンドモードを正常に判断しにくいため、モノラルもしくはメインの音に変わることがあります。
- このとき、チャンネル表示が繰り返し表示される場合があります。
- ・ BSワイドディスプレイテレビ以外のモニタを接続している場合、チャンネルを切り替えるとステレオ/モノラルなどの音声モードの表示が重なって見えることがあります。

■ 音量の調整

マウスでの操作

ボリュームコントロールで調整します。調整方法は『ステップアップガイド』をご覧ください。

メディアコントローラでの操作

[音量] ボタンを押します。



- ・音を一時的に消す(MUTE)には、メディアコントローラの[消音] ボタンを押します。元に戻すには再度 [消音] ボタンを押してください。
- ・17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時には、MUTEの状態では全画面表示にし、MUTEの状態を解除すると音量は0になります。この場合、音を出すためには [音量] ボタンで音量を上げてください。また、全画面表示中に MUTE状態にしてウィンドウ内表示にすると、音量はMUTE状態にする前の音量に戻ります。
- ・98TVを終了すると、TVボリューム(Windows 95の「ボリュームコントロール」のTelevisionの各項目)は、それぞれ次のようになります。
 - ・バランス : 自動的に中央になります。
 - ・音 量 : 自動的に98TV起動前に戻ります。
 - ・ミュート : 自動的にミュートが掛かります。このため、98TV動作中にTVボリュームを設定しても、98TVを終了すると変更されてしまいます。

■ 音声の切り替え

[チューナ引き出し] ボタンをクリックしてチューナパネルを引き出した後で、[音声切替] ボタンをクリックします。



テレビが全画面表示されているとき、[チューナ引き出し] ボタンが表示されていないとき、および二カ国語放送またはステレオ放送が行われていない場合は操作できません。

(1) 二カ国語放送の場合

次の順番で切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主 + 副音声



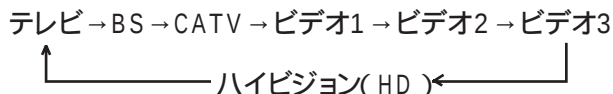
(2) ステレオ放送の場合

BSワイドディスプレイテレビ接続時のみ、ステレオとモノラルが切り替わります。

■ テレビ / ビデオ画像の切り替え

[チューナ引き出し] ボタンをクリックしてチューナパネルを引き出した後で、[テレビ / ビデオ画像切り替え] ボタンをクリックします。クリックすることにより、次の順番で切り替わります。

(1) 32インチBSワイドディスプレイテレビ(PC - DH32W1)接続時



(2) 28インチBSワイドディスプレイテレビ(PC - DH28W1)接続時



(3) BSワイドディスプレイテレビ(PC - DH32W1、PC - DH28W1)以外を接続時



- ・ ハイビジョン(HD)に切り替えた際には全画面表示となります。テレビが全画面表示されているときは「テレビ / ビデオ画像の切り替え」の操作はできません。この場合、メディアコントローラの [フル画面] ボタンを押すとウィンドウ内表示に戻り、「ハイビジョン(HD)」から「テレビ」に切り替わります。[チューナ引き出し] ボタンが表示されていないときは、メディアコントローラを使用してください。
- ・ CATV(ケーブルテレビ)は98TVセットアップで「CATV使用」になっている場合のみ選択できます。「CATV未使用」になっている場合は、CATVをスキップして次の画像が選択されます。
- BSワイドディスプレイテレビは接続時は、常にCATV使用となります。

■ 静止画を取り込む前に

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを引き出し、[静止画] ボタンをクリックすると「画面数」「間隔」が表示されます。



- ・ 「画面数」では、1つの画面の中に何枚の静止画を取り込むかの設定ができます。たとえば「画面数」を4枚に設定すると、画面が4分割されて、1つの画面の中に4枚の静止画が取り込まれます。
- ・ 「間隔」では、「画面数」で取り込む静止画を複数枚に設定したときに、その連続した静止画を取り込む間隔を設定できます。

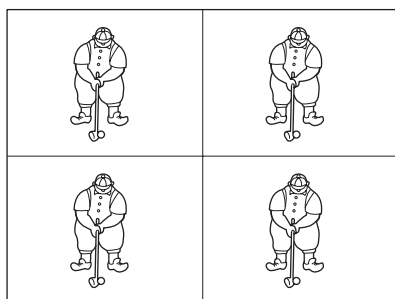
■ 静止画取り込みの設定をする

[ビデオデッキ引き出し]ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の[静止画]ボタンをクリックします。

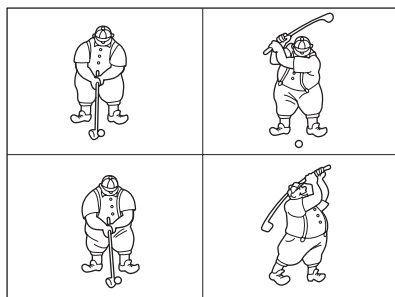
- ・ [画面数]ボタンをクリックすることにより、1枚の静止画の中に連続して取り込む静止画の枚数が次の順番で切り替わります。

└→1枚→4枚→9枚→16枚→25枚┐

例: 4枚に設定した場合



- ・ [間隔]の左右のボタンをクリックすることで、静止画を連続して取り込む間隔を33～4270ミ/秒の間(約0.03秒に1回～約4.3秒に1回の間隔)で変えることができます。



テレビが全画面表示された状態での操作結果は、98TVをウィンドウ内表示に戻してからご覧ください。[ビデオデッキ引き出し]ボタンが表示されていないときは、操作できません。

連続して複数枚の静止画を取り込む場合は、取り込んだ静止画と表示しているTV画面の大きさが異なることがあります。



ビデオデッキ引き出しボタン

■ 静止画を取り込む

マウスでの操作

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の [●] ボタンをクリックします。

取り込んだ静止画は、アルバム工房Lightより活用することができます。



テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[ビデオデッキ引き出し] ボタンが表示されていないときは、操作できません。

メディアコントローラでの操作

[●] ボタンを押します。



テレビやビデオの画像は1,677万色表示および65,536色表示のときは、1,677万色のデータとしてクリップボードに転送されます。256色表示のときは、256色のデータとして転送されます。

■ 取り込んだ静止画を活用する

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後に、ビデオデッキ上の [アルバム工房] ボタンをクリックします。

アルバム工房Lightが起動し、静止画をアルバム化することができます。

取り込んだ静止画の保存や表示は、アルバム工房Lightで行います。

：

Part
3

テレビを見る



・アルバム工房Lightについて、詳しくは本書Part7の「アルバムを作る」をご覧ください。

・取り組んだ静止画は、A: ¥98TVCAPT¥BMPフォルダに¥[年月日]¥[時分秒] BMPというファイル名で保持されます。不要な静止画はエクスプローラなどで削除してください。

例) 1997年4月1日20時30分ちょうどに取り込んだ静止画のファイル名は以下のようになります。

A: ¥98TVCAPT¥BMP¥19970401¥20300000 .BMP

■ 静止画をWindowsの壁紙にする

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の[壁紙] ボタンをクリックします。



テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[ビデオデッキ引き出し] ボタンが表示されていないときは、操作できません。

静止画がクリップボードへ転送されていないときは操作できません。ビデオデッキ上の[●] ボタンを操作して、静止画をクリップボードへ転送してください。

■ 動画取り込みの設定をする

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、[動画] ボタンをクリックします。

- ・[フレーム数] の左右のボタンをクリックすることで、1秒あたりの取り込みフレーム数(1~30の範囲)を設定します。
- ・[周波数] ボタンをクリックするごとに、音声のサンプリング周期が11KHz、22KHzに交互に切り替わります。
- ・[ビット数] ボタンをクリックするごとに、音声の量子化ビット数が8ビット、16ビットに交互に切り替わります。
- ・[サウンドモード] ボタンをクリックするごとに、取り込む音声がモノラル、ステレオに交互に切り替わります。





- ・ テレビが全画面表示された状態では操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[ビデオデッキ引き出し]ボタンが表示されていないときは、操作できません。
- ・ 動画の取り込みには、一番空き容量の大きなハードディスクを使用します。使用するディスクの空き容量の半分から約20Mバイトを引いた値が、格納できるデータの最大サイズとなります。
ハードディスクの空き容量が約40Mバイト以下有的时候には、動画の取り込みができません。

使用するドライブ名と最大使用容量が ● ボタンの下に表示されます。
おおよその動画取り込み時間は次の表のようになります。

最大使用容量	動画取り込み時間
100MB	約80秒
250MB	約190秒
500MB	約390秒
1000MB	約780秒

(注) 98TVの設定が次の場合の動画取り込み時間です。

98TV画面サイズ: 280 × 210
 フレーム数 : 15
 周波数 : 11 KHz
 ビット数 : 8ビット
 サウンドモード : モノラル

■ 動画を取り込む

マウスでの操作

- [ビデオデッキ引き出し]ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の [●] ボタンをクリックします。
- [■] ボタンをクリックすると取り込みを終了します。



メディアプレーヤなどで、すでにサウンド機能が使用されている場合は、動画の取り込みができないことがあります。動画を取り込むときは、メディアプレーヤなどを終了してから行ってください。



- ・ テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示にしてから操作してください。[ビデオデッキ引き出し]ボタンが表示されていないときは、メディアコントローラを使用してください。
- ・ ハードディスクの空き容量が約40Mバイト以下になると、自動的に取り込みを終了します。
- ・ ゲーム機などのインターレース画面の取り込みを行った場合、画面表示が乱れることがあります。取り込みデータには問題ありません。

メディアコントローラでの操作

- [●] ボタンを押します。
- もう一度 [■] ボタンを押すと取り込みを終了します。

■ 取り込んだ動画を編集する

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後に、ビデオデッキ上の [FILM 工房] ボタンをクリックします。

98FILM工房が起動し、取り込んだ動画を編集することができます。



98FILM工房について、詳しくはPart7の「画像や音声を編集する」をご覧ください。

■ 取り込んだ動画を保存する

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の [保存] ボタンをクリックします。

保存するファイル名を入力する画面が表示されるので、ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックしてください。



- ・ テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[ビデオデッキ引き出し] ボタンが表示されていないときは、操作できません。

動画が取り込まれていないときは操作できません。[●] ボタンを操作して、動画を取り込んでください。

- ・ 動画データはキャプチャするたびに更新されます。必要なデータは、必ず、次のキャプチャ(動画の取り込み)を行う前に [保存] ボタンで保存してください。
- ・ 98TVで保存した動画データを他機種上で再生する場合には、動画ファイルの保存時に、「圧縮方法」で「再圧縮しない」以外の方法を選択してください。

■ 保存した動画を読み込んで表示する

マウスでの操作

[ビデオデッキ引き出し] ボタンをクリックしてビデオデッキを表示した後で、ビデオデッキ上の [開く] ボタンをクリックします。読み込む動画ファイル名を入力する画面が表示されるので、ファイル名を入力して [開く] キーを押してください。

- [■] ボタンをクリックするとテレビの画像に戻ります。
- [▶] ボタンをクリックすると読み込まれた動画を再生します。
- [◀] ボタンをクリックすると読み込まれた動画の先頭まで戻ります。

- [II] ボタンをクリックすると読み込まれた動画の再生を中断します。
 再び [II] ボタンをクリックすると動画の再生を再開します。



- ・ テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。[ビデオデッキ引き出し] ボタンが表示されていないときは、操作できません。
- ・ 動画の再生中は動画データの時間が秒単位で [●] ボタンの下に表示されるので参考にしてください。

メディアコントローラでの操作

動画の読み込み後は、以下の操作をすることができます。

- [■] ボタンを押すとテレビの画像に戻ります。
 [►] ボタンを押すと読み込まれた動画を再生します。
 [◀] ボタンを押すと読み込まれた動画の先頭まで戻ります。



98TVで動画の取り込みまたは、音声などの録音を行い、再生したときに再生時の音量が適当なものにならないことがあります。このようなときには、動画の取り込みまたは、音声などの録音時の音量を、ボリュームコントロールで調整してください。調整方法は、『ステップアップガイド』をご覧ください。

98TVセッティングを操作する

■98TVセッティングを起動する

チューナパネル上の **設定** ボタンをクリックします。



- ・ テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。
- ・ 98TVセッティングは98TVの色調整とチャンネルを設定するユーティリティです。

色を調整する

■色の調整

ウインドウ内表示の場合

98TVセットアップの「画質調整」タブをクリックします。

色調整は各項目ごとのコントロールバーをドラッグして調整を行ってください。

調整後は「OK」ボタンをクリックします。

- ・「出荷時設定」ボタンをクリックすると、色を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- ・「元に戻す」ボタンをクリックすると、調整した色が調整を始める前の状態に戻ります。
- ・ブライト 映像の明るさを調整します。
- ・コントラスト 映像のコントラストを調整します。
- ・カラー 映像の色の濃さを調整します。
- ・色相 映像の色合いを調整します。



(ウインドウ内表示の場合)



テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウインドウ内表示に戻してから操作してください。

全画面表示されている場合

メディアコントローラの「▲」「▼」ボタンを押すと画面上に表示される調整項目で調整します。「▶」「◀」ボタンで色調整を行ってください(17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時のみ)。



オンスクリーン画面を表示させて画面の色を調整することもできます。17インチディスプレイ(PC-DH171)の画面調整については、『ステップアップガイド』の「別売の17インチディスプレイ(PC-DH171)の画面調整」をご覧ください。BSワイドディスプレイテレビ(PC-DH32W1/PC-DH28W1)の画面調整については、BSワイドディスプレイテレビに添付の取扱説明書をご覧ください。



オンスクリーン画面では、ディスプレイやTV側の機能で98TVの設定とは別に、画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。

チャンネルを設定する

チャンネルの設定は、地図上の位置を入力して一括設定する方法と、チャンネルごとに設定していく個別設定があります。チャンネルの設定はマウスで行います。チャンネルの設定は、BSワイドディスプレイテレビ以外を接続している場合にご利用になれます。

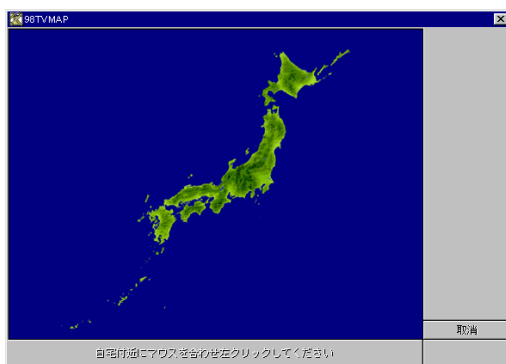
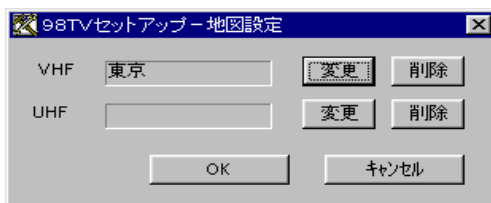
■ チャンネルの一括設定

98TVセットアップの「チャンネル設定」ボタンをクリックします。

[一括設定] ボタンをクリックします。

地図によるチャンネル一括設定が表示されます。

- ・ TV中継塔名右の「削除」ボタンをクリックすると、選択されているTV中継塔を削除します。
- ・ TV中継塔名右の「変更」ボタンをクリックすると、日本地図が表示されます。



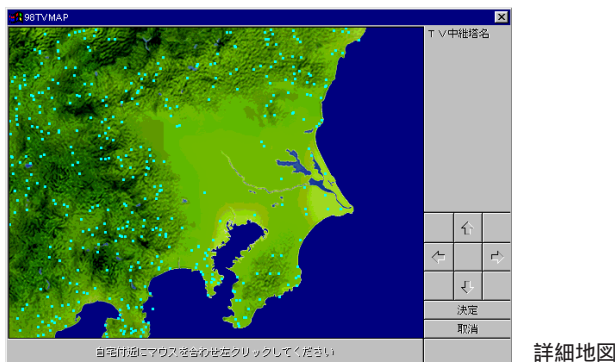
「変更」ボタンをクリックした場合に表示される日本地図

<変更のしかた>

日本地図上の自宅位置付近をクリックすると、自宅付近の詳細地図が表示されます。

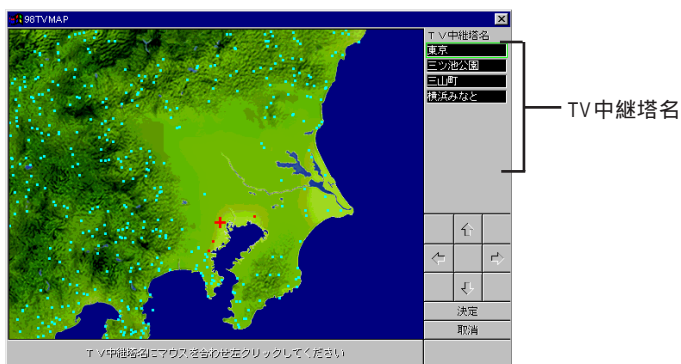
[取消] ボタンをクリックするとTV中継塔名の表示へ戻ります。

詳細地図はキーボードの「↑」「↓」「←」「→」キー、またはメディアコントローラのカーソルボタンを押すことで上下左右に移動させることができます。詳細地図上の点がTV中継塔の位置を示しています。



詳細地図上で自宅位置付近をクリックすると、身近なTV中継塔が右側に表示されます。表示されたTV中継塔の中から受信するTV中継塔を選択してクリックします。[決定] ボタンをクリックするとTV中継塔名表示へ戻ります。[取消] ボタンをクリックすると選択したTV中継塔を取り消しTV中継塔名表示へ戻ります。

TV中継塔名表示で[決定] ボタンをクリックすると、VHF、UHFのTV中継塔で放送されているチャンネルを自動的に設定します。[取消] ボタンをクリックすると、チャンネルの一括設定を無効とします。



- ・ テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。
- ・ 初めてもしくはVHF中継塔およびUHF中継塔の両方を削除した後[一括設定] ボタンをクリックすると、98MapPlayerで登録した自宅から最寄りのTV中継塔が選択されます。
98MapPlayerについては、本書Part7の「カーナビゲーションCDを再生する」をご覧ください。
- ・ 一括設定で目的とする放送局が設定されない場合は、チャンネルの個別設定で調整してください。

■ チャンネルの個別設定

98TVセットアップの[チャンネル設定]タブをクリックします。

放送局名表示部上でクリックし、設定を行うチャンネルを選択します。

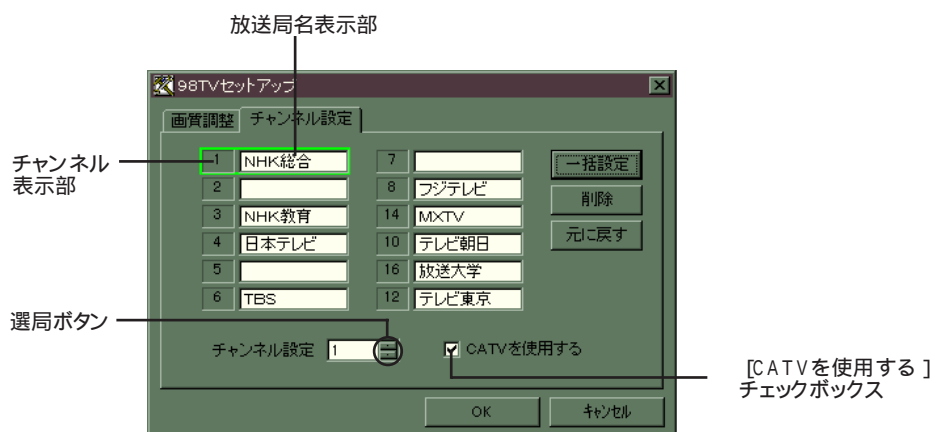
選局ボタンをクリックし、目的のチャンネルを選局します。

キーボードを使って放送局名を入力します。

- ・チャンネルを選択()して[削除]ボタンをクリックすると、選択されたチャンネルの設定が削除されます。
- ・[CATVを使用する]チェックボックス()をチェックするとCATVが有効になります。再度、[CATVを使用する]チェックボックスをチェックするとCATVが無効になります。
- ・[元に戻す]ボタンをクリックすると、設定したチャンネルがチャンネル設定を始める前の状態に戻ります。
- ・[OK]ボタンをクリックすると、98TVセットアップを終了します。



テレビが全画面表示されているときは操作できません。98TVをウィンドウ内表示に戻してから操作してください。



98TVで受信可能な放送は、地上波放送とCATV放送です。その他の電波およびケーブル放送は受信できません。また、ケーブルテレビ会社によっては、チャンネル周波数がずれている場合があります。このような場合は、CATVの受信機もしくはお手持ちのビデオプレーヤと本機をビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し、ビデオ入力をご覧ください。

ハイビジョン入力を設定する

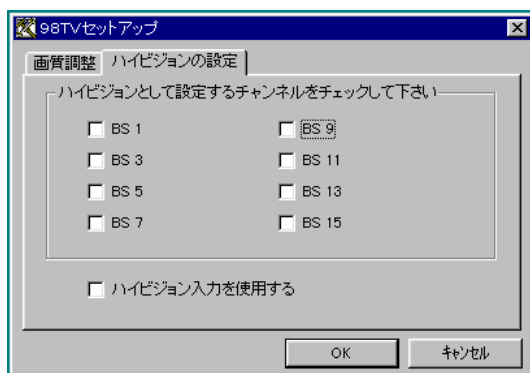
ハイビジョンをご覧になる場合、ハイビジョン放送を受信するチャンネルおよびハイビジョンの有無を設定する必要があります。



- ・ ハイビジョン放送(映像)をご覧になる場合は、32インチBSワイドディスプレイテレビ(PC-DH32W1)に別売のMUSEデコーダを接続する必要があります。MUSEデコーダの接続方法については、32インチBSワイドディスプレイテレビやMUSEデコーダに添付のマニュアルをご覧ください。
- ・ 28インチBSワイドディスプレイテレビ(PC-DH28W1)ではハイビジョン放送(映像)はご覧になれません。
- ・ ハイビジョン放送(映像)は全画面表示のみ可能です。
- ・ 32インチBSワイドディスプレイテレビ(PC-DH32W1)を接続した場合のみ、[ハイビジョンの設定]画面が表示されます。

■ハイビジョンの設定

- 1 [チューナ引き出し]ボタンをクリックします。チューナパネルが表示されます。
- 2 [設定]ボタンをクリックします。[98TVセットアップ]の画面が表示されます。
- 3 [98TVセットアップ]画面の[ハイビジョンの設定]タブをクリックします。



- 4 ハイビジョン放送を受信するチャンネルのチェックボックスにチェックをつけます。
- 5 W-VHSやハイビジョンLDの映像をご覧になる場合は、「ハイビジョン入力を使用する」チェックボックスにチェックをつけます。

電源をONにした後、すぐにテレビを見たいときは

本機のテレビ機能だけを使用するときには、以下の方法で起動することにより、メディアコントローラを操作するだけですぐにテレビを見ることができます。

17インチディスプレイ(PC-DH171)またはBSワイドディスプレイテレビを接続している場合のみ、以下の方法をご利用になれます。

電源ケーブルのプラグをACコンセントに差し込んでから最初に電源をONにするときには、一度Windows 95上で98TVを起動してください。なお、17インチディスプレイ(PC-DH171)を接続している場合には、98TV上でチャンネル設定も行ってください。



以下の方法で本機を起動したときには、CEREBメニューやWindowsは使用できません。CEREBメニューやWindowsを使用するときには、Part 2の「98ランチャー/CEREBメニュー/サイバーホーム3D」またはPart 11の「Windowsを使う」をご覧ください。

■ テレビを見る(98 インスタントTV)

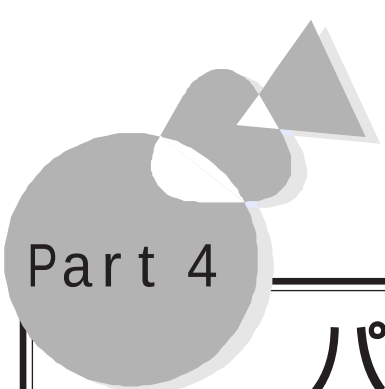
本体の電源がOFFのときに、メディアコントローラの[テレビ] ボタンを押します。
本体の電源がONになり、テレビの画面が表示されます。



- ・ チャンネルを変更するには、メディアコントローラの[チャンネル] ボタンを押します。
- ・ 音量を調整するには、メディアコントローラの[音量] ボタンを押します。
- ・ 17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時に、画質調整や画像 / 音声切替を行うには、メディアコントローラのカーソルキーを使います。カーソル上下キーで変更したい項目を選んで、左右キーで値を設定します。
- ・ 画面の大きさを変えることはできません。
- ・ 98インスタントTVでは、チャンネルの設定や動画の取り込みはできません。これらの操作を行うときは、98TVを起動して行ってください。

■ 98 インスタントTVを終了する

メディアコントローラの[電源] ボタンを押します。
テレビが消え、本体の電源がOFFになります。



Part 4

パソコン通信をする

本機でPC-VANやNIFTY-Serveに接続するための
設定方法について説明しています。

- BIGLOBE PC-VANを利用する
- NIFTY-Serveを利用する

■ パソコン通信とは

パソコン通信とは、電話回線を通して、他のパソコンと情報をやりとりすることです。パソコン通信を使えば、仕事や趣味に役立つ情報を入手したり、知らない人と知り合ったりすることができます。

PC-VANとNIFTY-Serveは、どちらも国内最大級のパソコン通信サービスで、電子メールやオンラインショッピング、仕事や趣味の共通の話題について話し合える「フォーラム」などのサービスを提供しています。これらのサービスを利用するには、入会手続きをして、会員になる必要があります。本機のPC-VANナビゲータやNIFTY Managerを使えば、簡単に入会手続きを行ったり、サービスを利用することができます。



PC-VANとNIFTY-Serveのどちらの会員になればいいかわからない場合は、本機添付のBIGLOBE(PC-VAN)の「おいでまシート」やNIFTY-Serveの「NIFTY-Serve イントロパック」で、それぞれのサービスを参照してください。両方の会員になることもできます。

PC-VANを利用する場合は「BIGLOBE PC-VANを利用する」を、NIFTY-Serveを利用する場合は「NIFTY-Serveを利用する」をご覧ください。

■ パソコン通信をするには

パソコン通信ができるようになるには、次の手順で行います。

モデムの準備

パソコン通信をするためには、本機のFAXモデムボードと電話回線を接続する必要があります。

これらの接続方法については、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

入会手続き

PC-VANの場合は「BIGLOBEサインアップナビ」、NIFTY-Serveの場合は「NIFTY-Serve サインアップ」を使って、それぞれのパソコン通信サービスと契約「サインアップ」をします。

以降の「BIGLOBEサインアップナビ」または「NIFTY-Serve サインアップ」の手順で、ユーザー登録を行ってください。

通信設定

「PC-VANナビゲータ」や「NIFTY Manager」で通信を行うための設定を行います。以降の「PC-VANに接続する」や「NIFTY-Serveに接続する」を参照して、通信設定を行ってください。

以上の手順でパソコン通信ができるようになります。

BIGLOBE PC-VANを利用する ～PC-VANナビゲータ

はじめてBIGLOBEのパソコン通信サービス「PC-VAN」のサービスを利用する場合は、まず最初に入会手続きをして、BIGLOBEの会員になる必要があります。入会手続きの方法については、以降の「BIGLOBEサインアップナビ」をご覧ください。なお、すでに入会手続きが済んでいる（BIGLOBE用のIDを持っている）場合は、入会手続きは必要ありません。次の「PC-VANに接続する」にお進みください。

BIGLOBEサインアップナビ

BIGLOBEに入会手続きをするには、「BIGLOBEサインアップナビ」を使用します。「BIGLOBE」は、インターネットとパソコン通信を融合し、発展させた新しいスタイルのネットワークサービスです。

インターネットをフル活用できるのはもちろん、パソコン通信サービス「PC-VAN」の豊富なメニューも1ひとつでお楽しみいただけます。本機添付の「おいでまシート」にサービス全般について説明していますのでご覧ください。

■サインアップの準備

次のものをご用意ください。

- ・ クレジットカード（本人名義のもの）
- ・ 本機添付の「おいでまシート」

以降のサインアップでは、BIGLOBEサービスのコースを選択します。あらかじめ「おいでまシート」を参照して、ご利用になりたいコースを選んでおいてください。



なお、ここでは「ばりばり15コース」での手順について説明します。その他のコースについては、「BIGLOBEサインアップナビ」の説明および「おいでまシート」をご覧ください。

また、次のことをご確認ください。

- ・ 電話回線の種類

現在ご使用の電話回線が「プッシュトーン」回線」か「ダイヤル（パルス）回線」かをあらかじめ確認しておいてください。よくわからない場合はNTTにお問い合わせください。

■ サインアップする

BIGLOBEへのサインアップをはじめます。

- 1 [インターネット&パソコン通信]グループの[設定/サインアップ]フォルダにある[BIGLOBEサインアップナビ]をクリックします。
BIGLOBEサインアップナビが起動します

- 2 [BIGLOBEに今すぐ入会しよう!]画面で[次へ]ボタンをクリックします。



- 3 オンラインサインアップの注意事項が表示されます。よくお読みください。お読みになったら[次へ]ボタンをクリックします。

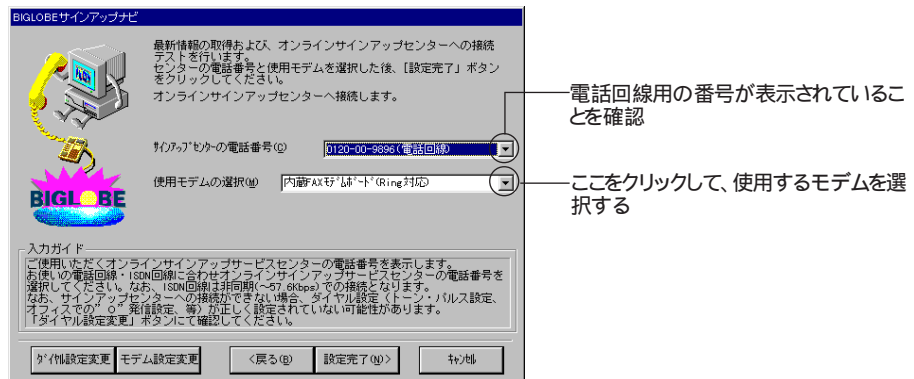


注意事項が表示される



サインアップセンターへの接続が終了すると、CEREBメニューなどの後ろに[BIGLOBEサインアップナビ]の画面がかかれてしまう場合があります。この場合、タスクバーに表示されている[BIGLOBEサインアップナビ]をクリックして、[BIGLOBEサインアップナビ]の画面を表示させてください。

4 オンラインサインアップセンターへの接続テストおよび最新情報の入手を行います。



次の確認を行います。

サインアップセンター 電話回線用の番号が表示されていることを確認します。
の電話番号

使用モデムの選択 ▼ボタンをクリックして、お使いのモデムを選択します。「内蔵FAXモデムボード(Ring対応)」が表示されていることを確認します。

5 サインアップセンターの電話番号と使用モデムを確認したら、「ダイヤル設定変更」ボタンをクリックします。



ここをクリック

- 6** [所在地情報]画面が表示された場合は、[国番号]に「日本」を、[市外局番]にご自分の市外局番を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

所在地情報画面のスクリーンショット。左側には電話機のイラストと「HOME-SPLIT」のラベルがある。右側には以下の入力欄がある：国番号(国)に「日本(81)」が選択されている；市外局番(市外)に「3」が入力されている；外線発信番号(市外)に「」が入力されている；ダイヤル方法に「トーン」が選択されている。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがある。

本機をお使いの場所の市外局番を入力してください
(先頭の0は入力しません)

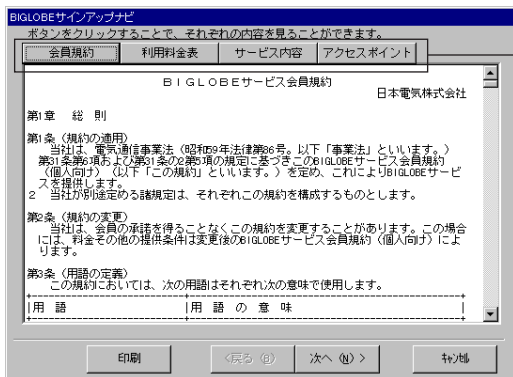
外線発信が必要な場合は番号を入力してください

お使いの電話回線を指定する
どちらかわからない場合はNTT
にお問い合わせください。

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示された場合は、画面に表示されている内容が正しいかどうか確認して、[OK]ボタンをクリックします。

- 7** 設定が終わったら、[設定完了]ボタンをクリックします。
サインアップセンターへの接続テストと最新情報の入手が自動的に行われます。

しばらくすると次の画面が表示されます。

BIGLOBEサインアップナビ画面のスクリーンショット。タブメニューには「会員規約」「利用料金表」「サービス内容」「アクセスポイント」があり、「会員規約」が選択されている。メイン表示域には「BIGLOBEサービス会員規約 日本電気株式会社」の第1章「総則」の第1条から第3条までの内容が表示されている。下部には「印刷」「戻る」「次へ」「終了」のボタンがある。

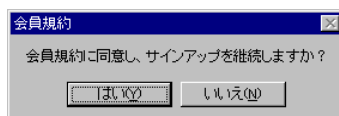
ここをクリックするとそれぞれの
情報が表示される

この画面では、次の情報が表示されます。

- ・ 会員規約 「BIGLOBEサービス会員規約」が表示されます。
- ・ 利用料金表 BIGLOBEでの料金体系が表示されます。
- ・ サービス内容 BIGLOBEが提供するサービス内容です。
- ・ アクセスポイント BIGLOBEに接続するためのアクセスポイント(電話をかける場所)の一覧です。

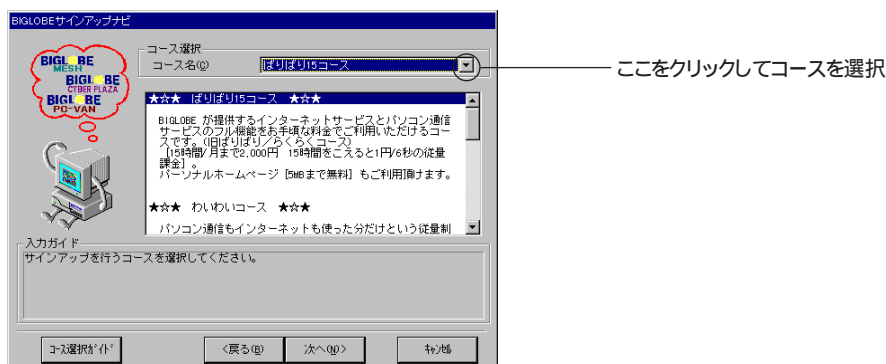
それぞれの情報を表示するには、各情報のタブをクリックします。
各画面で画面のスクロールボタンをクリックすると文章の上下の内容が表示されます。よくお読みください。また、[印刷]ボタンで、それぞれの情報を印刷することができます。

- 8** 各種の情報を読み終えたら[次へ]ボタンをクリックします。
- 9** 「会員規約に同意し、サインアップを継続しますか?」というメッセージが表示されますので、同意する場合は[はい]ボタンをクリックします。



「いいえ」を選択すると、サインアップが中止されます。

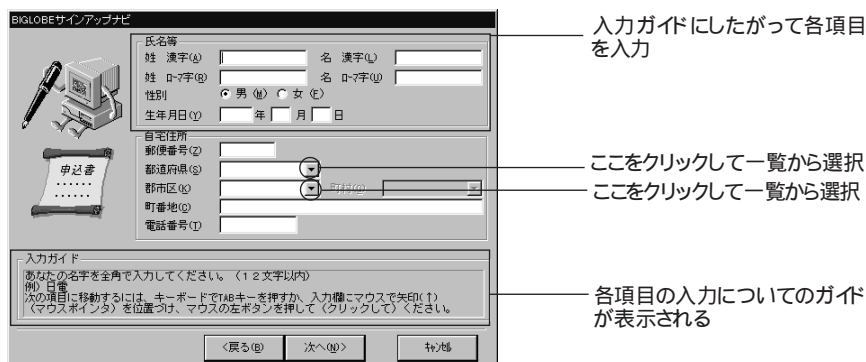
- 10** BIGLOBEのコースを選択する画面が表示されますので、コースを選択してください。コースの詳細については、本機添付の「おいでまシート」画面の説明または[コース選択ガイド]ボタンをクリックして表示される内容をご覧ください。



コースを選択したら[次へ]ボタンをクリックします。

以下は「ぼりぼり15コース」を選択した場合の説明をしています。

- 11** 氏名や自宅住所を入力する画面が表示されます。画面下部の「入力ガイド」にしたがって、各項目を入力してください。次の項目に移るには、その項目をマウスでクリックするか、または、キーボードの[TAB]キーを押してください。



すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

- 12** クレジットカードや入会方法、インターネットメールのアカウントについて入力する画面が表示されます。画面下部の「入力ガイド」にしたがって、各項目を入力してください。次の項目に移るには、その項目をマウスでクリックするか、または、キーボードの[TAB]キーを押してください。

ここをクリックして一覧から選択

「使用する」と表示されていることを確認

IDと仮パスワードが表示されていることを確認

希望するインターネットメールのアカウントを、画面に表示される「入力ガイド」にしたがって、第1希望から第3希望まで入力してください。第2希望以降は省略可能ですが、なるべく第3希望まで入力してください。



- ・ コースによっては、画面が異なる場合があります。
- ・ 優待IDと仮パスワードはあらかじめ入力されています。書き換えたり、消去したりしないでください。

- 13** すべての項目を入力したら、設定は終了です。[設定完了] ボタンをクリックします。

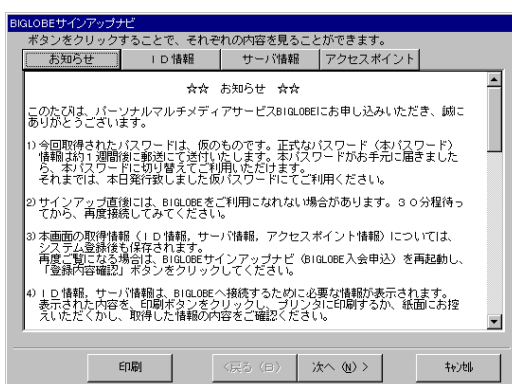
- 14** 「サインアップセンターに接続します。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、接続する場合は[はい] ボタンをクリックします。

オンラインサインアップセンターと接続し、入力した個人情報を登録して、サインアップ情報を入手します。しばらくお待ちください。

- 15** 「入会手続きを終了しました」という画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。



- 16** BIGLOBEに関する各種情報が表示されます。表示されている画面をよくお読みください。よくお読みになったら[ID情報]タブをクリックします。



- 17** [ID情報] 画面の次の内容をメモしてください。プリンタが使用できる場合は[印刷] ボタンで印刷できます。

- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード
- ・ 電子メールアドレス
- ・ メールパスワード



この画面は、オンラインサインアップ後に[BIGLOBEサインアップナビ] を起動して、[登録内容確認] ボタンをクリックしても表示されますが、念のため上記の内容をメモしておいてください。

- 18** [サーバ情報] をクリックして、表示された次の内容をメモしてください。プリンタが使用できる場合は[印刷] ボタンで印刷できます。

- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS
- ・ インターネットメールサーバ
- ・ ニュースサーバ



この画面はオンラインサインアップ後に「BIGLOBEサインアップナビ」を起動して、「登録内容確認」ボタンをクリックしても表示されますが、念のため上記の内容をメモしておいてください。

- 19** 「アクセスポイント」をクリックして、画面に表示されている最寄りのアクセスポイントの電話番号をメモします。

BIGLOBEサインアップナビ

ボタンをクリックすることで、それぞれの内容を見ることができます。

お知らせ ID 情報 サーバ情報 **アクセスポイント**

1997.3.25 更新

《 ダイヤルアップ / P 接続 くじくり接続 》

			電話回線 33: 6Mbps (非同期)	ISDN回線 57: 6Mbps (非同期)	64Mbps (同期)
【北海道】					
北海道	札幌#1	(011)	218-2168	207-6142	280-2821
	札幌#2	(011)	233-5218	210-2721	207-7306
	札幌#3	(011)	208-1201	208-2664	
	苫小牧#1	(0138)	44-2801		44-2561
	旭川#1	(0166)	29-3520	29-3481	49-2443
	旭川#2	(0166)	49-2442		
【東北】					
宮城県	仙台#1	(019)	632-1101	632-1102	632-1182
	一関#1	(0191)	31-1342		31-1364
	仙台#2	(022)	217-2291	216-5343	217-8166
	仙台#3	(022)	216-4002	713-8086	713-8088
	仙台#4	(022)	713-8078	88-2291	88-3382
秋田県	秋田#1	(0188)	88-2091		

印刷 <戻る (B) 次へ (N) > キャンセル

- 20** 各種情報を見終わったら、「次へ」ボタンをクリックします。

- 21** 次の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。ID、パスワードなどの情報が、PC-VANナビゲータに登録されます。

情報確認

PC-VANナビゲータへの情報(ID、パスワード)の登録を完了しました。

OK

- 22** 接続先名とアクセスポイントを設定後、「次へ」ボタンをクリックします。

BIGLOBEサインアップナビ

インターネットへ接続するため、取得情報及び、アクセスポイント情報をWindows(R)95システムへ登録します。アクセスポイントの設定情報を確認または設定し「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。

アクセスポイントの設定

接続先名(S) BIGLOBE

メールアドレス(M) XXXXX

アクセスポイント(S) 03-5799-9020 東京 電話回線

入力ガイド

インターネット接続するためのアクセスポイントを選択してください。最寄りのアクセスポイントの電話番号、所在地、回線種別(電話回線、ISDN回線等)が表示されている場合、または表示されている以外のアクセスポイントをお使いになる場合は、アクセスポイント一覧より選択してください。

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

このボタンをクリックして、一覧から最寄りのアクセスポイントを選択する



接続先名	BIGLOBEが表示されていることを確認します。
モデム名	「内蔵FAXモデムボード(Ring対応)」が表示されていることを確認します。
アクセスポイント	 ボタンをクリックして、一覧からアクセスポイントを選択してください。電話回線に対応した最寄りのアクセスポイントを選択します。



ここで設定するアクセスポイントはインターネットに接続する場合のアクセスポイントです。PC-VAN用のアクセスポイントとは異なります。

23 [取得情報設定] 画面が表示されますので、確認後、[はい] ボタンをクリックします。

24 次に表示された画面で、[OK] ボタンをクリックしてください。

25 続いて、取得情報についての注意が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
この後、BIGLOBEからのお知らせが表示されますので、[終了] ボタンをクリックします。

これで、設定は終了です。



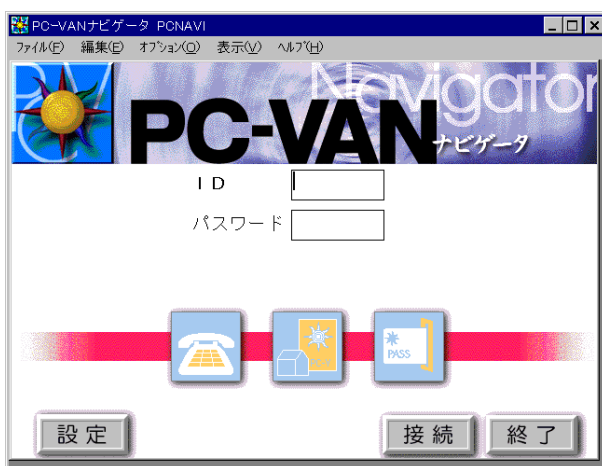
- ・ オンラインサインアップ中に「コンピュータを再起動しますか」というメッセージが表示されても [はい] ボタンをクリックしないでください。
- ・ サインアップ直後にはBIGLOBEサービスをまだご利用になれない場合があります。この場合は30分程待つてから再度接続してみてください。
- ・ サインアップで取得したパスワードは仮のものです。仮パスワード期間中はご利用になれないサービスがありますのでご了承ください。正式なパスワード情報(会員証)は約1週間後に郵送にて送付いたします。切り替え日時(約14日後)をご確認の上、変更願います。
なお、切り替え日時前でも、会員証がお手元に届き次第、正式なパスワードにてご利用いただけます。

PC-VANに接続する

■PC-VANナビゲータの起動

[PC-VANナビゲータ] を起動して、PC-VANを利用します。

- 1 [PC-VANナビゲータ] を起動します。
[インターネット&パソコン通信]グループにある[PC-VANナビゲータ]をクリックします。
うまく起動しないときは、他のアプリケーションをすべて終了させてから、[PC-VANナビゲータ] を再起動してください。



サインアップ直後は、IDとパスワードにはサインアップで入手したものが入力されています。正式なパスワード情報を入手した際には、[設定] ボタンをクリックし、[通信設定] の画面でIDとパスワードに正式なパスワード情報を入力してください。

■PC-VANへの接続

パソコン通信を利用して、PC-VANに接続します。

- 1** はじめて「PC-VANナビゲータ」を起動した場合は、「設定」ボタンをクリックしてください。以下の項目をご自分の通信環境に合わせて設定してください。

通信速度	モデム - パソコン間の通信速度を設定します。初期値は9600bpsに設定されています。
フロー制御	初期値の「CTS/RTS」にしておきます。
ポート番号	使用するCOMポート番号を設定します。初期値の「2」にしておきます。
ID、パスワード	PC-VANのIDとパスワードを入力します。 ここで設定しておく、手順3でIDとパスワードを入力しなくてよくなります。 [BIGLOBEサインアップナビ]でサインアップした場合は、仮パスワードが自動的に設定されています。
ID、パスワードを暗号化する	インターネット経由でtelnet接続する場合などは、セキュリティのために「ID、パスワードを暗号化する」をクリックして、チェックをつけます。
アクセスポイント 第1候補～第3候補	最寄りのPC-VANのアクセスポイントの電話番号を設定します。「参照」ボタンをクリックすると「アクセスポイント選択」画面が表示されますので、接続するアクセスポイントの「地区名」「速度」を選択してください。アクセスポイントは第3候補まで設定できます。「アクセスポイント第1候補」は必ず設定してください。
内線	0発信の内線からご利用の場合は「内線」をクリックして、チェックをつけます。
パルス10 / パルス20 / トーン	ご利用の電話回線に合わせて設定します。よくわからない場合はNTTにお問い合わせください。
IPアドレスドメイン名	「ポート番号」で「TELNET」を指定した場合のみ入力できます。

初期化文字列	通常は設定する必要はありません。空白のままにしておいてください。なお、設定する場合は、先頭の「AT」は省略してください。
ログファイルの作成	ログファイルを作成するかどうかを選択します。ログファイルを作成する場合は、チェックをつけます。 ログファイルとは、通信上の履歴を記録したファイルのことです。
ログファイルの自動削除	ログファイルの数が特定の件数に達した場合、自動的に削除するかどうかを選択します。ログファイルを自動的に削除する場合は、チェックをつけます。自動削除を設定すると、必要以上にログファイルが保存されることがなくなります。 保存件数として指定できるのは1～365件です。指定件数を超えた場合は、古いものから順に自動的に削除されます。
モデム設定	[モデム設定] ボタンをクリックすると、モデムの設定が行えます。本機添付のFAXモデムボードを使用する場合は特に設定する必要はありません。その他のモデムを使う場合に設定してください。なお、ご利用のモデムがリスト中に入らない場合は、メーカー名を「ATモデム」に、型名を「汎用」にして、必要に応じて、[初期化文字列] を設定してください。
ディレクトリ	[ディレクトリ] ボタンをクリックすると、ログファイル、ダウンロードファイル、アップロードファイルを格納するディレクトリを指定できます。必要に応じて設定してください。なお、初期値は「A: ¥PCNAVI」になります。
オプション	[オプション] ボタンをクリックすると、他のアプリケーションとの連動機能を使用するかどうか指定できます。必要に応じて設定してください。
フォント	[フォント] ボタンをクリックすると、フォントを設定できます。必要に応じて設定してください。

2 設定が終了したら、[通信設定] 画面の [OK] ボタンをクリックします。

3 IDとパスワードを入力していない場合は、[ID] [パスワード] に自分の番号を入力してください。[接続] ボタンをクリックすると、PC-VANナビゲータが自動的にPC-VANのセンターに電話をかけて、PC-VANサービスに接続します。画面が切り替わり、PC-VANからのお知らせが表示されます。
[インデックス] アイコンを選択してメニューを選んでいくことによってPC-VANの数多くのサービスを利用することができます。



PC-VANメインメニュー画面以降のメニューの選択方法については、[PC-VANナビゲータ] のヘルプをご覧ください。

NIFTY-Serveを利用する ～ NIFTY Manager

はじめてパソコン通信サービス「NIFTY-Serve」のサービスを利用する場合は、NIFTY-Serveに加入する必要があります。

入会手続きの方法については、以降の「NIFTY-Serveサインアップ」をご覧ください。なお、すでに入会手続きが済んでいる（NIFTY-ServeのIDを持っている）場合は入会手続きは必要ありません。次の「NIFTY-Serveに接続する」にお進みください。

NIFTY-Serveサインアップ.....

■サインアップの準備

次のものをご用意ください。

- ・ クレジットカード（本人名義のもの）
- ・ 本機添付の「NIFTY-Serve イントロパック」

また、次のことをご確認ください。

- ・ 電話回線の種類

現在ご使用の電話回線が「プッシュ（トーン）回線」か「ダイヤル（パルス）回線」かをあらかじめ確認しておいてください。よくわからない場合はNTTにお問い合わせください。

■サインアップする

NIFTY-Serve サインアップをはじめます。



NIFTY-Serveサインアップを起動する前に、[コントロールパネル]の[モデム]を起動して、[ダイヤルのプロパティ]で所在地情報やダイヤル方法を設定しておいてください。

- 1 [インターネット&パソコン通信]グループの[設定/サインアップ]フォルダにある[NIFTY-Serveサインアップ]をクリックします。
[NIFTY-Serveサインアップへようこそ]の画面が表示されます。

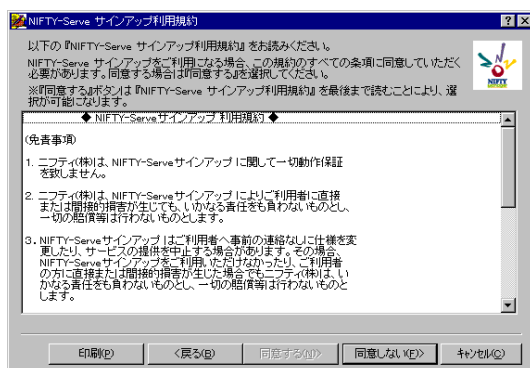
- 2** [NIFTY-Serveサインアップへようこそ]画面で「サインアップ開始」をクリックします。



- 3** [NIFTY-Serve サインアップ利用規約]画面が表示されます。▼ボタンをクリックして最後までお読みください。最後まで読むと「同意する」ボタンがクリックできるようになります。同意する場合は「同意する」ボタンをクリックします。



「同意しない」を選択すると、サインアップが中止されます。



- 4** [NIFTY-Serve 会員規約]画面が表示されます。▼ボタンをクリックして最後までお読みください。最後まで読むと「同意する」ボタンがクリックできるようになります。同意する場合は「同意する」ボタンをクリックします。



「同意しない」を選択すると、サインアップが中止されます。

- 5** [NIFTY-Serve 利用料金]画面が表示されます。▼ボタンをクリックして最後までお読みください。最後まで読むと「同意する」ボタンがクリックできるようになります。同意する場合は「同意する」ボタンをクリックします。



「同意しない」を選択すると、サインアップが中止されます。

- 6** [シリアルナンバー/アグリーメントナンバーの入力]画面が表示されます。本機添付の「NIFTY-Serveイントロパック」の最終ページにあるシリアルナンバーとアグリーメントナンバーをそれぞれ大文字の半角英数字で入力してください。すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

- 7** [クレジットカード情報の入力]画面が表示されます。[クレジットカード種別]の▼ボタンをクリックして、一覧からお手持ちのクレジットカードを選択します。また、[クレジットカード番号]と[有効期限]を入力例にしたがって入力します。すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

- 8** [登録情報の入力(その1)]画面が表示されます。各項目を入力例にしたがって入力してください。すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。



漢字で入力する項目では自動的に日本語入力モードになります。

- 9** [登録情報の入力(その2)]画面が表示されます。各項目を入力例にしたがって入力してください。すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

登録情報の入力(日本の2)

郵便番号、住所、電話番号を入力してください。

郵便番号 例)140-33 都道府県名 (ド롭ダウンリストボックスより選択してください)

市郡名 例)横浜市(漢字8文字以内、東京23区のみ区名まで)

市郡名(ローマ字) 例)YOKOHAMASHI(半角ローマ字で32文字以内)

所番地(漢字)1 例)南六井6-26-1(漢字20文字以内)

所番地(漢字)2 例)大森荘A棟203号室(漢字20文字以内)

所番地ローマ字1 例)6-26-1 MINAMI-O(半角ローマ字で30文字以内)

所番地ローマ字2 例)OMORI SOU A 203(半角ローマ字で30文字以内)

電話番号 例)03-1234-5678 (市外局番から入力)

<戻る(B) >次へ(N)> キャンセル(C)

- 10** [勤務先の入力]画面が表示されますので、各項目を設定します。勤務先については、入力を省略することができます。ただし、[勤務先名]を入力した場合は、[部課名] [電話番号]を入力する必要があります。
[次へ]ボタンをクリックします。

- 11** [CompuServeについて]画面が表示されますので、コンピュサーブのIDを取得する場合は、[取得する]を、取得しない場合は、[取得しない]をクリックします。ただし、取得した場合は、別途コンピュサーブの料金が必要です。
[取得する]をクリックした場合は、コンピュサーブの会員規約が表示されますので、よくお読みください。

- 12** [接続設定]画面が表示されます。以下の項目を設定してください。

接続設定

接続するアクセスポイント、使用する回線などを指定してください。

地域選択

アクセスポイント一覧

所在	速度	番号
東京E(ROAD 4)	14400	03-5710-5300
東京C(ROAD 4)	14400	03-5711-3911
東京A(ROAD 5)	28800	03-3737-9000
東京E(ROAD 5)	28800	03-5710-6222
東京C(ROAD 5)	28800	03-5711-2866
調布三鷹(ROAD 4)	14400	0422-76-5500

電話番号

モデム: モデムのプロパティ

ダイヤル: ダイヤルのプロパティ

<戻る(B) >次へ(N)> キャンセル(C)

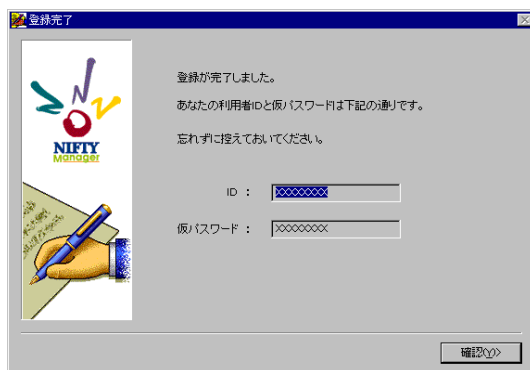
アクセスポイント一覧	一覧から、お使いの通信速度に合った、最寄りのアクセスポイントを選択します。
電話番号	[アクセスポイント一覧]で選択したアクセスポイントの番号が表示されます。特に設定する必要はありません。
モデム	お使いのモデムが表示されています。特に設定する必要はありません。
ダイヤル	お使いのダイヤル設定が表示されています。特に設定する必要はありません。



[ダイヤル]に何も表示されていない場合は、[ダイヤルのプロパティ]ボタンをクリックして、所在地情報を設定してください。

必要な設定が終了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

- 13** [会員情報の入力]画面が表示されます。[機種名]が入力されているか確認してください。この画面の情報は、サインアップが終了した後でも設定できます。[次へ]ボタンをクリックします。
- 14** [登録]画面が表示されます。表示された内容をよくお読みになった後、[登録する]をクリックします。
[登録中]の画面が表示されますので、しばらくお待ちください。
- 15** しばらくするとNIFTY-Serveの使用権についてのメッセージが表示されますので、お読みになった後、[OK]ボタンをクリックします。
- 16** [登録完了]画面が表示されます。表示されたIDと仮パスワードをメモしておいてください。メモしたら、[確認]ボタンをクリックします。

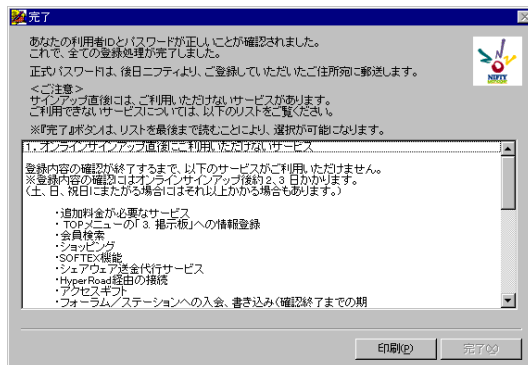


- 17** [IDと仮パスワードの確認]画面が表示されます。さきほどメモしたIDと仮パスワードを入力してください。入力したら[確認]ボタンをクリックします。



- 18** [NIFTY Manager 設定確認]画面が表示されますので、[登録する]ボタンをクリックします。

- 19** [完了]画面が表示されます。▼ボタンをクリックして、表示される内容を最後までお読みください。読み終わったら[完了]ボタンをクリックします。



あなたの利用者IDとパスワードが正しいことが確認されました。
これで、全ての登録処理が完了しました。
正式パスワードは、後日ニフティより、ご登録していただいたご住所宛に郵送します。

＜ご注意＞
サインアップ直後は、ご利用いただけるサービスが異なります。
ご利用できないサービスについては、以下のリストをご覧ください。
※『完了』ボタンは、リストを最後まで読むことにより、選択が可能になります。

1. オンラインサインアップ直後にご利用いただけないサービス

登録内容の確認が終了するまで、以下のサービスがご利用いただけません。
※登録内容の確認はオンラインサインアップ後約2～3日かかります。
(土、日、祝日によりかかる場合はそれ以上かかる場合もあります。)

- ・追加料金が必要なサービス
- ・TOPメニューの「3. 掲示板」への情報登録
- ・会員検索
- ・ショッピング
- ・SOFTE機能
- ・シェアウェア送金代行サービス
- ・Hyper Road経由の接続
- ・アクセスギガ
- ・フォーラム/ステーションへの入会、書き込み(確認終了までの期

印刷(D) 完了(O)

これでオンラインサインアップは終了です。

NIFTY-Serveに接続する.....

■NIFTY Managerの起動

[NIFTY Manager]を起動して、NIFTY-Serveを利用します。

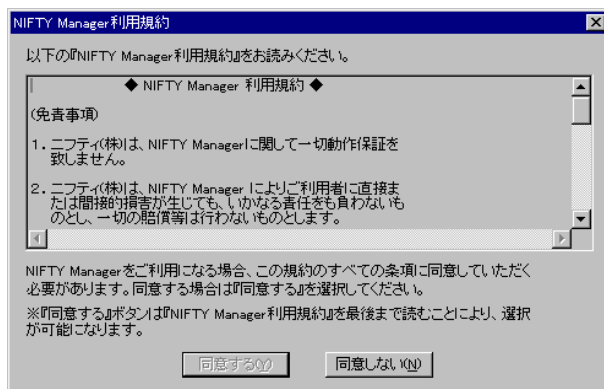


以前からNIFTY-ServeのIDを持っている場合などで、[NIFTY-Serveサインアップ]を利用しないで、はじめてNIFTY Managerを起動する場合は、起動する前に[コントロールパネル]の[モデム]を起動して、[ダイアルのプロパティ]で所在地情報やダイヤル方法を設定しておいてください。

- 1 [NIFTY Manager]を起動します。
[インターネット&パソコン通信]グループの[NIFTY Manager]をクリックします。
うまく起動しないときは、他のアプリケーションをすべて終了させてから再起動してください。
- 2 はじめてNIFTY Managerを起動した場合には、[NIFTY Manager 利用規約]画面が表示されます。
最後までよくお読みください。最後まで読むと「同意する」ボタンがクリックできるようになります。同意する場合は「同意する」ボタンをクリックします。
なお、2回目以降に起動した場合には、この画面は表示されません。



「同意しない」を選択すると、NIFTY-Serveに接続できません。



- 3 「NIFTY-Serve サインアップ」の「■サインアップする」の手順18で「登録する」ボタンをクリックした場合は、[ワンポイント]画面が表示されますので、[閉じる]ボタンをクリックしてください。
この場合、以降の「■通信環境の設定」の手順は必要ありません。「■NIFTY-Serveへの接続」に進んでください。
なお、ここで「セットアップ」画面が表示された場合は、以降の「■通信環境の設定」の手順を行ってください。

■ 通信環境の設定

「NIFTY-Serve サインアップ」の「■ サインアップする」の手順18で「登録する」ボタンをクリックしなかった場合や、以前からNIFTY-ServeのIDを持っていて、「NIFTY-Serve サインアップ」を利用しなかった場合は、はじめてNIFTY Managerを起動したときに通信環境を設定する画面が表示されます。次の手順で設定してください。

- 1 表示された画面でIDとパスワードを入力してください。入力したら、「次へ」ボタンをクリックします。



セットアップ

NIFTY Manager の通信環境をセットアップします



ID

Password

大文字、小文字に注意してください。

ここで設定しなくても、毎回アクセス時に聞いてきます。
キャンセル時にオプションの通信設定でも設定できます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ

- 2 アクセスポイントを設定します。ご利用のモデムの通信速度に合った、最寄りのアクセスポイントをクリックします。設定したら「次へ」ボタンをクリックします。



セットアップ

アクセスポイント設定 (日本国内のみ有効)



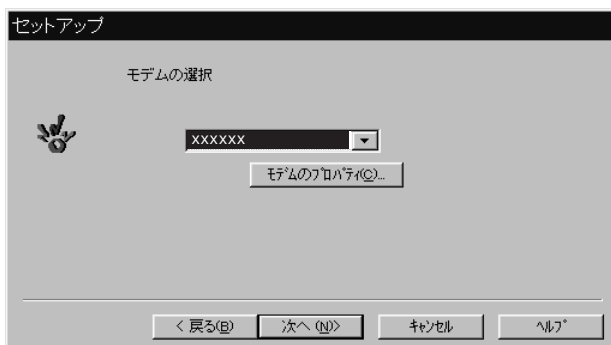
所在	速度	番号
札幌(ROAD 3 INS-C)	9600	011-809-2026
札幌(ROAD 2)	2400	011-898-3344
札幌(ROAD 5)	28800	011-898-7670
札幌(ROAD 4)	14400	011-898-9425
札幌(HyperROAD)	28800	011-809-2262
滝川(ROAD 2)	2400	0125-22-4126
滝川(ROAD 4)	14400	0125-23-0339
岩見沢(ROAD 2)	2400	0126-24-4940
小樽(ROAD 4)	14400	0134-24-5031
小樽(ROAD 2)	2400	0134-24-5660

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ



アクセスポイントの設定の際、HyperROADをご使用になるためには、「インターネット&パソコン通信」の「設定/サインアップ」フォルダにある「NIFTYダイヤルアップネットワークの設定」で、インターネットを利用するように設定する必要があります。なお、「NIFTYダイヤルアップネットワークの設定」で設定を行うと、すでに設定してあったインターネット接続用の環境が変更されます。BIGLOBEなど、他のプロバイダと接続する場合には、「コントロールパネル」の「インターネット」で設定を変更してください。

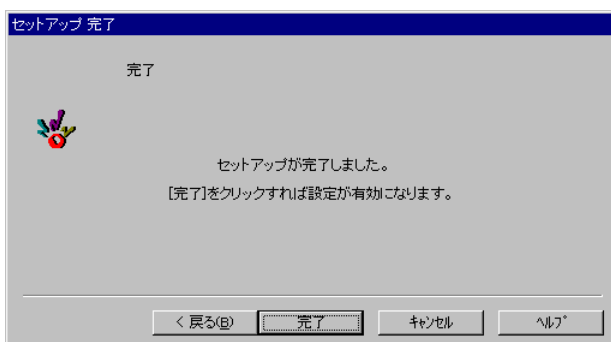
- 3** モデムを選択します。お使いのモデムが表示されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。



- 4** 電話の設定をします。[標準] が表示されていることを確認してください。確認したら [次へ] ボタンをクリックします。



- 5** 「セットアップは完了しました」というメッセージが表示されますので、[完了] ボタンをクリックします。



- 6** [ワンポイント] 画面が表示されますので、[閉じる] をクリックします。

これで設定は完了です。次の「 ■ NIFTY-Serveへの接続 」に進みます。

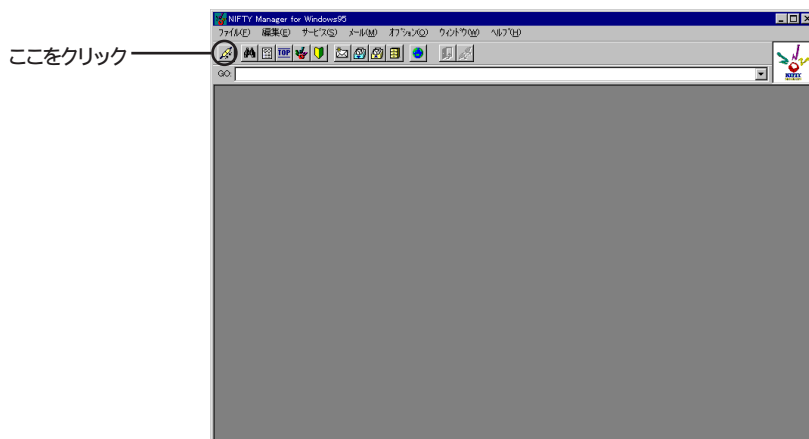


通信環境を設定した後で通信環境を変更する場合は、NIFTY Managerの [オプション] メニューの [通信設定] で設定を行います。

■NIFTY-Serveへの接続

NIFTY-Serveに接続してみます。

- 1 [NIFTY Manager]の[ファイル]メニューから[接続]を選択します。または、ツールバーのをクリックします。

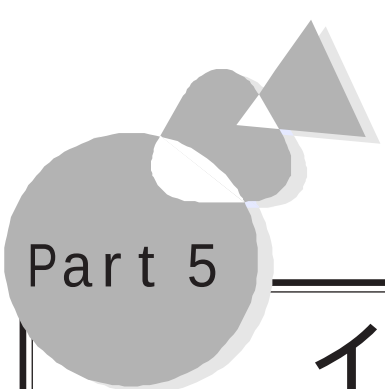


- 2 IDやパスワードを設定していない場合は、入力する画面が表示されますので、入力してください。NIFTY-Serveに自動的に接続して、TOPメニューが表示されます。



NIFTY-Serveに接続してからの操作方法については、NIFTY Managerのヘルプをご覧ください。

Copyright© 1995-1997 NIFTY Corporation.All rights reserved.
Copyright© 1996 NetVision Co.,Ltd.



Part 5

インターネットを使う

本機には、インターネットに簡単に接続し、WWW(World Wide Web)にアクセスできるソフトウェアがインストールされています。

- インターネットを利用する

インターネットを利用する

ここでは、インターネットに接続して、WWWにアクセスするためのソフトウェアについての概要を説明します。

なお、これらのソフトウェアの詳しい使い方については、『インターネットスタートガイド』をご覧ください。

インターネットに接続するには、それぞれのソフトウェアを使用して次の手順で行います。

1. インターネットチュータで学ぶ → インターネットチュータ

インターネットが簡単にわかる「インターネットチュータ」が添付されています。「インターネットチュータ」は、インターネットに接続されていない方でも実際のWWWサーバの雰囲気味わえ、インターネットの楽しさや有用性を感じとれるソフトウェアです。

2. NECのプロバイダ「BIGLOBE」と契約する

→ BIGLOBEサインアップナビ

「BIGLOBEサインアップナビ」を使用して、NECのプロバイダ(インターネットにあなたのコンピュータをつなげてくれる会社です)である「BIGLOBE」と契約します。

あなたのコンピュータから回線を使ってプロバイダ(BIGLOBE)と契約する方法をオンラインサインアップといいます。「BIGLOBEサインアップナビ」は「インターネット&パソコン通信」グループの「設定/サインアップ」フォルダにあります。

3. インターネットに接続する → インターネットエクスプローラ

「BIGLOBE」とのオンラインサインアップが完了したら、実際にインターネットに接続します。「インターネットエクスプローラ」を使用して、インターネットに接続するとWWWにアクセスすることができます。「インターネットエクスプローラ」は「インターネット&パソコン通信」グループにあります。



・ インターネットとは

世界中に点在するコンピュータネットワークが相互に接続された、世界最大のネットワークです。

・ WWWとは

インターネットを経由して世界中の人と情報をやりとりするためのサービスの名称です。他のサービスとして、電子メール、FTPなどがあります。

翻訳ソフトを使う

英文を作成したり、英語の文章を日本語に訳したりするのに便利なソフトについて説明します。

- 英文を作成する
- 英語を日本語に翻訳する

英文を作成する～翻訳アダプタ

翻訳アダプタ を使うと、マウスのドラッグとクリックだけで、簡単に日本語の文章を英語に翻訳できますので、英文で手紙文書や電子メールを書くのに便利です。ここでは、[翻訳アダプタ] を使った翻訳の方法を説明します。



[翻訳アダプタ ヘルプ] を起動すると、翻訳アダプタ を使った翻訳の方法や注意事項を見ることができます。[翻訳アダプタ ヘルプ] は、[書庫] グループの [ヘルプ] フォルダにあります。お使いになる前にご覧ください。

■ 翻訳を行う

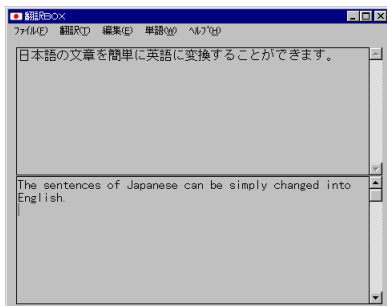
- 1 [翻訳アダプタ] を起動します。
[書斎] グループまたは [インターネット&パソコン通信] グループの [翻訳アダプタ] をクリックします。または [スタート] メニューから [プログラム] をポイントし、[書斎] にある [翻訳アダプタ] をクリックします。
次のような画面が表示されます。



- 2 他のアプリケーション上の翻訳したい文字列をマウスドラッグ(マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かす)で選択します。選択する文字列は複数文を含んでいてもかまいません。

日本語の文章を簡単に英語に変換することができます。

- 3 マウスの右ボタンをクリックします。



■ 翻訳アダプタ を終了する

- 1 [Translation Adaptor II]の[Quit]ボタンをマウスの左ボタンでクリックします。



このボタンを左クリック

- 2 終了確認の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
[翻訳アダプタ]が終了します。

英語を日本語に翻訳する ～ 翻訳アダプタ

翻訳アダプタ を使うと、マウスのドラッグとクリックだけで、簡単に英語の文章を日本語に翻訳できますので、英語のホームページを翻訳するのに便利です。ここでは、[翻訳アダプタ]を使った翻訳の方法を説明します。



[翻訳アダプタ ヘルプ] を起動すると、翻訳アダプタ を使った翻訳の方法や注意事項を見ることができます。[翻訳アダプタ ヘルプ]は、[書庫]グループの[ヘルプ]フォルダにあります。お使いになる前にご覧ください。

■ 翻訳を行う

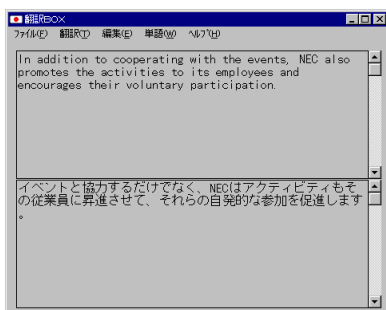
- 1 [翻訳アダプタ] を起動します。
[書斎]グループまたは[インターネット&パソコン通信]グループの[翻訳アダプタ]をクリックします。または[スタート]メニューから[プログラム]をポイントし、[書斎]にある [翻訳アダプタ] をクリックします。
次のような画面が表示されます。



- 2 他のアプリケーション上の翻訳したい文字列をマウスドラッグ(マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かす)で選択します。選択する文字列は複数文を含んでいてもかまいません。

and autumn, the major one being the "International Beach Clean Up Day" held nationwide on September 22nd. It was launched with about 1,000 people participating and today has grown into an event with tens of thousands of people working on beaches and other locations throughout the country. [In addition to cooperating with the events, NEC also promotes the activities to its employees and encourages their voluntary participation.]

- 3 マウスの右ボタンをクリックします。



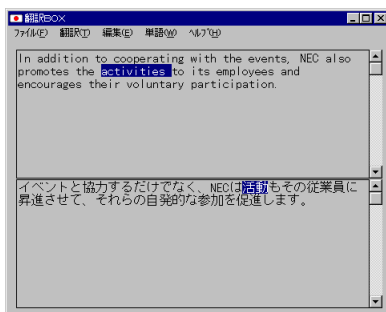
■ 訳語を置換する

翻訳結果を修正したい場合は、[翻訳アダプタ] の辞書引き機能を使って、他の訳語候補を表示したり、訳語の置換を行うことができます。

- 1 [翻訳BOX] の置換したい訳語(下の図では「activities」)をマウスの左ボタンでダブルクリックします。
- 2 マウスの右ボタンをクリックして、訳語の候補を表示します。
[辞書BOX] に訳語の候補が表示されます。



- 3 [辞書BOX] の訳語を選択して、マウスの左ボタンをクリックします。ここでは、「活動」をダブルクリックします。
[翻訳BOX] の「アクティビティ」が「活動」に変わります。



置換した結果は、次回の翻訳に反映されません。翻訳時に使用する訳語を変更したい場合は、翻訳用辞書を編集する必要があります。
辞書の編集については、ヘルプを参照してください。

■ 翻訳アダプタ を終了する

- 1 [Translation Adaptor II]の[Quit]ボタンをマウスの左ボタンでクリックします。



- 2 終了確認の画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
[翻訳アダプタ II]が終了します。

マルチメディア機能を使う

本機でマルチメディア機能を利用する手順や注意事項について説明します。

- DVDプレーヤを使う
- オーディオCD/ビデオCD/フォトCDを再生する
- カーナビゲーション用CDを再生する
- 画像や音声を編集する
- アルバムを作る
- はがきを作る
- ビデオを作る
- イメージスキャナユーティリティを使う
- カラーイメージユーティリティを使う
- マルチメディア機能を使う場合の注意

PC-9821C233/Vに関する内容です。

DVD プレーヤを使う

PC-9821C233/Vに関する内容です。

本機にはDVD-ROMドライブが搭載されており、DVDプレーヤにより市販のDVD-VIDEOディスク、およびDVD Videoメディア(以下、DVD VIDEOディスク)を再生することが可能です。DVD VIDEOディスク以外は再生できません。

ここでは、DVDプレーヤの起動方法や各部の名称と役割(操作方法)、設定方法について簡単に説明します。詳細についてはメイン操作パネルまたは簡易操作パネルの(?)ボタンをクリックすることによって表示される「DVDプレーヤヘルプ」をご覧ください。



DVDプレーヤの基本的な操作はメディアコントローラで操作することもできます。メディアコントローラでの操作方法については、「付録」の「メディアコントローラ操作早見表」をご覧ください。

DVD プレーヤを起動する.....

DVDプレーヤの起動方法と、各部の名称と役割を簡単に説明します。

■DVDプレーヤの起動

DVD VIDEOディスクをDVD-ROMドライブにセットして、[居間]グループの[DVDプレーヤ]をクリックすると、DVDプレーヤが起動し、メイン操作パネル、または簡易操作パネルの画面が表示されます。DVD VIDEOディスクの種類によっては、DVD-ROMドライブにセットすると自動的にDVDプレーヤが起動します。

メイン操作パネル



簡易操作パネル



■ 各部の名称と役割

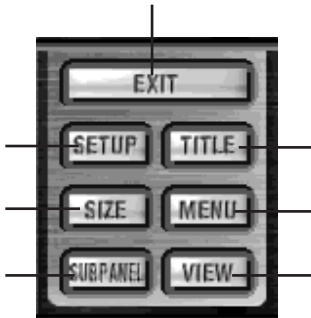
● メイン操作パネル

メイン操作パネルの各部の名称と役割は以下のとおりです。



● DVD プレーヤーを制御するボタン

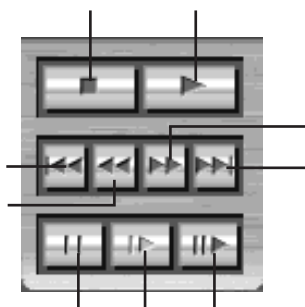
次のボタンがあります。



EXIT	DVD プレーヤーを終了します。
SETUP	いろいろな設定を行うための「DVD の設定」画面を表示します。詳しくは「DVD プレーヤーヘルプ」の「DVD の設定」をご覧ください。
SIZE	再生画面のウインドウサイズを480×360(4:3)または480×270(16:9)に設定します。
SUBPANEL	タイトルやメニューを選択する「サブパネル」を表示します。
TITLE	DVD VIDEOディスクに収録されているタイトルメニューを表示します。
MENU	DVD VIDEOディスクに収録されているDVDメニューを表示します。
VIEW	メイン操作パネルと簡易操作パネルの表示を切り替えます。

・再生時に使用するボタン

次のボタンがあります。



停止

再生を停止します。

再生

現在のタイトル(作品)を再生します。また、早送り/ 早戻し再生・スロー再生・一時停止状態から標準再生に切り替えます。

スキップ前

現在再生中のチャプターの先頭に戻ります。続けてクリックするとひとつ前のチャプターの先頭にスキップします。

早戻し

早戻しでタイトル(作品)を再生します。

早送り

早送りでタイトル(作品)を再生します。

スキップ次

次のチャプターの先頭にスキップします。続けてクリックすると次のチャプターの先頭にスキップします。

一時停止

再生を一時停止したり、一時停止を解除します。

スロー再生

スローでタイトル(作品)を再生します。

コマ送り

コマ送りでタイトルを再生します。一時停止状態で使用してください。

・音量調整、その他のボタン

次のボタンがあります。



音量調整

音量の調整を行います

MUTE

再生音の消去や消去の解除を行います。

REPEAT

1回クリックする(状態表示が緑色)とチャプターを、2回クリックする(状態表示が黄色)とタイトルを繰り返して再生します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

EJECT

DVD-ROMドライブのトレイの出し入れを行います。



- ・ディスクが入っていない場合は、トレイを出すことはできません。
- ・トレイを出し入れするときは、あらかじめ本機前面にあるフロントカバーを開けておいてください。

・コントロールパネル

コントロールパネルでは、DVDプレーヤや再生しているタイトルの状態を表示します。



TITLE	再生中のタイトル番号を表示します。
CHAPTER	再生中のチャプター番号を表示します。
TIME	タイトルごとの時間を表示します。
状態表示	再生中、スロー再生中、早送り/ 早戻し再生、停止中などの状態を表示します。
subtitle	選択されている字幕の状態を表示します。
audio	選択されている音声の状態を表示します。
angle	選択されているアングルの状態を表示します。
時間(スライダー)	再生中のタイトルの再生位置(時間)を表示します。また、スライダーのバーのつまみをマウスで移動することにより、お好みの位置から再生できます(マウスで移動できないタイトル(チャプター)あり)。
VOLUME	現在の音量の状態を表示します。
MUTE	ミュートの状態を表示します。
REPEAT	リピートの選択状態を表示します。

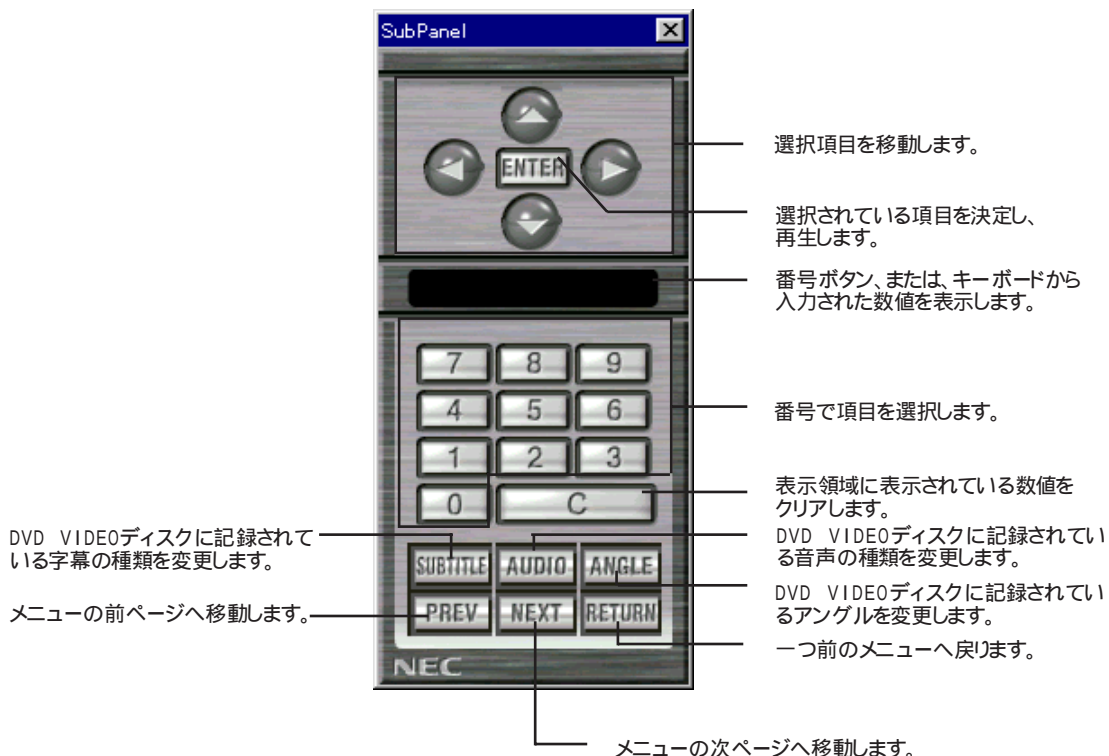
●簡易操作パネル

メイン操作パネルが表示されている場合に「VIEW」ボタンをクリックすると以下のような簡易表示パネルが表示されます。各ボタンの名称と役割はメイン表示パネルと同じです。



●サブパネル

メイン操作パネルの[SUBPANEL]ボタンをクリックすると、次のような[SubPanel]画面が表示されます。



DVD VIDEOディスクによっては、[PREV] [NEXT] [RETURN]ボタンをクリックしてもメニュー上、変化しない場合があります。

DVD の設定

メイン操作パネルの[SETUP]ボタンをクリックすると次のような[DVDの設定]画面が表示されます。この画面でDVDの設定を行います。

詳しくは、「DVD プレーヤヘルプ」の「DVD の設定」をご覧ください。



DVD プレーヤヘルプは、操作パネルの(?)ボタンをクリックすると表示されます。

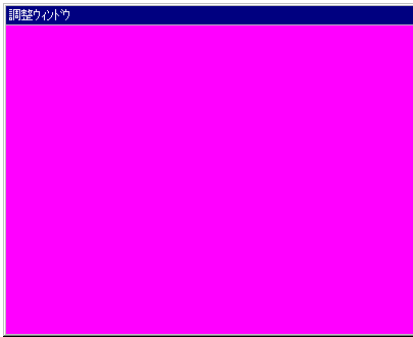


画面を設定する

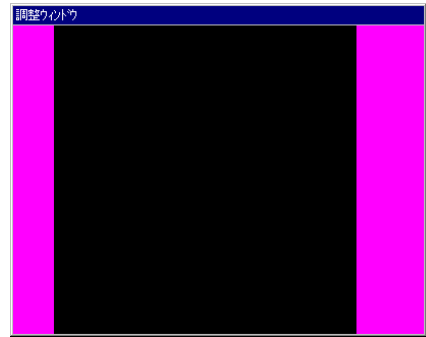
接続するディスプレイや解像度によっては、画面が正しく表示されない場合があります。
その場合は、下記の操作にしたがって調整してください。

■ 画像の表示位置、歪み、画面幅の比率を調整する

画像を美しくお楽しみいただくには、映像ウィンドウを調整する必要があります。

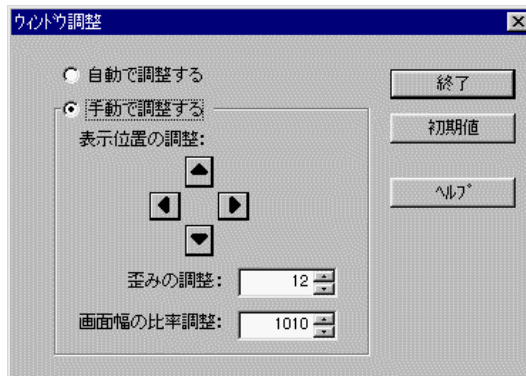


(画面がウィンドウに合っている例)



(画面がウィンドウに合っていない例)

- 1** 再生を停止して、メイン操作パネルの[SETUP]ボタンをクリックします。
[DVD の設定]画面が表示されます。
- 2** [オーバーレイ]タブをクリックします。
[オーバーレイ プロパティシート]が表示されます。
- 3** [ウィンドウ調整]ボタンをクリックします。
[ウィンドウ調整]画面が表示されます。



- 4** 「自動で調整する」で映像ウィンドウのズレが調整されます。調整できなかった場合は、「手動で調整する」で調整してください。
詳しくは、「DVD プレーヤーヘルプ」の「ウィンドウの調整」をご覧ください。



「手動で調整する」で「歪みの調整」の値を変更し終了した場合、その後「自動で調整する」で調整しても、歪みの値は自動的に調整されません。再生を開始して、映像ウィンドウの両側の映像が乱れないように、値を変更して調整してください。

DVD プレーヤを使用する際の注意事項.....

- DVD VIDEOディスクによっては、各ボタンを選択しても動作しない場合があります。
- 16:9画面サイズで字幕のあるタイトルを再生すると、字幕の下部が切れる場合があります。このような場合は、「DVDの設定」のオーバーレイのディスプレイモードで「レターボックス」を選択してください。
- ご使用になるディスプレイ、解像度によっては、ウィンドウの調整が必要な場合がありますので、前述の「画面を設定する」にしたがって調整してください。
- DVD再生ウィンドウを縮小し、移動させると、ピンク色の帯状の線が見える場合があります。このような場合は、前述の「画面を設定する」をご覧ください、ウィンドウの調整を再生したい位置で調整してください。
- DVDプレーヤでは、音楽CD、ビデオCD、フォトCDをご利用できません。これらのCDをご利用になる場合は、98プレーヤをご利用ください。
98プレーヤについて、詳しくは後述の「オーディオCD / ビデオCD / フォトCDを再生する」をご覧ください。

オーディオCD/ビデオCD/ フォトCDを再生する～98プレーヤ

オーディオCD、ビデオCD(カラオケCD)やフォトCDに対応した再生用のアプリケーションが起動します。



- ・ 98プレーヤ終了後、再度起動させるときは、CDを入れ直すが[居間]グループにある[98プレーヤ]をクリックします。
- ・ 98プレーヤのメディアコントローラ操作については、「付録」の『メディアコントローラ操作早見表』をご覧ください。

■CDの規格

98プレーヤが対応しているCDの規格は次のとおりです。規格外のCDは再生できない場合があります。

- ・ オーディオCD
- ・ ビデオCD(Ver1.1) / カラオケCD(Ver1.1)
- ・ ビデオCD(Ver2.0)
- ・ フォトCD
- ・ フォトCDポートフォリオ



98プレーヤではDVD-VIDEOディスク、およびDVD Videoメディアを再生することはできません。

CDを再生する

CDをCD-ROMドライブにセットすると、自動的に98プレーヤが起動し、CDの種類に応じて、次のような画面が表示されます。自動的に起動しない場合は[居間]グループの[98プレーヤ]をクリックするか、または[スタート]メニューの[プログラム]-[居間]をポイントして[98プレーヤ]をクリックしてください。

■ オーディオCDの場合

総トラック数と総演奏時間が表示されています。
ボタンの操作方法については、後述する「オーディオCDを聴く」をご覧ください。



■ ビデオCD(カラオケCD)の場合

総トラック数が表示されます。
ボタンの操作方法については、後述の「ビデオCD(カラオケCD)を見る」をご覧ください。



プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの場合は、プレイバックコントロールウィンドウも表示されます。詳しくは、「ビデオCD(カラオケCD)を見る」をご覧ください。

■ フォトCDの場合

1枚目の写真が表示されます。
ボタンの操作方法については、「フォトCDを見る」をご覧ください。



オーディオCDを聴く

オーディオCD再生時のボタン操作について説明します。

[Option] をクリックすると、98プレーヤの下に、拡張ボタンが表示されます。



■ 基本的な使い方

- ・ 再生 / 一時停止
 - [▶] ボタン ・ クリックすると、再生が始まります([||] に変わる)
 - [||] ボタン ・ クリックすると、一時停止します([▶] に変わる)
 - 再度 [▶] をクリックすると、一時停止した場所から再生します。
- ・ 停止
 - [■] ボタン ・ クリックすると再生を停止、または一時停止状態を解除します。



[■] ボタンで停止させた後 [▶] をクリックすると先頭の曲に戻って再生を始めます。

- ・ 巻き戻し / 早送り
 - [◀◀] ボタン ・ 再生中、または一時停止中にクリックし続けると巻き戻し、ボタンを離すと再生します。
 - [▶▶] ボタン ・ 再生中、または一時停止中にクリックし続けると早送り、ボタンを離すと再生します。



画面の時間表示が変化します。ボタンを離すとそのとき表示されている時間から再生を開始します。

- ・ 曲の頭出し
[◀] ボタン
 - ・ 再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の曲の先頭に戻って再生します。
 - ・ 再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ずつ再生する曲番号が戻ります。
 - ・ 停止中に連続してクリックすると、クリックした数だけ戻って再生します。
 - ・ 再生中、または一時停止中にクリックすると、再生中の次の曲から再生します。
[▶] ボタン
 - ・ 再生中、または一時停止中に連続してクリックすると、一曲ずつ曲番号が先に進んで再生します。
 - ・ CD-ROMトレイのイジェクト
[▲] ボタン
 - ・ 停止中にクリックするとトレイがイジェクトされます。
-  トレイをイジェクトする場合、あらかじめ本機前面にあるフロントカバーを開けておいてください。
- ・ 98プレーヤの終了
 をクリックすると、98プレーヤを終了します。

■[Option] ボタンの使い方

- ・ リピート[↺] ボタン
クリックするたびに、リピート再生モードが1曲のみ、全曲へと切り替わり、インジケータが表示されます。
- ・ 演奏時間表示切り替え[⌚] ボタン
クリックするたびに、表示ディスプレイ部分の時間表示が、現在のトラック内の演奏経過時間か残り演奏時間に切り替わります。
- ・ [Program] ボタン
再生順序を指定できます。詳しくは「オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する」をご覧ください。
- ・ ミュート[⏏] ボタン
左右の音声出力を同時にOFFします。音声出力が左右ともOFFの場合に、このボタンをクリックすると、左右同時にONになります。
ただし、CDの再生中は使用できません。
- ・ 音声チャンネル[⏏] [⏏] ボタン
[⏏] ボタンは、左チャンネル、[⏏] ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFFを切り替えます。
- ・ [状態設定] ボタン
[自動再生] チェックボックスを選択すると、98プレーヤの起動時に自動的に再生が始まります。



[元の画像サイズで表示] ボタンと[カラオケ一覧表示] ボタンは利用できません。

ビデオCD(カラオケCD)を見る.....

ビデオCD再生時のボタン操作について説明します。

[Option] をクリックすると、98プレーヤの下に、拡張ボタンが表示されます。



■ 基本的な使い方

基本的な操作は、オーディオCDとほとんど同じです。

前述の「オーディオCDを聴く」の「■ 基本的な使い方」をご覧ください。



- ・ ビデオCDの再生中にウィンドウサイズをひんばんに変更すると、ビデオの表示が乱れることがあります。このようなときは、98プレーヤをいったん終了させて再起動すると、表示が正常に戻ります。
- ・ プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDの再生時には、頭出し機能は利用できません。

■ [Option] ボタンの使い方

- ・ リピート[♻] ボタン
クリックするたびに、リピート再生モードが1プログラムのみ、全プログラムへと切り替わり、インジケータが表示されます。
- ・ [Program] ボタン
再生順序を指定できます。詳しくは「オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する」をご覧ください。
- ・ ミューテ[🔊] ボタン
左右の音声出力を同時にOFFします。音声出力が左右ともOFFの場合に、このボタンをクリックすると、左右同時にONになります。

- ・ 音声チャンネル[]ボタン
[]ボタンは、左チャンネル、[]ボタンは右チャンネルの音声出力のON/OFFを切り替えます。



カラオケCDでは、カラオケ演奏とボーカル音声は、左右どちらかのチャンネルに分かれて録音されています。ボーカル音声を消すときは、左右どちらか、ボーカル音声 が録音されているチャンネルの音声を消す必要があります。左右どちらかの音声を消すときは、[] または [] をクリックします。また、[] をクリックすると、両方の音声を消すことができます。

- ・ [元の画像サイズで表示]ボタン
ビデオCDの再生時に、ウィンドウのサイズを起動時のサイズに戻します。
- ・ [カラオケー覧表示]ボタン
カラオケCDの曲目が一覧表示されます。再生した曲目をクリックし、さらに[演奏] ボタンをクリックすると、すぐに再生が始まります。
- ・ [状態設定]ボタン
[自動再生]チェックボックスを選択すると、98プレーヤの起動時に自動的に再生が始まります。
[画像再生時にスクリーンセーバを起動しない] チェックボックスを選択すると、ビデオCDの再生時にスクリーンセーバを起動させないようにします。



- ・ [演奏時間表示切り替え]ボタンは、利用できません。
- ・ プレイバックコントロール機能を用いて独自のメニュー表示を行っているカラオケCDでは、[カラオケー覧表示]ボタン、[リピート]ボタン、および [Program]ボタンは利用できません。



■ プレイバックコントロールの使い方

プレイバックコントロール機能付きのビデオCDの再生時には、98プレーヤとともにプレイバックコントロールウィンドウが表示されます。



- ・  ボタン
画面を表示します。
- ・  ボタン
前画面に戻ります。
- ・  ボタン
次画面に進みます。
- ・  ボタン
メニュー画面に戻ります。
- ・  ボタン
数値を選択するときに使います。
 の数字ボタンで番号を決定して  ボタンをクリックすると、画面を表示します。
- ・  ボタン
プレイバックコントロールウィンドウをアイコン化します。
- ・ 
番号表示部分をクリックすると、数字ボタンで選択された番号をキャンセルします。



各ボタンの機能は、CD-ROMにより多少異なっていますので、CD-ROM添付の説明書をご覧ください。

オーディオCD/ビデオCDの再生順序を指定する...

- 1** 98プレーヤの[Option]ボタンをクリックします。
98プレーヤの下に拡張ボタンが表示されます。
- 2** [Program]ボタンをクリックします。
[プログラム予約]ダイアログボックスが表示されます。



- ・プログラムの再生中と一時停止中は、[Program]ボタンは使用できません。
- ・プレイバックコントロール機能に対応したビデオCDでは利用できません。

- 3** [トラック]の一覧に表示されているプログラムのどれかをクリックし、[追加]ボタンをクリックします。
[予約された曲]へ、選択したプログラムが登録されます。



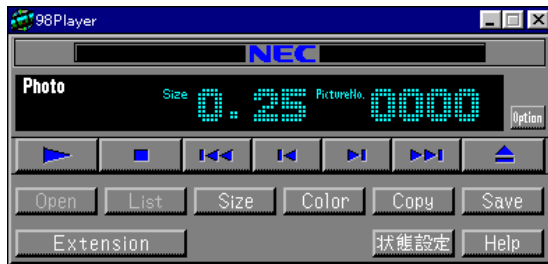
予約済みのプログラムを解除するときは、[予約された曲]の一覧から解除したい曲を選択し、[削除]ボタンをクリックします。また、すべての予約を解除するときは、[全削除]ボタンをクリックします。

- 4** [OK]ボタンをクリックします。
予約内容を設定しない場合は[Cancel]ボタンをクリックします。
- 5** 98プレーヤの[▶]ボタンをクリックします。
登録した順序で再生を始めます。

フォトCDを見る

フォトCD再生時のボタン操作について説明します。

[Option] をクリックすると、98プレーヤの下に拡張ボタンが表示されます。



■ 基本的な使い方

- ・ 自動表示 / 停止
 - [▶] ボタン クリックすると、自動表示を行います。
 - [■] ボタン クリックすると、自動表示を停止します。
- ・ 表示
 - [◀◀] ボタン クリックすると、巻き戻します(ポートフォリオの再生時のみ)
 - [▶▶] ボタン クリックすると、早送りします(ポートフォリオの再生時のみ)
 - [◀] ボタン クリックすると、1つ前の写真に戻ります。
 - [▶] ボタン クリックすると、次の写真を表示します。
- ・ CD-ROMトレイのイジェクト
 - [▲] ボタン 停止中にクリックすると、トレイがイジェクトされます。



トレイをイジェクトする場合、あらかじめ本機前面にあるフロントカバーを開けておいてください。

- ・ 98プレーヤの終了
 - [×] をクリックすると、98プレーヤを終了します。

■ [Option] ボタンの使い方

- ・ [Open] ボタン
フォトCDに記録されている写真のファイル名一覧を表示します。表示したいフォトCDのファイル名を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- ・ [List] ボタン
フォトCDに記録されている写真を縮小一覧表示します。写真をクリックすると、拡大表示します。

- [Size]ボタン
クリックすると[PhotoCD画面サイズの設定]ダイアログボックスが表示されます。画面サイズを指定できます。
- [Color]ボタン
クリックすると[表示色数の設定]ダイアログボックスが表示されます。表示色数を指定できます。
- [Copy]ボタン
クリックすると、表示されている写真をクリップボードビューアへコピーします。



[Copy]ボタンをクリックするたびに、新しい写真データがクリップボードに上書きされ、前にコピーしたデータは消えてしまいます。コピーしたデータは次のコピーを行う前に必ず保存してください。

- [Save]ボタン
クリックすると[ファイル名を指定する]ダイアログボックスが表示されます。ファイル名を指定して、写真をビットマップ形式のファイル(.BMP)として保存できます。
- [Extension]ボタン
JPEGに関する各種設定を行います。詳しくは[Help]ボタンをクリックして、オンラインヘルプをご覧ください。



フォトCDポートフォリオを再生している場合、[Open]ボタン、[List]ボタンの機能は利用できません。

フォトCDポートフォリオのCDで、[Open]ボタン、[List]ボタンの機能を利用するときは[Extension]ボタンを選び、ダイアログボックス中の[PhotoCDポートフォリオのときはポートフォリオモードで再生]チェックボックスをOFFにして、通常の98プレーヤとして利用してください。

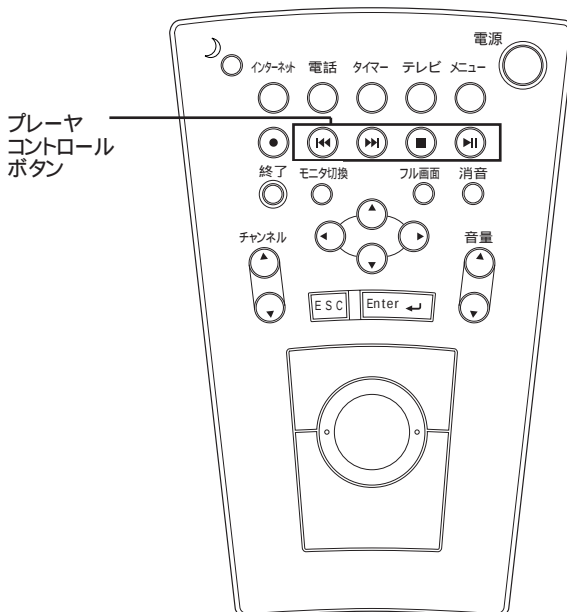
電源をONにした後、すぐに CDプレーヤを使いたいときは

本機のCDプレーヤ機能だけを使用するときには、メディアコントローラを操作するだけですぐにCDプレーヤを使うことができます。

以下の方法で本機を起動したときには、CEREBメニューやWindowsは使用できません。CEREBメニューやWindowsを使用するときは、本書Part 2「98ランチバー/CEREBメニュー/サイバーホーム3D」または本書Part 11「Windowsを使う」をご覧ください。

■CDを聴く(98 インスタントCD プレーヤ)

- 1** メディアコントローラの[▶▶][■][◀◀][▶▶]のいずれかのボタンを押します。
- 2** 本体の電源がONになり、98 インスタントCD プレーヤの画面が表示されます。
- 3** CD-ROMドライブにCDを入れます。
- 4** メディアコントローラの[▶▶] ボタンを押します。
CDが再生され、演奏が始まります。

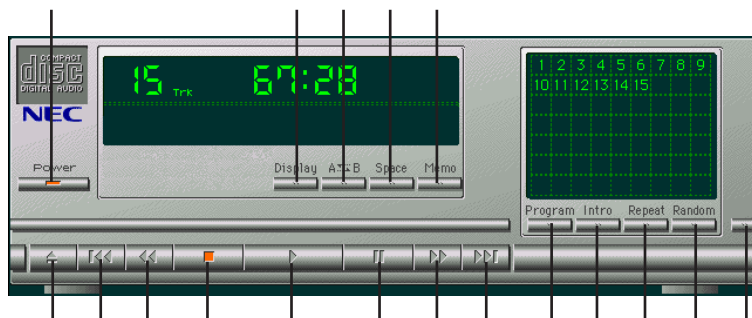


■98 インスタントCD プレーヤを終了する

メディアコントローラの[電源] ボタンを押します。

98 インスタントCD プレーヤの画面が消え、本体の電源がOFFになります。

■ 98 インスタントCD プレーヤーのいろいろな機能



[▶] ボタン

CDを再生します。

[||] ボタン

一時停止します。もう一度押すと再生します。

[■] ボタン

演奏を停止します。

[▶▶] ボタン

次の曲の先頭から再生します。

[◀◀] ボタン

再生中の曲の先頭から再生します。

曲の先頭で押した場合は、前の曲の先頭から再生します。

[▶▶▶] ボタン

再生中の曲を早送りします。

[◀◀◀] ボタン

再生中の曲を巻き戻します。

[▲] ボタン

CD-ROMドライブの扉が開き、CDが出てきます。



CD-ROMドライブの扉を開ける前に、本機前面にあるフロントカバーを開けておいてください。

[Power] ボタン

98 インスタントCD プレーヤーを終了します。

[Display] ボタン

ディスプレイ部に表示されている内容を切り替えます。

[A-B] ボタン

繰り返し再生したい部分を設定できます。

[Space] ボタン

オートスペースモードに切り替わります。オートスペースモードのときには、曲間に約3秒の無音部分をつくって再生します。もう一度押す

と、オートスペースモードが解除されます。

[Memo] ボタン (タイトルメモリボタン)

クリックするとタイトルメモリ画面に切り替わり、ここでディスクタイトル名、曲名をクリックするとCDのタイトル名や曲名をデータに入力できます。

入力できる文字はアルファベット、カタカナ、数字のみです。入力できる文字数は50文字まで、表示できる文字数は36文字までです。タイトルメモリ画面には各種のボタンが表示されており、タイトル名や曲名の一覧を表示させることなどもできます。詳しくは、「■ タイトルメモリの入力および編集」をご覧ください。

[Program] ボタン

任意の曲順でCDを再生できます。

[Intro] ボタン

イントロモードに切り替わります。イントロモードのときには、曲の先頭部分を約10秒ずつ再生します。もう一度押すと、イントロモードが解除されます。

[Repeat] ボタン

リピートモードに切り替わります。リピートモードのときには、最後の曲のあと、自動的に最初の曲に戻って再生します。もう一度押すと、リピートモードが解除されます。

[Random] ボタン

ランダムプレイモードに切り替わります。ランダムプレイモードのときには無作為な曲順で再生します。もう一度押すと、ランダムプレイモードが解除されます。

次曲番表示ボタン

曲数が64曲以上あるCDの場合、64番目以降99番までの曲番を表示します。



■ タイトルメモリの入力および編集

- ・タイトルメモリとディスクタイトル、および曲名を入力すると、98インスタントプレーヤの画面でディスクタイトルや再生中の曲名を表示します。
- ・[Memo]ボタン(タイトルメモリボタン)をクリックすると、タイトルメモリ画面(タイトルメモリウィンドウ)に切り替わります。ここで、ディスクタイトル名、曲名をクリックすると入力状態になります。キーボードからCDのタイトル名や曲名を入力してください。

ウィンドウには以下のボタンがあります。

- NEW 入力を最初からやり直します。
- TITLE タイトル名一覧になります。
- MEMO 曲名一覧になります(タイトルメモリボタンによりメモウィンドウがオープンすると必ずこの状態になります)。
- DELETE ... タイトル名が選択されている場合は、そのタイトルデータを削除します。
- QUIT タイトルメモリ編集を中断します。
- EXIT タイトルメモリ編集を終了します。

カーナビゲーション用CDを再生する ～ 98MapPlayer



98MapPlayerでは、ナビゲーションシステム研究会統一フォーマットに準拠したカーナビゲーション用地図CD-ROMを利用できます。



・ 本文では、説明用として以下の地図CD-ROMを使用しています。

「ゼンリンナビソフト 首都圏 ROAD&TOWN NAVI Ⅰ」

©ZENRIN 1996

・ 本機には地図CD-ROMは添付されておりません。別途ご購入ください。

98MapPlayerを起動する

■ 98MapPlayer 使用上のご注意

98MapPlayerを利用する際には、以下の点にご注意ください。

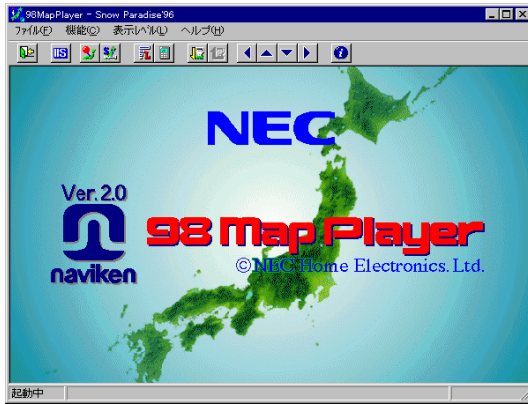
- ・ 地図CD-ROMは、ナビゲーションシステム研究会Ver2.01、2.1に準拠した日本国内用のCD-ROMを使用してください。ナビ研S規格には対応しておりません。
- ・ ナビゲーションシステム研究会Ver2.1に含まれている「経路検索情報」を利用した経路検索は行えません。

■ カーナビゲーション用地図CD-ROMを見る

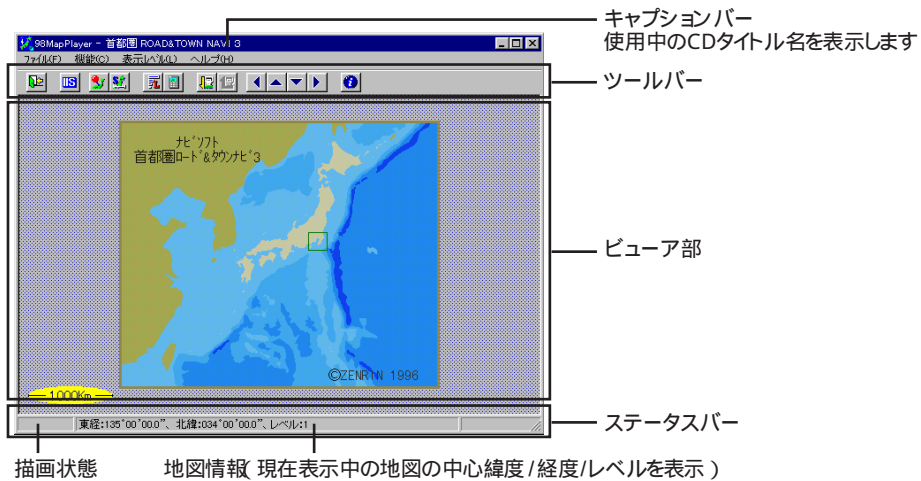
地図CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

自動的に98MapPlayerが起動し、起動画面が表示されます。自動的に起動しない場合は、[居間]グループにある 98MapPlayer をクリックしてください。

または、[スタート]メニューの[プログラム]-[居間]にある 98MapPlayer をクリックしてください。

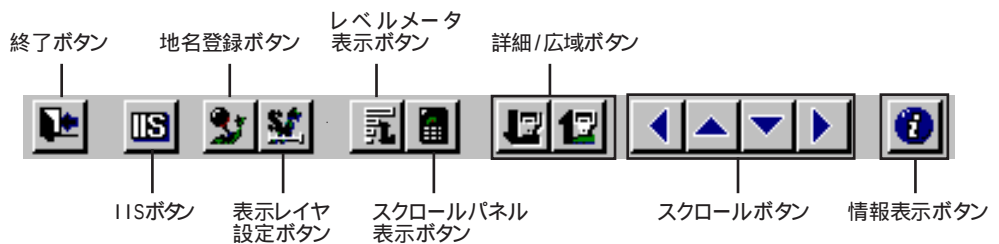


CD-ROMから必要なデータを読み込むと、地図画面が表示されます。



● ツールバー

ツールバーには、次のようなボタンがあります。



- 地図の表示範囲を変更する(スクロールパネル表示、スクロールボタン)

[スクロールパネル表示]ボタンをクリックすると、[スクロール]パネルが表示されます。矢印ボタンをクリックすると、地図を任意の方向(上下左右、斜め)にスクロールできます。

ツールバーのスクロールボタンやキーボードの     キーからも、上下左右にスクロールできます。



- 表示レベル(縮尺)を変更する

[レベルメータ表示]ボタンをクリックすると、[レベルメータ]パネルが表示されます。任意のレベルボタンをクリックして表示レベルを変更できます。収録されていないレベルを指定したときは、自動的に一番近いレベルにあわせます。レベルは数字が大きいほど詳細な地図になります。

ツールバーの詳細/広域ボタンやキーボードの   キーからも表示レベルを変更できます。



- 任意の地点を中心に表示する

地図上の中心に表示したい地点をダブルクリックします。

地図上の表示情報(ランドマーク)を利用する.....

地図上には、いろいろな情報を示すランドマークがあります。



 **ピンマーク**
地名登録を行った位置を表示

 **自宅マーク**
自宅登録を行った位置を表示

 **IISマーク**。このマークをクリックすることでIIS(Integrated Information Services)やサービステキストを表示します(中のマークは情報によって異なります)。

 **チェックマーク**。地図上でクリックすると、そこに表示されます。

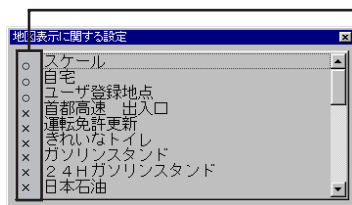
 **TV中継塔**:TV中継塔を表します。詳しくはPart 3「テレビを見る」の「チャンネルを設定する」をご覧ください。



IISマークの種類やその他のマークはご利用になる地図CD-ROMの説明書をご覧ください。

■ランドマークの表示/非表示を設定する

ツールバーの「表示レイヤ設定」ボタンをクリックします。
ダブルクリックで表示・非表示が切り替わります。



○:表示
×:非表示

表示される内容は地図CD-ROMにより異なります。



ランドマークが表示できる表示レベルは、自宅は全レベル、ユーザ登録点は登録時に表示可能と示されたレベル、TV中継塔はレベル5以上、その他は使用する地図によって異なります。

スケールに表示されている距離は参考用です。多少の誤差が生じる場合があります。

■ ユーザ用ランドマークを設定する

自宅や任意の地点を地図上に登録できます。

● 自宅/地名を登録する

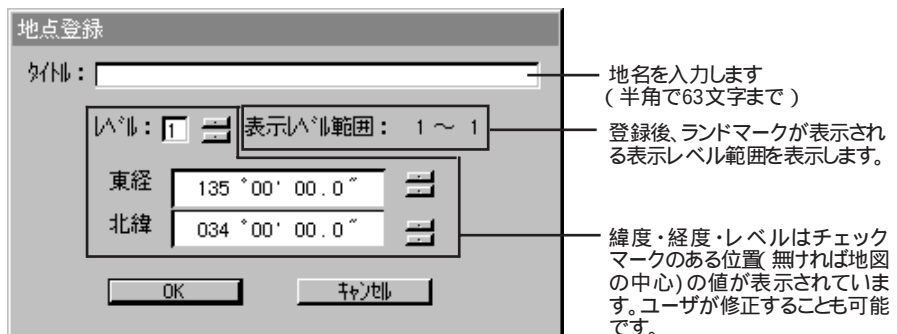
1 ビューア部の登録したい場所をクリックします。



2 ツールバーの「地名登録」ボタンをクリックすると「地名の登録と選択」の画面が表示されます。「自宅設定」が「ユーザー登録地点」のタブをクリックします。



3 「新規登録」ボタンをクリックします。「地点登録」の画面が表示されます。



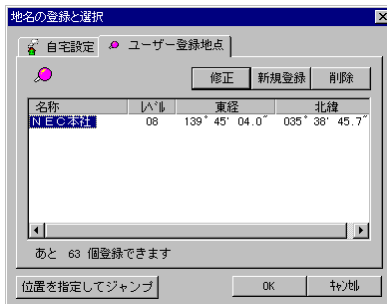
「OK」ボタンをクリックして、登録します。「キャンセル」ボタンを選択すると、ここで行った操作はすべて無効になります。



- ・ユーザ登録地点は、最大64カ所までです。
- ・レベル0で登録を作った場合は、全レベルで表示可能になります。自宅は自動的にレベル0で登録されます。

● 自宅や登録した地名を変更/削除する

1 [地名の登録と選択]の画面を表示して、地名を選択します。



2 [修正]か[削除]を選択します。修正はすべての項目を変更できます。

■ 登録した地名から地図を表示する

登録した地名から、その地点のある地図を表示できます。また、緯度経度を指定して任意の地点を表示することもできます。

● 登録した地名から表示する

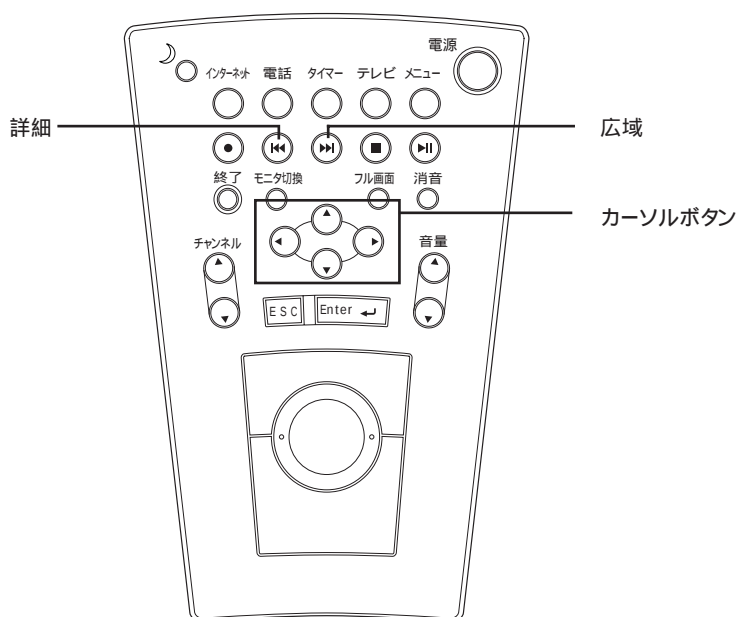
[地名の登録と選択]の画面を表示して、地名を選択します。名称をダブルクリックするか、[OK]ボタンをクリックすると登録した地名の地図が表示されます。

● 緯度経度を直接入力して表示する

[地名の登録と選択]の画面で[位置を指定してジャンプ]をクリックします。東経、北緯、レベルを入力してください。初期値はリスト内データのどれかを選択していた場合は、そのデータの情報が、選択されていない場合は現在表示中の情報が使われます。



■メディアコントローラ/ボイスリモコンで操作する



詳細

地図を一段階詳細なものに変更します。ボイスリモコン使用時は「しょうさい」で操作できます。

広域

地図を一段階広域なものに変更します。ボイスリモコン使用時は「こういき」で操作できます。

カーソルボタン

押した方向(4方向)に地図がスクロールします。ボイスリモコン使用時は、「うえ」「した」「ひだり」「みぎ」で操作できます。



ボイスリモコンについて、詳しくはPart 9の「ボイスリモコンを使う」をご覧ください。



■ ボイスリモコンで登録地名を選択する

- 1 ボイスリモコンで「ちめいせんたく」と発声します。
地名選択ウインドウが表示されます。



- 2 ボイスリモコンの「うえ」したで登録地名を選択します。
- 3 ボイスリモコンの「けってい」で決定します。
指定した地名の周辺地図が表示されます。



ボイスリモコンについて、詳しくはPart 9の「ボイスリモコンを使う」をご覧ください。

IIS(Integrated Information Services) を利用する.....

■ IISを最初から見る

ツールバーの「IIS」ボタンをクリックします。IISの画面が表示され、IISの再生を始めます。IISの操作方法是、ご利用になる地図CD-ROMによって異なります。



カーナビゲーション装置の決定キーまたはエンターキーは、98MapPlayerではマウスのクリックになります。

■ 地図から表示させる

ビューア部のIISマークでマウスカーソルが **IIS** になる所をクリックします。



IISの画面が表示され、クリックした地点に関する画面が表示されます。

例 コンビニエンスストア



■ IISを使用した検索

98MapPlayerでは、ご利用の地図CD-ROMに検索用データが入っている場合に限り、IISを使用して地名検索などを行うことができます。

検索結果はカーナビゲーション装置とは異なる場合もあります。

例 IISを使用した検索画面



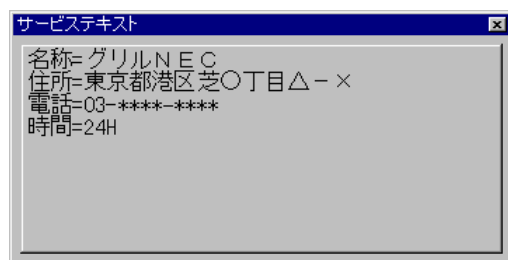
■ IIS使用上の注意

IISは本来カーナビゲーションシステムで再生することを前提に設計されているため、次の点にご注意ください。

- ・ IISにおける画面上のボタンなどの操作方法や動作は、Windows 95と異なる場合があります。
- ・ カーナビゲーションシステムでのみ使用を許されているデータなど、98MapPlayerでは一部扱えないデータがあります(本例で使用している「首都圏ROAD&TOWN NAVI」では、電話番号データが該当します)。
- ・ IISはCD音声を使用してタイミングをとるため、他にCD音声を使用するアプリケーションと同時に起動できません。

■ サービステキストを表示する

ビューア部のIISマークでマウスカーソルが **TEXT** になる所をクリックします。下のように簡単なお店の説明などが表示されます。



サービステキストは地図CD-ROMによって収録されていない場合があります。詳しくはご利用の地図CD-ROMの説明書をご覧ください。

お願い

カーナビゲーションCD-ROMは、ご使用のCD-ROMの使用許諾条件に従って使用してください。

画像や音声を編集する ～ 98FiLM工房

98FiLM工房を使うと、動画や静止画、音声などのデータを読み込んで、自在に編集することができます。



本ソフトウェアで98FiLM工房のことをFiLM工房と表現している個所があります。

■ 98FiLM工房を使う前に

98FiLM工房の操作について、詳しくは、98FiLM工房のオンラインヘルプをご覧ください。

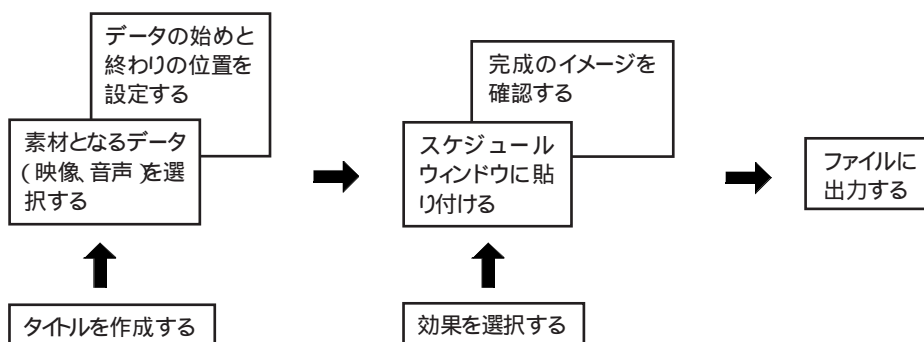


添付の「チュートリアルCD-ROM」には98FiLM工房の使い方を詳しく説明したFiLM工房レッスンビデオが入っています。

FiLM工房レッスンビデオは、チュートリアルCD-ROMを挿入し、[書庫]グループの「チュート」フォルダにある「FiLM工房レッスンビデオ」をクリックして起動します。

■ 98FiLM工房の基本的な操作

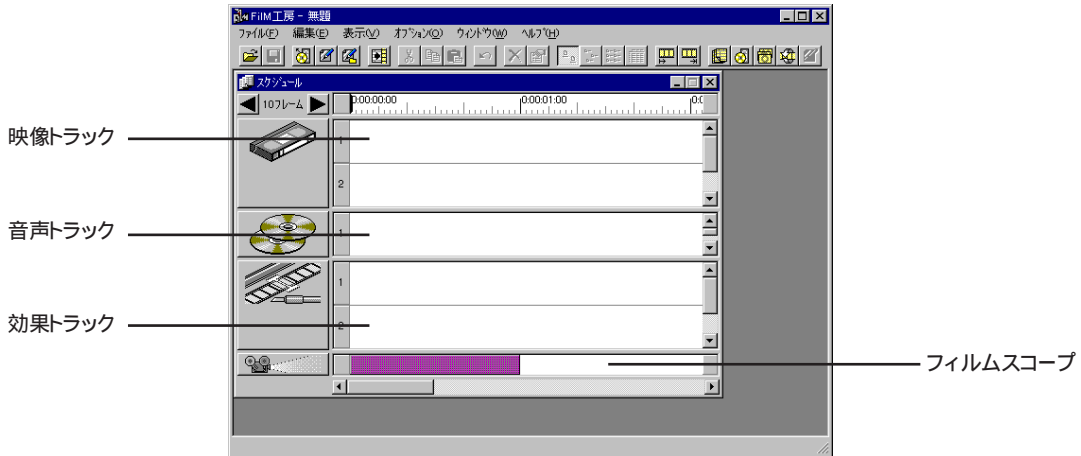
98FiLM工房の基本的な操作は次のようになります。



本機に内蔵されている98FiLM工房の他に、さらに多くの機能を使用できる別売のFiLM工房ver2.0 (NP-0002-C01) があります。

■ 98FiLM工房を起動する

- [書斎]グループの[98FiLM工房]をクリックします。
[FiLM工房]ウィンドウと[スケジュール]ウィンドウが表示されます。



■ 使用する素材を読み込む

- 1 [FiLM工房]ウィンドウの[ファイル]メニューから[素材の追加]をクリックします。
[素材選択]ウィンドウと[素材の追加]ダイアログが表示されます。



- 2 使用する素材のファイル名を選び、[開く]ボタンをクリックします。
選んだ素材が[素材選択]ウィンドウに読み込まれます。

 98FiLM工房で使えるデータは、動画(*.AVI)静止画(*.BMP)音声(*.WAV)タイトル(*.F2T)の4種類で、それぞれのデータを素材と呼びます。

■ 選んだ素材に効果をかける

- 1 使用する素材を読み込んだら、[素材選択] ウィンドウの、使用する素材のアイコンをクリックします。

素材に対応した情報が表示されます。



- 2 映像表示エリア内で映像をドラッグし、[スケジュール] ウィンドウの映像または音声トラックでボタンを離します。

[スケジュール] ウィンドウに素材が貼り付けられます。



映像トラックには優先順位があります。同じ時間に素材を貼り付けると、上に貼った素材が優先され表示されます。

- 3 [FILM工房] ウィンドウの[ウィンドウ]メニューから[効果選択] をクリックします。
[効果選択] ウィンドウが表示されます。



- 4 種類の中から使用する効果のグループのアイコンをクリックします。
効果一覧にグループ内の効果のアイコンが一覧表示されます。

- 5 効果一覧の中から使用する効果をクリックします。
効果に対応した情報が表示されます。

- 6** 効果イメージ表示エリア内でイメージをドラッグし[スケジュール]ウィンドウの効果トラックでボタンを離します。
[スケジュール]ウィンドウに効果が貼り付けられます。



効果は限定値として映像トラック1と2の映像に対してかかるようになっています。後で効果がかかるトラックを変更することもできます。変更のしかたについては、FILM工房のオンラインヘルプをご覧ください。

■[スケジュール]ウィンドウでの範囲調整

- バーを移動させるとき

- 1** バーをクリックします。
バーの縁の色が変わります。
- 2** マウスポインタをバーの上に移動させドラッグします。
ボタンを離したところへバーが移動します。

- バーの長さを変更するとき

- 1** バーをクリックします。
バーの縁の色が変わります。
- 2** マウスポインタをバーの端にあわせ、ドラッグして長さを左右に調整します。
ボタンを離したところまで、バーの長さが変わります。

■完成イメージを確認する

- 1** [スケジュール]ウィンドウのフィルムスコープのバーを移動したり、長さを変更したりして、再生したい範囲に調整します。
- 2** [FILM工房]ウィンドウの[ウィンドウ]メニューから[プレビュー]をクリックします。
[プレビュー]ウィンドウが表示されます。



- 3** [再生]ボタンをクリックします。
[スケジュール]ウィンドウで設定してあるフィルムスコープのバーの範囲の内容が再生されます。



[プレビュー]ウィンドウで音声を再生させたい場合は[プレビュー]ウィンドウを表示させた状態で[FILM工房]ウィンドウの[オプション]メニューから、[プレビューウィンドウ]-[一括モード]をクリックします。

■ 完成したスケジュールの内容をファイルに出力する

- 1** [スケジュール]ウィンドウのフィルムスコープのバーを、出力したい範囲に調整します。
- 2** [FILM工房]ウィンドウの[ファイル]メニューから[ファイルの出力]をクリックします。
[ファイルの出力]ダイアログが表示されます。



出力するファイルの場所とファイル名を入力する

- 3** 出力するファイルの種類と出力先を設定し、[出力]ボタンをクリックします。
[スケジュール]ウィンドウのフィルムスコープのバーで設定した範囲の内容がファイルに出力されます。



- 出力先で[ファイルに出力]を選択した場合は、場所とファイル名を指定します。
- 映像プロパティと音声プロパティの内容を変更するときは、[プロパティ]ボタンをクリックします。プロパティの設定項目について、詳しくはFILM工房のオンラインヘルプおよびチュートリアルCD-ROMにあるFILM工房レッスンビデオをご覧ください。

■ スケジュールを保存する

- 1** [F i l m 工 房] ウィンドウの[ファイル]メニューから[名前を付けてスケジュールの保存]をクリックします。
[名前を付けてスケジュールの保存]ダイアログが表示されます。
- 2** ファイル名を入力して[保存]ボタンをクリックし、スケジュールを保存します。

アルバムを作る ～アルバム工房Light

「アルバム工房Light」を使えばデジタル写真を簡単に電子アルバムにすることができます。

また、「98TV」と「アルバム工房Light」を使って、98TVで見たお気に入りの場면을静止画で撮り、その静止画をアルバムに貼り付けることもできます。

■写真をアルバムにとじる

- 1 [居間]グループの「アルバム工房Light」をクリックします。
アルバム工房Lightの画面が表示されます。



- 2 [アルバムを作ろう]をクリックして、新しいアルバムを作ってデジタル写真や画像を取り込んで電子アルバムを作ってください。写真や画像はデジタルカメラ、フォトCDなどから取り込むことができます。
- 3 できあがったアルバムは「アルバムを見よう」で見ることができます。また、BGMを付けてスライドショーとして見ることもできます。





アルバム工房Lightの詳しい使い方については[書庫]グループの[ヘルプ]フォルダにある「アルバム工房オンラインマニュアル」およびチュートリアルCD-ROMの「アルバム工房入門ガイド」をご覧ください。

「アルバム工房Light」をパワーアップする下記製品を発売中です。

- ・アルバム工房パワーアップキット1
- ・アルバム工房パワーアップキット2

「アルバム工房Light」にどのパワーアップキットをインストールしても、すでに発売済みの「アルバム工房Ver1.0 (フル機能版)」以上の機能にパワーアップすることができます。



本機に「アルバム工房Ver1.0 (フル機能版)」をインストールしないでください。インストールしてもパワーアップすることはできません。

■ 98TVを使ってアルバムを作る

98TVで見たお気に入りの場面を静止画で撮り、その静止画をアルバムに貼り付けることができます。



98TVの基本操作や静止画の取り込みについて、詳しくはPart3の「テレビを見る」をご覧ください。

- 1 98TVを起動してTV、または、ビデオを表示します。
- 2 [ビデオデッキ引き出し]ボタンをクリックしてビデオデッキを表示し、[静止画]ボタンをクリックします。



- 3 98TV画面上にお気に入りの場面が表示されたら、ビデオデッキ上の[○]ボタンをクリックします。これで静止画としてこの場面が撮れています。
[○]をクリックすることにより、次々と静止画が撮れます。
- 4 98TVのビデオデッキ上の[アルバム工房]ボタンをクリックします。
しばらくするとアルバム工房Lightが起動します。
- 5 [アルバムを作ろう]をクリックします。



- 6 アルバムをクリックして選択し、[写真をまとめて貼る]ボタンをクリックします。



98TVで撮った静止画を貼るアルバムをはじめて作る場合は、ここで「新規にアルバムを作る」をクリックしてアルバムを作ってください。

7 [98TV]ボタンをクリックします。



8 98TVで静止画として撮った場面が一覧表示されますので、貼りたい場面をクリック。複数個選択可。して [→] ボタンをクリックしてください。



- ・ この画面の左側には、静止画を撮った日付一覧が表示されていますので、アルバムに貼りたい静止画を撮った日付をクリックしてください。
- ・ 各静止画を1枚ずつ確認して貼りたい場合は、手順6で 写真を1枚ずつ貼る を選択して、1枚ずつ順番にアルバムに貼っていきましょう。

- 9** しばらくすると手順6の画面が表示されます。[戻る] ボタンをクリックすると、アルバム工房Lightの起動直後の画面になります。[アルバムを見よう]-[アルバムを見る]で確認してください。先ほど選択した写真がアルバムに貼られています。



はがきを作る

「アルバム工房Light」と「アドレス帳」を使って、はがきを作ることができます。まず、「アルバム工房Light」を使ってはがきの文面を作って印刷し、次に「アドレス帳」を使ってあて名の印刷を行います。アルバム工房Lightを使うと、写真や絵の入った楽しいはがきが簡単に作れます。



ここでは基本的な使い方を簡単に説明しています。「アルバム工房Light」の詳しい使い方については『書庫グループのヘルプフォルダにある「アルバム工房オンラインマニュアル」を、「アドレス帳」の詳しい使い方については『98TELFAXユーザーズガイド』をご覧ください。

■ はがきの文面を作って印刷する

- 1 [居間]グループの「アルバム工房Light」をクリックします。
アルバム工房Lightの画面が表示されます。



2 アルバム工房Lightの画面で「カードを作ろう」をクリックします。

3 はがきやカードの台紙一覧が表示されますので、はがき台紙をクリックで選んでをクリックします。カードの加工画面になります。この画面ではがきの文面を作成することができます。



カードの加工画面では、以下のことができます。これらの機能を使ってはがきの文面を作ります。

- ・ 文字を入れる
- ・ クリップアートを貼る
- ・ 写真を切って貼る



「文字を入れる」でフォントを縦書きフォント(フォント名の前に@のついているフォント)にすると、縦書きの文字が入れられます。

4 はがきの文面が作成できたら、プリンタのはがきの文面側をセットしてカード加工画面のをクリックして印刷を行います。



部数を指定すると複数枚を続けて印刷することができます。

5 印刷が終わったらをクリックします。カードホルダに保管する画面になりますので、カードホルダに貼ってカードホルダを閉じてください。

これで、はがきの文面の作成と印刷は終わりました。アルバム工房Lightを終了させてください。次にあて名の印刷を行います。

■ アドレス帳に個人情報を登録する

あて名を印刷するためには、あらかじめアドレス帳に個人情報を登録しておく必要があります。

個人情報を登録するには、次の手順を行います。

- 1 [居間]グループにある「アドレス帳」をクリックします。



- 2 [アドレス帳]の「編集」メニューにある「個人情報の追加」をクリックします。個人情報の追加のウィンドウが開きますので、ここで「拡張形式」をクリックします。

- 3 拡張形式での個人情報の追加画面になりますので、名前、ふりがな、郵便番号、都道府県、市区町村、住所を入力します。必要に応じて、会社名、部門、電話番号などを入力してください。



住所(1行目)住所(2行目)は、それぞれ22文字以内で入力してください。22文字を超えると、はがきのあて名が正しく印刷できない場合があります。

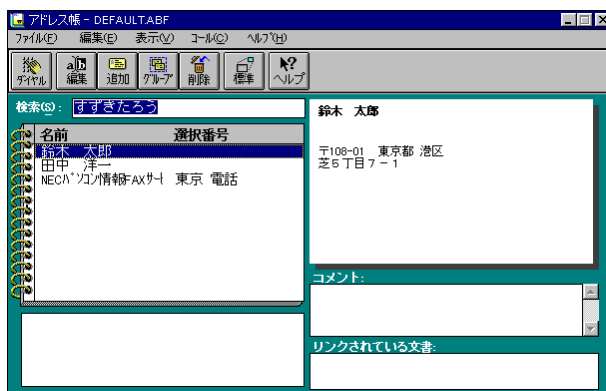
- 4** 各情報の入力が終わった後 OK ボタンをクリックします。
個人情報が登録されます。

以降、同じ手順で順次個人情報を登録してください。

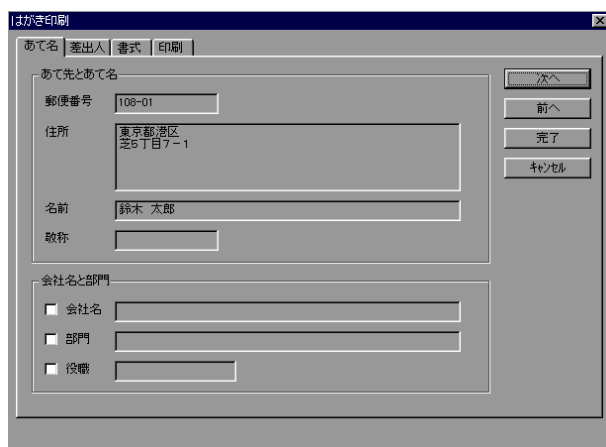
■宛名を印刷する

はがきのあて名を印刷します

- 1 プリントにはがきのあて名側をセットしておきます。
- 2 アドレス帳画面の「名前」で、あて名の印刷をする人をクリック(反転表示)します。



- 3 アドレス帳の「ファイル」メニューにある「はがき印刷」をクリックします。あて先とあて名の確認画面になります。内容を確認してください。



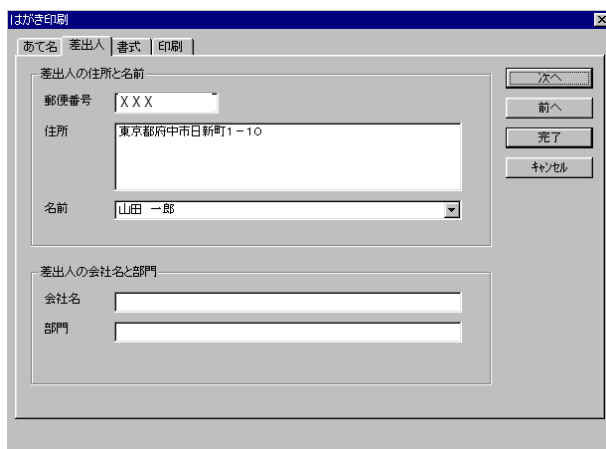
個人情報に会社名と部門、役職が登録されている場合は、会社名と部門、役職が表示されています。あて名にこれらを印刷する場合は、各チェックボックスをクリックして印を付けてください。

- 4** あて先とあて名を確認したら「次へ」ボタンをクリックしてください。差出人の住所と名前の画面になります。この画面で差出人の郵便番号、住所、名前を入力してください。必要に応じて、会社名、部門を入力してください。



差出人の情報は、一度入ると終了しても保存されます。次回、はがきの印刷を行うときには、差出人のところに保存された住所や名前があらかじめ入力されています。

- ・ [キャンセル] ボタンで終了した場合は、差出人の情報は保存されません。
- ・ 差出人の住所は日本語64文字以内、部門は日本語32文字以内で入力してください。それ以上の文字数になると正しくあて名印刷ができない場合があります。



- 5** 差出人の住所と名前を入力したら「次へ」ボタンをクリックしてください。書式の設定画面になりますので、文字フォントを選んで、各設定についてチェックボックスに印を付けるか消してください。すべての設定が終わりましたら「次へ」ボタンをクリックしてください。

- 6** 印刷の設定画面になります。はがきの種類を、官製はがき、年賀状、かもめーるの中から選んでください。



[プレビュー]ボタンをクリックすると、印刷結果のイメージを画面で確認することができます。この内容でOKであれば、[印刷]ボタンをクリックします。印刷がスタートします。



7 印刷が終了したら [終了] ボタンをクリックして、はがき印刷を終了させてください。



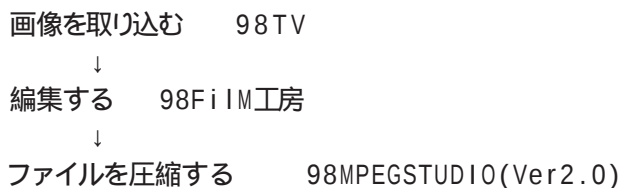
差出人が同じで複数の人のあて名を印刷する場合は、アドレス帳の名前一覧で複数の人を選択して([CTRL]または[SHIFT]キーを押しながらクリックして複数の名前を反転表示させます) [はがき印刷]を行ってください。複数の人を選択している場合は、印刷のプレビュー画面で [次ページ] [前ページ]を行って、各々のあて名を確認することができます。[印刷]をクリックすると連続して複数のあて名を印刷します。

- ・あて先とあて名の画面では複数選択をした最初のあて名だけが表示されます。
- ・文字数が多いため、あて名が正しく印刷されない場合には、書式の設定画面で [住所を空白で改行する]を選択し、住所の途中に空白を入れて改行位置を調整してください。住所は3行以内に収まるようにしてください。

ビデオを作る

98TV、98FiLM工房、98MPEGSTUDIOを組み合わせて使うことで、家族で撮影したビデオテープを、パソコンで編集することができます。

大まかな流れは、以下のとおりです。



- 1** ビデオ機器を接続します。
『ステップアップガイド』の「ビデオ機器を接続する」をご覧ください。
- 2** 98TVを起動し、入力をビデオに変更します。
本書Part3の「テレビを見る」をご覧ください。
- 3** 動画取り込みの設定をして、動画を取り込みます。
本書Part3の「テレビを見る」をご覧ください。
- 4** [FiLM工房] ボタンをクリックすると、取り込んだ動画が98FiLM工房に渡されます。
本書Part3の「テレビを見る」をご覧ください。
- 5** 98FiLM工房が立ち上がり、素材ウィンドウに今取り込んだ動画が表示されますので、これを素材として使用して、編集を行います。
本書Part7の「画像や音声を編集する」をご覧ください。
- 6** 編集した内容をフィルムに出力します。出力したファイル名を忘れないようにしてください。
本書Part7の「画像や音声を編集する」をご覧ください。
- 7** これで編集作業は終わりです。さらに小容量で高画質にしたいときは、98MPEGSTUDIOを使います。
- 8** 98MPEGSTUDIO(ファイルの圧縮)で、ファイルを圧縮し、保存します。
MPEGファイル圧縮アプリケーションを使用し、圧縮します。
圧縮方法については、98MPEGSTUDIOのヘルプをご覧ください。

イメージスキャナユーティリティを使う

イメージスキャナユーティリティは、NEC製イメージスキャナから画像を読み込むユーティリティです。読み込んだ画像をデータとして保存したり、編集したりできます。

イメージスキャナユーティリティを起動する.....

[イメージスキャナユーティリティ] を起動するには、[書庫] グループの [NEC ユースフルパック フォルダ] にある [イメージスキャナユーティリティ] をクリックします。または [スタート] メニューの [プログラム] - [書庫] をポイントし、[NEC ユースフルパック] の [イメージスキャナユーティリティ] をクリックします。



機器の設定をする.....

■ 設定の前に

設定の前に、イメージスキャナと本機およびインターフェイスボード、ケーブルなどが正常に接続されていることを確認してください。正常に接続されていない場合は、イメージスキャナ添付のマニュアルなどを参照して、正常に接続してください。



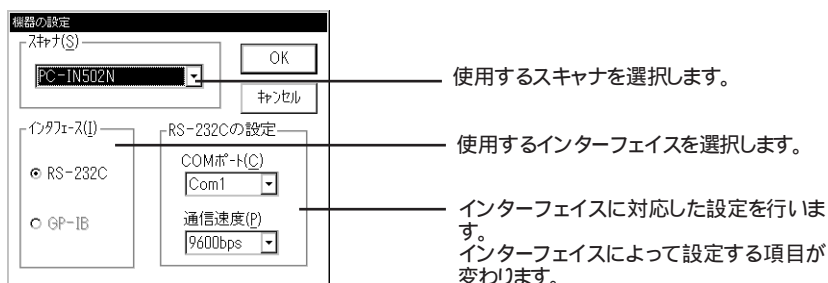
- ・ 本機では空き拡張スロットがないため、SCSI インターフェイスボードを接続できません。
そのため SCSI インターフェイスを使用するイメージスキャナ(PC - IN700 シリーズなど) を接続できません。
- ・ 日本語入力システムに MS - IME97 を使っている場合、RS - 232C 接続のスクナで読み取ることができません。日本語入力システムを MS - IME97 以外のものにしてから読み取りを行ってください。
なお、日本語入力システムを NECA IME95 に設定するには、『ステップアップガイド』をご覧ください。



■ 設定する

イメージスキャナユーティリティをお使いになる前に、お使いのイメージスキャナにあわせて設定を変更する必要があります。

- ・ 機器の設定は[スキャナ]メニューの[機器設定]で行います。



詳しくはイメージスキャナユーティリティのヘルプを参照してください。
イメージスキャナの設定は、次のようになります。

機 器	インターフェイス
PC-IN502、PC-IN503G、PC-IN505、PC-IN506、PC-IN500/4C、PC-IN500/6	RS-232C (イメージスキャナはモード2に設定してください。)



モード2の設定方法については、各イメージスキャナに添付されているマニュアルを参照してください。また、イメージスキャナによっては使用できないインターフェイスがあります。

設定の際には、イメージスキャナユーティリティのヘルプの記載事項の他に、次のことに注意してください。

■ シリアルインターフェイスで使うスキャナの場合の注意

・RS-232Cインターフェイスを使用する場合の注意

- ・ パソコン本体のシリアルコネクタにRS-232Cストレートケーブルでイメージスキャナを接続してください。
- ・ イメージスキャナユーティリティでは、9600bps、19200bps、ストップビット1ビットでイメージスキャナと通信します。
- ・ イメージスキャナ側の設定も、イメージスキャナのマニュアルを参照の上、この設定にあわせてください。
- ・ COMポートは通常「COM1」に設定されています。

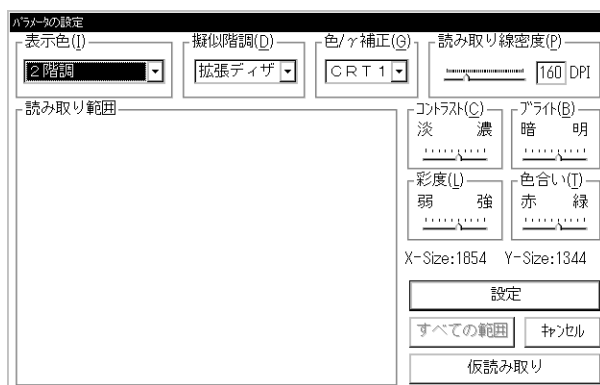


- ・イメージスキャナ側の通信速度の設定方法については、各イメージスキャナに添付されているマニュアルを参照してください。
- ・19200bpsで通信中にリードエラー(読み込み不可)が多発する場合は、通信速度を遅くしてください。
- ・本機では、GP-IBまたはSCSIインターフェイスを使用してスキャナを接続することはできません。

読み込む画像の設定を変更する

スキャナで読み込みの作業を行うとき読み込む前に、画像データをどう読み込むかを設定する必要があります。

[スキャナ]メニューの[パラメータ設定]を選択すると[パラメータの設定]ダイアログボックスが表示され、画像データの読み込み方法を設定できます。



詳細については、イメージスキャナユーティリティのヘルプを参照してください。



これらの項目はイメージスキャナによっては無効なものや、設定できない項目があります。詳細については、イメージスキャナのマニュアルをご覧ください。

画像を読み込んで編集する



イメージスキャナの読み取りの基本手順については、イメージスキャナのマニュアルを参照してください。ここでは、読み取る原稿(画像イメージ)がすでにイメージスキャナにセットされ、イメージスキャナの電源がONであることを前提にしています。

画像データは、基本的には次のような手順で読み込んで編集していきます。



■ 画像データの読み込み

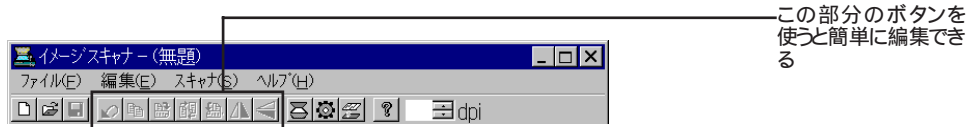
- 1** [スキャナ]メニューから[読み取り]を選択します。設定したイメージスキャナおよびインターフェイスを使用します。[パラメータの設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 画像データを読み込む場合は、[仮読み取り]ボタンをクリックしてください。全画面を一度読み込みます。仮読み込みを行うと、ボタンが[範囲指定の仮読み取り]ボタンに変わります。
- 3** 読み込む範囲を指定できるようになりますので、全範囲の中から必要な部分だけマウスで範囲を指定して、[範囲指定の仮読み取り]ボタンをクリックしてください。読み込み中に表示されるダイアログボックスで[中止]ボタンをクリックすると、仮読み込みを中止します。
- 4** 仮読み込み時の設定で読み込んだ画像データが十分でなかった場合、読み込み条件(表示色、疑似階調、読み取り線密度等)を再度設定し直し、[設定]ボタンをクリックしてください。
- 5** [スキャナ]メニューの[読み取り]を選択し、読み込みを開始します。読み込み中に表示されるダイアログボックスで、[中止]ボタンをクリックすると、読み込みを中止します。



読み込みを中止する場合、イメージスキャナ側のストップボタンでは中止することはできません。

■ 画像データを編集する

イメージスキャナユーティリティでは、ウインドウ内に表示されている画像データを回転させたり反転させたりすることができます。



画像データ回転前 右90度回転後 180度回転後 左90度回転後



画像データ反転前 左右反転後 上下反転後

また、行った編集を取り消したければ、[編集]メニューの[元に戻す]で実行直前の画像データを元に戻すこともできます。元に戻せるのは直前に行った作業だけです。

■ 読み込んだ画像データをほかのアプリケーションに貼り付ける

イメージスキャナユーティリティで読み込まれた画像データは、クリップボードにコピーして、ほかのアプリケーションに貼り付けることもできます。

- 1** 貼り付けたい範囲をマウスでドラッグして指定します。指定した範囲が四角形の枠で囲われます。
- 2** [編集]メニューの[コピー]を選びます。範囲指定を行っていない場合は画像全体が選択されます。
- 3** 他のアプリケーションの画像データを貼り付けたい場所を指定して、[編集]メニューの[貼り付け]を選択します。画像データが他のアプリケーションに貼り付けられます。

■ 読み込んだ画像データを保存する

イメージスキャナで読み込んだ画像データを新規に保存します。

- 1** [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]を選択します。[ファイル名を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 読み込んだデータを保存する[ドライブ]、[ディレクトリ]、[ファイル名]、[ファイルの種類]を設定します。

- 3** 画像ファイルの形式を(*.BMP、*.RLE、*.TIF、*.IMF)から選択してください。それぞれのデータ形式の違いと特長はイメージスキャナユーティリティのヘルプを参照してください。
- 4** [OK] ボタンをクリックしてください。

イメージスキャナユーティリティの注意事項....

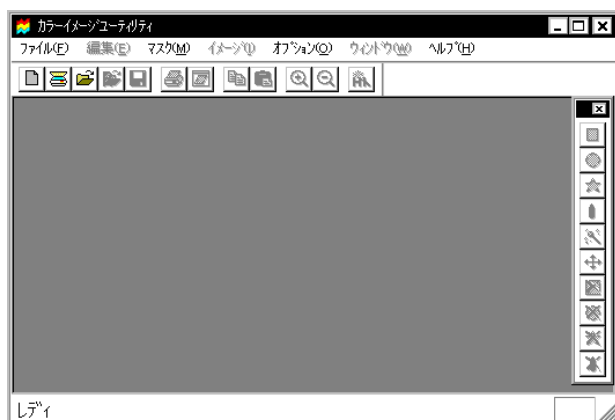
- ・ PFF形式(Windows 2.Xに付属している[ペイント]で利用できるファイルの形式)のファイルは[ペイント]との互換性のために存在しており、Windows 95ではBMP(ビットマップ)形式が一般的に利用されています。
- ・ IMFF形式(イメージスキャナユーティリティ専用のファイル形式)で保管されたカラー画像は、保管時にモノクロデータとなります。IMFF形式のファイルは、従来の[イメージスキャナユーティリティ]との互換性のために存在しており、Windows 95ではBMP形式が一般的に利用されています。

カラーイメージユーティリティを使う

カラーイメージユーティリティは、イメージスキャナやPhoto CDなどから読み込んだ写真などのイメージデータを編集するユーティリティです。

カラーイメージユーティリティを起動する.....

[カラーイメージユーティリティ] を起動するには、[書庫] グループの [NEC ユースフルパック] フォルダにある [カラーイメージユーティリティ] をクリックします。または、[スタート] メニューの [プログラム] - [書庫] をポイントし、[NEC ユースフルパック] の [カラーイメージユーティリティ] をクリックします。



カラーイメージユーティリティの主な機能については以下の通りです。

- ・ BMP(ビットマップ)形式、TIFF形式、JPEG形式、Photo CD形式ファイルを読み込むことができます。
- ・ 高品質のフルカラー(1600万色)画像を扱えます。
- ・ コントラスト、彩度、シャープネスを自動調整し、最適表示します。
- ・ 矩形、楕円、ポリゴン(多角形)、ペン、色によって自由にマスク(指定領域)を作成できます。
- ・ マスクで囲まれた特定の色を別の自由な色に変更できます。
- ・ OLE 2.0に対応していますので、OLE機能を備えたアプリケーションに画像を貼り付けることもできます。

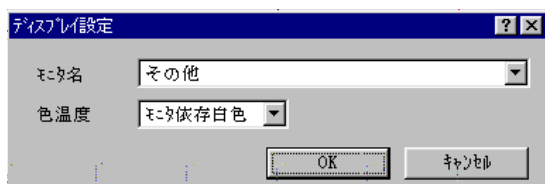


Windows 95の[ワードパッド]または[ペイント]が削除されていると、[カラーイメージユーティリティ]の起動時に「mfcans32.dllファイルが見つかりません」という内容のエラーメッセージが表示されることがあります。その場合は、[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]でWindows 95の[ワードパッド][ペイント]のどちらかをインストールしてください。

ディスプレイの設定

イメージデータを高画質で表示するためには、本機のディスプレイにあわせてカラーイメージユーティリティのディスプレイ設定の変更が必要です。

ディスプレイの設定は[オプション]メニューの[ディスプレイ設定]で行います。



詳しくは、カラーイメージユーティリティのヘルプを参照してください。



色温度がD65またはD50の場合、画像が全体的にピンク色がかって表示される場合があります。この場合には、色温度を「モニター依存白色」に設定してください。

イメージデータを編集する

ここでは市販されているPhoto CDサンプラーを使用して、Photo CDに書き込まれているイメージデータを読み込んで編集します。

詳しくはカラーイメージユーティリティのヘルプを参照してください。

- 1 CD-ROMドライブに、Photo CDサンプラーのCD-ROMを挿入します。



CD-ROMをセットして98プレーヤが自動起動した場合は、起動した98プレーヤを終了させ、作業を続けてください。

- 2 [ファイル]メニューの[開く]を選択します。[開く]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ファイルの場所]と[ファイル名]を選択した後、[開く]ボタンをクリックします。Photo CDが読み込まれて[カラーイメージユーティリティ]ウィンドウにイメージデータが表示されます。
- 4 [イメージ]メニューの[自動高画質化]を選択します。イメージデータが変更されて、以前より自然に見えるようになります。
この他にもカラーイメージユーティリティにはさまざまな編集機能がついていますので、同様にしてイメージデータの加工を行ってください。

- 5** [ファイル]メニューの[名前を付けて保存]を選択します。[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。
- [保存する場所]を選択し、[ファイル名]を入力した後、[ファイルの種類]で保存するファイルの形式(BMP、TIFF、JPG)を選択して、[保存]ボタンをクリックします。
- 保存できるデータ形式について、詳しくはカラーイメージユーティリティのヘルプを参照してください。

カラーイメージユーティリティの注意事項

- ・ 圧縮形式の種類によっては、読み込めないビットマップファイルがあります。
- ・ 圧縮形式およびマスクを考慮したTIFFファイルは読み込むことはできません。
- ・ CMYK形式のJPEGファイルを読み込むことはできません。
- ・ Photo CD形式の読み込みでは、Baseサイズ(512×768)以外のファイルは読み込むことはできません。
- ・ 8ビットモノクロまたは24ビットRGBフルカラー以外のJPEGファイルは読み込むことはできません。
- ・ PC-PR820/3のプリンタドライバによっては、独自の色変換が行えない場合があります。

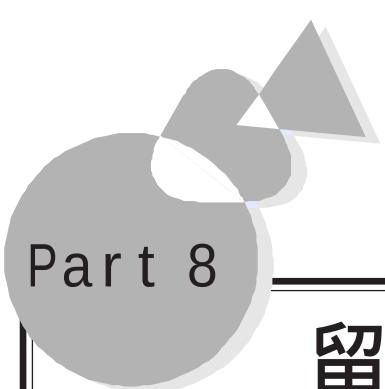
マルチメディア機能を使う 場合の注意

メディアプレーヤを利用する場合のご注意.....

メディアプレーヤを利用すると、音声データ、MIDIによる音楽データ、CDオーディオ、アニメーションファイルなどを再生できます。メディアプレーヤを利用するには、再生機器に対応したデバイスドライバの組み込みが必要な場合があります。詳しくは、再生機器に添付されているマニュアルをご覧ください。

ビデオCD(カラオケCD)を再生する場合のご注意...

本機には、ビデオCDなどの動画データを再生するためのソフトウェアが標準添付されていますが、98プレーヤやメディアプレーヤなどで動画データを再生中に、他のソフトウェアを実行させることなどにより、音飛びや画面の乱れが発生する場合があります。



Part 8

留守番電話や ファックスを使う

留守番電話やファックスを使う方法について説明します。

- 留守番電話機能を使う
- ファックスを送る/受ける

留守番電話機能を使う

本機では、98TELFAXを利用して留守番電話機能を使うことができます。
留守番電話機能をはじめとする98TELFAXのいろいろな機能や詳しい使い方については、『98TELFAXユーザーズガイド』およびオンラインヘルプをご覧ください。

■ 留守番電話機能を使用する前に

- ・ 電話を使用するときは、本機のFAXモデムボードと電話回線を接続する必要があります。接続方法については、『かんたんスタートガイド』の「Part2 必要な機器を接続する」の「電話回線を接続する」をご覧ください。
- ・ 98TELFAXは、プッシュホン回線で使用するよう設定されています。ダイヤル回線で使用する場合は、『98TELFAXユーザーズガイド』をご覧ください。設定を変更してください。

■ 98TELFAX を起動する

[居間]グループの[98TELFAX]をクリックします。
98TELFAXの画面が表示されます。



98TELFAXを終了するときは、98TELFAX画面右上にある **X** ボタンをクリックします。

■ 留守中に電話を録音する・ファックスを受信する

留守中に電話を録音したり、ファックスを受信したりするには、以下の手順で行います。

- 1 98TELFAXの[留守]ボタンをクリックします。
これで留守録モードになります。



- ・留守録モードでは、本体の電源がONになっていなくても、留守録ができます。

電話がかかってきたら1回目の呼び出しで自動的に本体の電源がONになり、7回目の呼び出しで留守録/FAX受信を始めます。終了後電源がOFFになります。

本機の電源がONのときは、98TELFAXを起動しておかないと留守録はできません。

- ・本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時は、98TELFAXでの留守録はできません。



- ・留守録モード中は、[留守]ボタンが赤く点灯しています。
- ・再度、[留守]ボタンをクリックすると、留守録モードは解除されます。

2

留守中にかかってきた相手に自動応答します。

留守中にかかってきた相手を自動で判断します。相手がFAXであれば自動受信し、電話であれば留守番電話が応答して、用件を録音します。



- ・本機の電源がOFFのときに留守録が行われた場合、本体前面の電源ランプが赤色の点滅をします。
- ・留守録が行われると[留守]ボタンが点滅します。98TELFAXがアイコン化されているときに留守録が行われると、タスクバーのアイコンが点滅します。
- ・本機の電源がOFFのときに、停電があったか、電源ケーブルの抜き差しが行われた場合は、点滅のしかたが異なります。

■留守録を再生する

留守録を再生するには、以下の手順で行います。

1

[留守]ボタンが点滅していることを98TELFAX画面で確認します。

2

[留守]ボタンをクリックします。

「未聞」メッセージが古い順に再生され、録音された日付と時刻を音声で通知します。

すべての「未聞」のメッセージを再生終了するか、再生中に[停止]ボタンをクリックすると終了します。

■メディアコントローラで操作する

98TELFAXが他のアプリケーションの後ろへ待避(インアクティブ状態)しているときは、メディアコントローラの[電話]ボタンを押して、アクティブな状態にしてから操作してください。

- 留守録を再生する

メディアコントローラで留守録を再生するには、以下の手順で行います。

1 98TELFAXがアクティブな状態で[▶||]ボタンを押します。

2 [留守電ログ]パネルに切り替わり、「未聞」のメッセージが古い順に再生されます。
すべての「未聞」のメッセージを再生終了するか、再生中に[■]ボタンを押すと終了します。



- ・ 再生中のメッセージを中断して、次の「未聞」メッセージを再生するには[▶▶]ボタンを押します。
- ・ 再生中のメッセージを最初から再生するには[◀◀]ボタンを押します。

ファックスを送る/受ける

ファックスを送るには、98TELFAXを起動して送る方法や、ワードパッドなどのアプリケーションから送る方法があります。ここでは、ワードパッドのワープロ機能で作成した文書を送る方法について説明します。

ファックスの送受信についてのいろいろな機能など詳しくは『98TELFAX ユーザーズガイド』をご覧ください。

■ ファックス送信・受信する前に

- ・ ファックスを送信・受信するときは、電話回線と接続してください。接続方法については『かんたんスタートガイド』をご覧ください。
- ・ 98TELFAXはプッシュホン回線で使用するよう設定されています。ダイヤル回線で使用する場合は、『98TELFAX ユーザーズガイド』をご覧ください。設定を変更してください。
- ・ ファックスは相手先にファックスシステムがないと送信できません。

■ ファックスを送信する

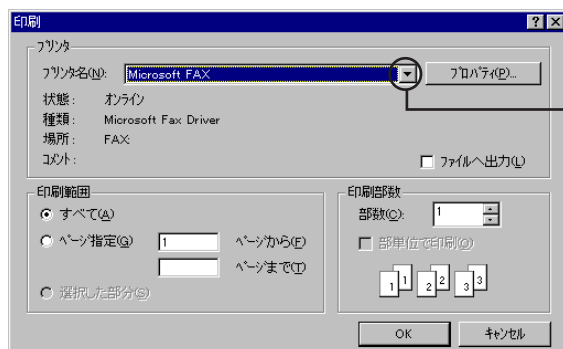
- 1 [スタート]メニューの[プログラム]-[アクセサリ][ワードパッド]を選択します。ワードパッドが起動します。



ワードパッドでの文書の作成方法については、ワードパッドのヘルプをご覧ください。

- 2 メニューバーから[ファイル]をクリックし、プルダウンメニューを表示させ、[印刷]をクリックします。

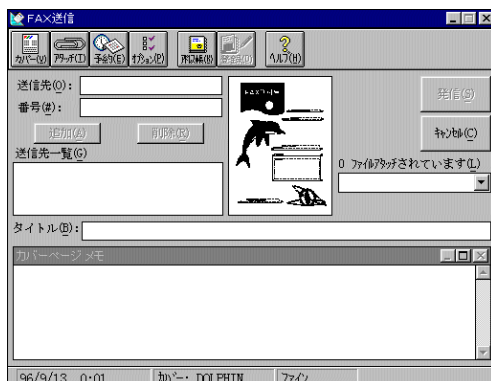
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



ここをクリックして「プリンタ名」を「98FAX」に変更

- 3 プリンタ名に「98FAX」を指定します。

- 4** 送信するページ範囲を指定後、[OK] ボタンをクリックします。
[FAX送信] ダイアログボックスが表示されます。



- 5** 送信先、電話番号を入力後、[発信] ボタンをクリックします。

これで送信の操作は終了しました。
送信結果は、98TELFAXを起動して確認してください。

■ファックスを受信する

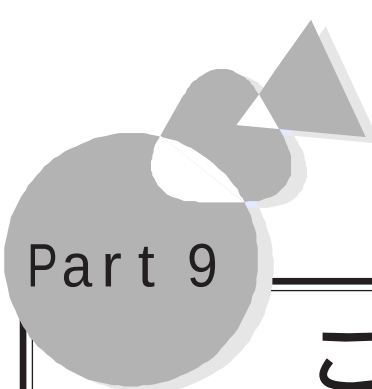
[留守録] モードに設定しておけば、自動的にファックスが受信されます(98TELFAX を起動しておく必要があります)。また、本体の電源がOFFの場合でもファックスが受信されます。本機の電源がOFFのときにファックスを受信した場合、本体前面の電源ランプが赤色の点滅をします。



通話中にファックスを受信するには、[送受切替] ボタンをクリックして、受信に切り替えて [FAX 受信] ボタンをクリックしてください。



- ・ 本機の電源がOFFのときに、停電があったか電源ケーブルの抜き差しが行われた場合は、点滅のしかたが異なります。
- ・ 本体の電源ケーブルがACコンセントに接続されていないときや停電時は98TELFAXでのファックスの受信はできません。
- ・ これらの機能について、詳しい説明は『98TELFAXユーザーズガイド』をご覧ください。
- ・ ファックス機能には、住所を一括管理する「アドレス帳」、受信したファックスデータを編集できる「ビューア」などさまざまな機能があります。これらの機能の使いかたについては、『98TELFAXユーザーズガイド』をご覧ください。



Part 9

こんな機能もあります

本機を使いこなすのに便利なツールについて説明します。

- 98Timerを使う
- カレンダーを使う
- ボイスリモコンを使う
- 文章をパソコンに読ませる
- パソコンで電話番号案内を使う
- コンピュータウイルスに備える
- 海外ゲーム対応ユーティリティを使う
- フォントを利用する
- LANシリーズのデータを見る
- 英語モードフォントを使用する
- DOS APインストーラ

98Timerを使う

98Timerを使うと、指定した時間に本機の電源をON/OFFしたり、アプリケーションを起動したりできます。

タイマプログラムを設定する

タイマプログラムを設定すると、指定した時間に本機の電源をON/OFFしたり、ONにするときに一緒にアプリケーションを起動したりできます。

自動的に電源をONにする機能のことをオンタイマ機能ともいいます。

- 1 [居間]グループにある 98Timer アイコンをクリックします。
98Timerが起動します。

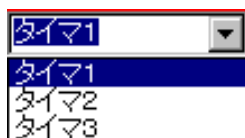


 [キャンセル] ボタンをクリックすると設定した内容を破棄し、98Timerを終了します。前回98Timer起動時に設定した内容は保持されます。

- 2 曜日を指定します。
タイマーオンにしたい曜日のところをクリックしてください。



- 3 タイマプログラムの▼ボタンをクリックして、タイマプログラムの番号を指定します。

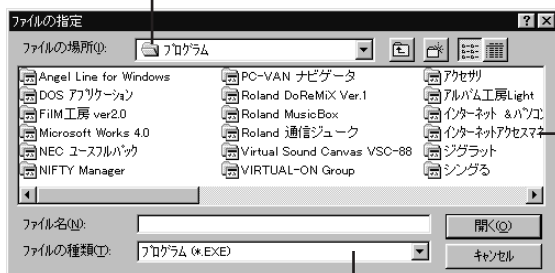


 タイマプログラムは曜日ごとに3つまで指定できます。

- 4** タイマーオンで実行するファイルを指定します。実行ファイルの▼ボタンをクリックして、メニューを開きます。以前指定した「実行ファイル」はメニューに表示されます。メニューに指定したい実行ファイルがある場合にはそれをクリックしてください。指定したい実行ファイルが見つからない場合には、一番下に表示されている「任意指定」をクリックしてください。次のような画面が表示され、新しく「実行ファイル」を指定できます。



- ・「テレビ」、「CDプレーヤ」および「インターネット」は実行ファイルとして最初から登録されています。指定するとそれぞれ「98TV」、「98プレーヤ」および「インターネットアクセスマネージャ」を起動することができます。
- ・「テレビ」、「インターネット」を選択した場合、「■「テレビ」、「インターネット」の指定」にしたがって設定を行ってください。



起動したい実行ファイルが入っているフォルダを指定します。アプリケーションを指定する場合には、「プログラム」フォルダの下の階層から選んでください。タスクバーの「スタート」-「プログラム」に登録されているアプリケーションが指定できます。

起動したい実行ファイルを指定します。

アプリケーションのデータファイルを表示する場合に「すべてのファイル (*.*)」を指定してください。
注：データファイルがアプリケーションに関連付けされていない場合にはファイルの実行時にエラーとなる場合があります。ファイルの関連付けについてはWindows 95のヘルプをご覧ください。

- 5** **電源オン**ボタンをクリックしてタイマーオンにする時間を設定します。



数字の上を左クリックすると時間が進みます。右クリックすると時間が戻ります。



電源オンを設定すると、現在時刻の右のところに🕒が表示されてタイマーがセットされたことを表します。

- 6** 自動的にタイマーオフにしたい場合は、**電源オフ**ボタンをクリックして、タイマーオフにする時間を設定してください。

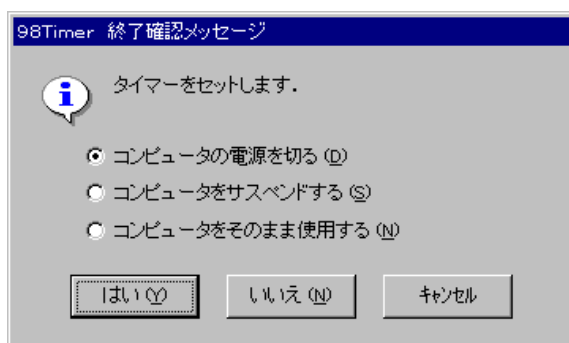


数字の上を左クリックすると時間が進みます。右クリックすると時間が戻ります。



- ・電源オフを設定しない場合は、電源オンの機能で一度電源がONになっても、自動的に電源がOFFにならない設定となります。
- ・電源オフを設定する必要がない場合は、「電源オフ」ボタンをクリックしないでください（ボタンがあがっている状態にしてください）。

- 7** [OK] ボタンをクリックします。
次のような画面が表示されます。



- ・ [はい] ボタンをクリックすると設定を保存し、指定された方法で終了処理を行います。
 - 1) コンピュータの電源を切る
98Timerを終了しWindowsを終了した後、コンピュータの電源を切ります。
 - 2) コンピュータをサスペンドする
98Timerを終了しコンピュータをサスペンドします。
 - 3) コンピュータをそのまま使用する
98Timerを終了します。コンピュータはそのまま使うことができます。
- ・ [いいえ] ボタンをクリックすると設定を破棄し、98Timerを終了します。
- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、設定画面に戻ります。

■「テレビ」「インターネット」の指定

●「テレビ」の指定について

実行ファイルのメニューで「テレビ」を指定すると、「98Timer テレビの設定」が起動し、タイマーオンで98TVが起動するときのテレビ（VHF、UHF）やBSのチャンネルを指定できます。

[98Timer テレビの設定] 画面の [OK] ボタンをクリックすると [98Timer] の画面に戻ります。





98TVでBSやCATVが使用できないときは、「98Timer テレビの設定」でもBS、CATVの指定はできません。

例: 次のようなタイマプログラムを設定した場合

曜日	タイマプログラム	時間	実行ファイル名	テレビの設定
月曜日	プログラム 1	21:00-	テレビ	テレビ(VHF、UHF)1、NHK総合
火曜日	プログラム 1	19:30-	テレビ	BS 9Ch

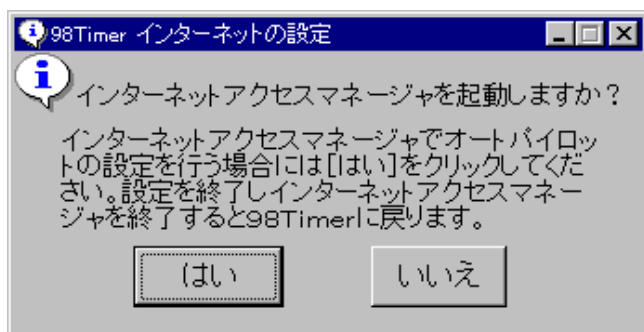
- ・ 毎週月曜日21:00に98TVがチャンネル1で起動します。
- ・ 毎週火曜日19:30に98TVがBS Ch9で起動します。

●「インターネット」の指定について

実行ファイルのメニューで「インターネット」を指定すると「98Timer インターネットの設定」が起動します。

[98Timer インターネットの設定]画面の[はい]ボタンをクリックすると「インターネットアクセスマネージャ」が起動し、タイマーオンで自動実行される「インターネットアクセスマネージャ」の設定ができます。

「インターネットアクセスマネージャ」を終了すると[98Timer]の画面に戻ります。



「実行ファイル」のメニューで「テレビ」、「インターネット」を指定しても、「98Timer テレビの設定」や「98Timer インターネットの設定」が起動しない場合は、「実行ファイル」のメニューの「テレビ」、「インターネット」をダブルクリックしてください。

■ タイマプログラムを設定するときの注意

● タイマー指定できる時間について

98Timer では2日間にまたがる設定が可能です。たとえば当日の23:00にタイマーオンし、翌日の3:00にタイマーオフする場合には次のように設定します。

電源オン:23:00

電源オフ:27:00 ← 翌日の午前3時を示します。

このような設定方法で最大以下の設定が可能です。

電源オン:00:00

電源オフ:47:59 ← 翌日の午後11時59分を示します。

● タイマプログラムについて

タイマプログラムは、曜日ごとに3つまで指定することができます。

たとえば次のように指定することができます。

曜日	タイマプログラム	時間	実行ファイル名
毎日	プログラム 1	7:00-8:00	98 プレーヤ
毎日	プログラム 2	22:30-25:00	98TV 注1
毎日	プログラム 3	22:00-23:00	98 プレーヤ 注2
月曜日	プログラム 1	22:00-25:00	インターネットエクスプローラ
火曜日	プログラム 1	12:00-	PC-VANナビゲータ 注3

注1：毎日のプログラム2は、月曜日のプログラム1と時間が重なっています。
この場合、まず22:00に「インターネットエクスプローラ」が起動し、その後22:30に「98TV」が起動します。
25:00に同時にタイマーオフとなります。

注2：毎日のプログラム3は、月曜日のプログラム1と時間が重なっています。この場合には22:00にタイマーオンになり「98プレーヤ」と「インターネットエクスプローラ」が同時に起動します。タイマーオフについては終了時刻の遅い方が優先されます。この場合は、25:00がタイマーオフの時間となります。

注3：火曜日のプログラム1は、終了時刻が指定されていません。この場合は、12:00にタイマーオンした後、タイマーオフは行われません。

● タイマプログラムでの「電源オン」と「電源オフ」を設定するときの注意

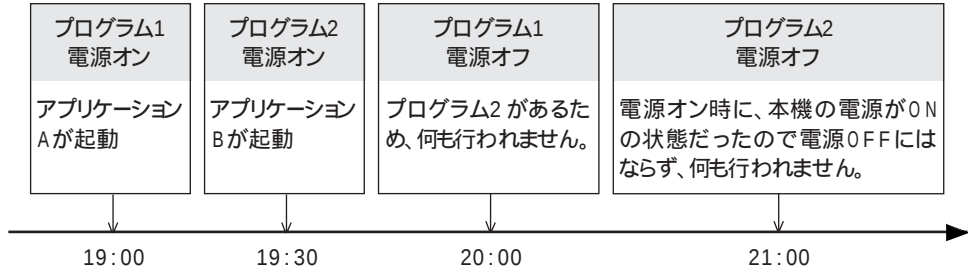
タイマプログラムの「電源オフ」は「電源オン」がはたらいたときの状態に戻すことをいいます。したがって、必ずしも「電源オフ」がはたらいたからといって、電源がOFFの状態になるわけではありません。

項番	タイマーオン時のシステム状態	タイマーオフ時の動作
1	電源OFF	電源OFFにする
2	サスペンド	サスペンドする
3	電源ON	電源ONのまま

「電源オン」がはたらいた時間に、本機の状態が電源OFFの状態であれば「電源オフ」がはたらいた時間には本機の電源はOFFになります。サスペンド状態であった場合は、サスペンド状態に戻ります。同様に、「電源オン」がはたらいた時間に本機の状態がすでに電源ONの状態であれば「電源オフ」で設定した時間になっても本機の電源はOFFにはなりません。

例：次のようなタイマプログラムを設定した場合

曜日	タイマプログラム	時間	実行ファイル
毎日	プログラム1	19:00-20:00	アプリケーションA
毎日	プログラム2	19:30-21:00	アプリケーションB



[電源オン]で設定した時間がきたとき、本機が電源ONの状態の場合、設定したアプリケーションは起動しますが、その場合、[電源オフ]の時間がきてもアプリケーションを終了するわけではありません。

電源オフを設定するとき、複数のプログラムを組む場合には、設定する時間や起動するアプリケーションに注意してください。



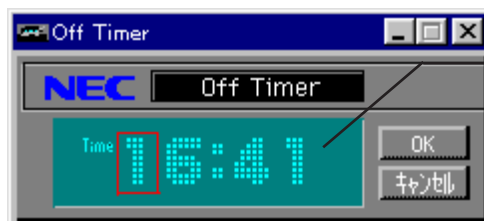
[コントロールパネル]-[パワーマネージメント]の「SLエンハンストオプション」の「日付/時間で指定」でもサスペンド状態から自動的にレジュームできますが、本機能は98Timerのオンタイマ機能と同時に使用できません。98Timerのオンタイマと同時に指定した場合には、98Timerの設定が有効になります。

■自動的に電源をOFFにする

オフタイマ機能を使うと自動的に電源をOFFまたはサスペンド状態にすることができます。

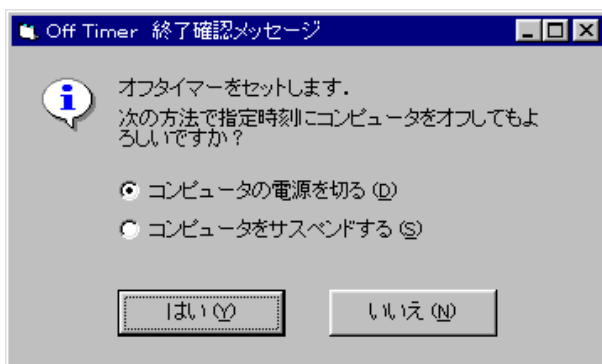
1 [居間]グループにある「98Timer」をクリックします。
98Timerが起動します。

2 [オフタイマ]ボタンをクリックします。
次のような画面が表示されます。



数字の上を左クリックすると時刻表示が1ずつ進み、右クリックすると1ずつ小さくなります。表示時間は24時間制です。

- 3** OFFにする時刻を設定して、[OK]ボタンをクリックしてください。
次のような画面が表示されます。



- 4**
- ・ 電源OFF状態にする場合は、[コンピュータの電源を切る]をクリックして、[はい]ボタンをクリックします。
タイマーがセットされます。
 - ・ サスペンド状態にする場合は、[コンピュータをサスペンドする]をクリックして、[はい]ボタンをクリックします。
タイマーがセットされます。



オフタイマがセットされると [OK]ボタンが黄色く表示されます。



98Timerで電源OFFにするときに、編集集中のファイルを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されるなど、終了時になにか操作の必要なアプリケーションが起動している場合は、電源がOFFになりません。
電源OFF時にメッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作して、Windowsを終了させてください。



98Timerを利用して自動的にサスペンド状態にした場合は、次の方法で自動的にレジュームすることができます。

- ・ 98Timerでオンタイマを設定し、指定した時間になるとレジュームします。

● オフタイマ機能を利用する際の注意

タイマー設定を行っても、次の場合はオンタイマ機能は実行されません。

- ・ OFFTimerを終了した場合
- ・ [スタート]メニューや電源スイッチでWindowsを終了させたりサスペンドしたりした場合

- 98Timerの注意事項

98Timerでオンタイマによりアプリケーションを起動した後、コンピュータの電源を切らずにWindowsを再起動すると、98Timerで指定したアプリケーションが起動する場合があります。これは、電源を切らずに再起動した場合には、オンタイマの情報が残っているために発生します。次のタイマ起動時間への影響はありませんので、そのまま使い続けても問題はありません。

■ メディアコントローラで操作する

メディアコントローラを使って98Timerを操作することができます。メディアコントローラの操作については、付録の「メディアコントローラ操作早見表」をご覧ください。

カレンダーを使う

卓上カレンダーに書き込むように、月間および日程のスケジュール管理ができます。

1 [居間]グループの[98カレンダー]アイコンをクリックします。

カレンダーが表示されます。

画面右下の[表示]ボタンをクリックすると、カレンダーの表示形式や、タイトルや日付などの文字のフォントを変更できます。

カレンダーの表示形式は[表示]ボタンをクリックして[一週間] [一ヶ月] [一年間]の3種類の中から選べます。設定を変えた後は[OK]ボタンをクリックします。[◀] [▶]ボタンで、表示形式に応じて週 / 月 / 年を変更できます。また、月間表示時には[◀◀] [▶▶]ボタンが表示され、年単位でカレンダーを変更できます。月間表示、週間表示時にタイトルをクリックすると、年間表示になり、年間表示時に日付をクリックすると月間表示になります。

- ・ 縦書きフォントなどの特殊なフォントを指定すると、カレンダーが正常に表示されないことがあります。このような場合は、フォントを[初期設定]に戻してください。カレンダーを終了するには、[終了]ボタンをクリックします。



2 スケジュールを管理する日をクリックして、時間とスケジュール項目を入力します。

- ・ 時間は半角文字で、時と分の間を「:」で区切って入力します。時間の範囲を指定するときは、開始時間と終了時間を「-」でつなぎます。
- ・ 時間に続いてスケジュール項目を入力します。
- ・ [閉じる]ボタンをクリックします。

表示されるボタンをクリックすると次の機能が使えます。

[詳細入力]: タイムテーブルが表示され、スケジュールを自由に編集できます。

[メモ]: 覚え書きができます。

[同一入力]: 入力済のスケジュール一覧の中から選択して同じものを入力できます。選択できる項目は、日付をクリックして入力したスケジュール項目です。

[手書入力]: マウスを操作して、手書きの文字や絵を入力できます。

	18:00 陶芸教室	詳細入力
12		メモ
		同一入力
		手書入力
19	20	閉じる

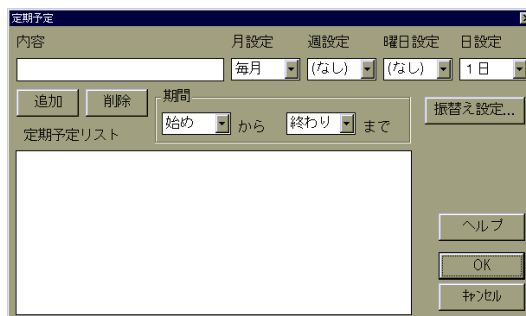


- ・ 入力した文字数が多くて表示しきれない場合は、[表示] ボタンをクリックし、[予定を大きくする] のチェックボックスを選択することで、1週間分の表示枠を大きくできます。また、1週間を区切っている罫線をドラッグしても表示枠を大きくできます。
- ・ [詳細入力] で2日にまたがる予定を入力するには、1日目の24:00までと2日目の0:00からの2回に分けて入力してください。

● 定期予定の書き込みについて

週刊誌の発売日や定例集会など、定期的に発生する予定を「月」「週」「日」ごとに一括してカレンダーに書き込みます。

- 1 [設定] ボタンをクリックします。
- 2 [定期予定] ボタンをクリックします。
- 3 [定期予定] ダイアログボックスに定期予定の内容を入力し、予定が発生する月、週、曜日、日を選択します。また、表示させる期間を年単位で設定することもできます(最初[始め] から [終わり] に設定されており、期間は限定されていません)。
- 4 [追加] ボタンをクリックします。
定期予定リストに設定した予定項目が表示れます。
- 5 [OK] ボタンをクリックします。
カレンダーの画面に戻ると、設定した予定がカレンダーに書き込まれています。





予定を設定した日が土曜や日曜・祝日の場合に、表示させる曜日を前日か翌日に振替えることができます。振替えの曜日を設定するには[追加]ボタンをクリックした後で[振替え設定]ボタンをクリックします。

● タイムスケジュールの編集

スケジュールを編集する日をクリックしてから[詳細入力]ボタンをクリックするとタイムテーブル画面が表示されます。

タイムテーブル画面上には、スケジュール入力欄、スケジュール一覧表示欄、時間設定欄があり、この画面から新規にスケジュールを入力したり、すでに入力したスケジュールを変更することができます。

・新規入力するには...

- 1** メニューバーにある[新規]をクリックします。
[時間未設定 新規]とスケジュール一覧表示欄に表示されます。
- 2** [時間未設定 新規]の上でクリックします。
一番上のスケジュール入力欄に[新規]と表示されます。
- 3** カーソルをスケジュール入力欄に移動し、[新規]という文字を消してから時間とスケジュールを入力します。
 - ・ 時間は半角文字で、時と分の間を「:」で区切って入力します。時間の範囲を指定するときは、開始時間と終了時間を「-」でつなぎます。
 - ・ 時間に続いてスケジュール項目を入力します。
- 4** 時間とスケジュールを入力したら[Enter]キーを押します。
- 5** [閉じる]をクリックします。



- 1 開始・終了時間を変更するときは、それぞれの水色のバーを変更する時間が表示されるまでドラッグします。開始から終了時間までの全体の時間はそのまま、開始・終了時間だけを変更するときは、黄色のバーをドラッグします。
- 2 スケジュールの内容を変更するときは、スケジュール入力欄にカーソルを移動して文字を入力します。入力した後、 キーを押します。
- 3 [閉じる] をクリックします。

・時間の設定のない予定に時間を設定するには...

- 1 時間を設定していない予定をスケジュール一覧から選びます。
- 2 設定したい時間の範囲を時間設定欄でドラッグします。ドラッグを終了すると、スケジュールに時間が設定されます。

・日付を変更するには...

メニューバーにある 前 || 次 または [← || →] ボタンで、日付を前後に移動することができます。



文字列の削除や複写、貼付け、スケジュールの印刷を行うには、メニューバーの [削除 || 複写 || 貼付け || 印刷] やアイコンをクリックします。

● その他の設定と印刷について

- ・ カレンダー画面の下部に表示されている 設定 ボタンをクリックして表示される画面では、定期予定の書き込みの他に、目標までの日数のカウントダウン、カレンダーの背景の絵や色、フォントなどの設定ができます。
- ・ すべての月のカレンダーの背景に指定した絵 (ビットマップ) を表示するには、以下の手順で行います。

カレンダー画面の下部に表示されている 設定 ボタンをクリックします。

表示されたメニューで 絵 (ビットマップ) をクリックします。

[絵 (ビットマップ)] 画面が表示されます。

[月] の設定を 指定のないとき にします。

[参照] ボタンをクリックします。

表示された画面で、背景に表示するビットマップを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[絵(ビットマップ)]画面に戻ります。

[表示方法]を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

すべての月のカレンダーの背景に指定した絵(ビットマップ)が表示されます。

この状態から [月] の設定を1～12月の各月に変更する場合には [絵(ビットマップ)]画面で、[月] 指定のないとき]にしたまま [絵(ビットマップ)] 画(なし)]に設定し、その後で [月] 絵(ビットマップ)]を変更してください。

- ・ [印刷] ボタンをクリックすると、スケジュールを印刷することができます。
- ・ カウントダウンの内容は、全角で17文字、半角で34文字まで入力できます。
- ・ 98カレンダーで入力したその日のスケジュールは、98ランチバーのメッセージウィンドウに表示されます。

時間指定のないスケジュールは、当日の98ランチバー起動直後に表示されます。

時間指定があるスケジュールは、開始時間の5分前からメッセージウィンドウに表示されます。

表示されるスケジュールは最大で50個までです。表示可能なスケジュールの文字数は、全角で50文字までです。



98カレンダーの詳しい操作方法については、[ヘルプ] ボタンをクリックして表示されるオンラインヘルプをご覧ください。

ボイスリモコンを使う

ボイスリモコンを使用して、マイクロホンを通した音声でアプリケーションを操作することができます。

ボイスリモコンを使用するためには、本機にマイクロホンを接続する必要があります。接続方法については『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

■ボイスリモコンについて

CEREBメニューに登録されているアプリケーションは、音声により操作することができます。

ボイスリモコンで操作するアプリケーションは、「ボイスリモコンの設定」でCEREBメニューに登録したり、登録を解除したりすることができます。

「ボイスリモコンの設定」は、98ランチバーの  ボタンをクリックして表示されるメニューにあります。

CEREBメニューへの登録、および登録の解除のしかたについて、詳しくは98ランチバーのヘルプをご覧ください。

上記以外のアプリケーションでも、起動 / 終了や矢印キーなどの簡単な操作であれば、音声によって行うことができます。

利用可能な音声コマンドについては、ボイスリモコンのヘルプにある「音声コマンド一覧」により確認できます。

アプリケーション独自の音声による操作の説明については、各アプリケーションのマニュアルやヘルプを参照してください。

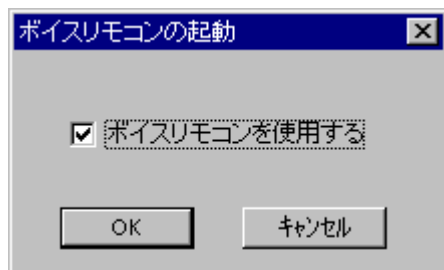


- ・ 音声による操作は使用する人のイントネーションやアクセント、使用する環境（周囲の雑音など）の影響により、誤って認識される場合や認識できない場合があります。ご使用になる前にボイスリモコンのヘルプにある「ボイスリモコンQ&A」を参照してください。
- ・ サウンドを利用しているアプリケーションが動作中の場合は、ボイスリモコンが利用できない場合があります。アプリケーションのサウンドの利用が終了してからボイスリモコンを利用してください。

■ ボイスリモコンの起動

ボイスリモコンは以下の手順で起動します。

- 1 98ランチバーの  ボタンをクリックし、[ボイスリモコンの起動] を起動します。
- 2 [ボイスリモコンの起動] の画面が表示されますので、「ボイスリモコンを使用する」のチェックボックスにチェックをつけます。



- 3 [OK] ボタンをクリックします。
ボイスリモコンが起動して、Windowsのタスクトレイ上にボイスリモコンのアイコンが表示されます。



ボイスリモコンのアイコン



手順3で [OK] ボタンをクリックした後、[ボイスリモコントレーニング] の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがってボイスリモコンの学習をしてください。

ボイスリモコンのアイコンは、モードの切り替え状態によって、次のように表示されます。



.... 音声コマンドを常に認識できる状態



.... 設定したキーワードを発声しないと音声コマンドを認識しない状態



.... 音声コマンドを全く認識しない状態

モードの切り替えについて、詳しくはボイスリモコンのヘルプをご覧ください。

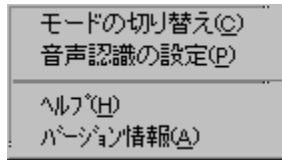
音声コマンドの認識結果、認識失敗時のエラー内容などの表示は、98ランチバーのメッセージウィンドウに表示されます。



メッセージウィンドウ

■メニューについて

Windowsのタスクトレイにあるボイスリモコンのアイコンをクリックすると、次のメニューが表示されます。



- ・ モードの切り替え ... ボイスリモコンの動作モードを選択します。
- ・ 音声認識の設定 ... 音声認識の設定を行います(アクセント、イントネーションなど、話し方の個人差を学習機能により調整することができます)。
- ・ ヘルプ ボイスリモコンの各メニューの説明、音声コマンド一覧、使用上の注意などの情報をみることができます。
- ・ バージョン情報 [バージョン情報] をクリックすると、ボイスリモコンのバージョン情報が表示されます。

「モードの切り替え」、「音声認識の設定」の設定方法について、詳しくはヘルプをご覧ください。

：

Part
9

こんな機能もあります

文章をパソコンに読ませる ～ テキストリーダ

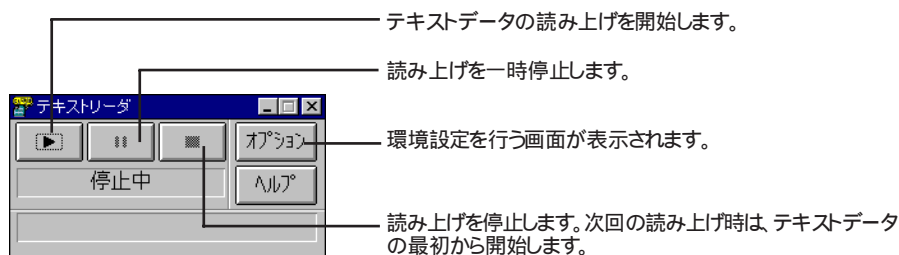
テキストリーダは、クリップボードにコピーされた文章(テキストデータ)を、音声で読み上げます。キーで入力した文章を、音声で読み上げて確認したい場合などに利用できます。

テキストリーダの操作方法については、次の通りです。

● 文章(テキストデータ)を読み上げる

文章(テキストデータ)を読み上げます。

- 1** 文章(テキストデータ)を読み上げたいアプリケーション(たとえばメモ帳)やワードパッドなどを起動して、文章(テキストデータ)を表示しておきます。
- 2** 読み上げる範囲をマウスでドラッグして、文字を反転表示させます。[編集]メニューから「コピー」を選択してください。
クリップボードに文章(テキストデータ)が読み込まれます。
- 3** [書斎]グループにある「テキストリーダ」をクリックします。
タスクバーに「テキストリーダ」が表示されます。
- 4** タスクバーにある「テキストリーダ」をクリックし、テキストリーダを起動します。



タスクバーに格納された状態からも、テキストリーダにマウスカーソルを合わせ、右ボタンをクリックして表示されるメニューより、「ヘルプ」「読み上げ」「一時停止」「停止」「オプション」のコマンド操作が行えます。

- 5** [▶] ボタンをクリックすると、マウスで選択した範囲の文章(テキストデータ)が「テキストリーダ」で読み上げます。



他のアプリケーションがオーディオデバイスを使用しているときには、読み上げはできません。

● システム環境の設定を変更する

- ・ [オプション] ボタンをクリックすると、オプションの設定画面が表示されます。
設定する項目については、以下の通りです。

〔 設定 〕 ボタンの項目

項 目	内 容
〔 話者 〕	読み上げ時の声を男性にするか女性にするかを選択します。
〔 テンポ / ピッチ / アクセント 〕	読み上げる速度（テンポ）、声の高さ（ピッチ）、抑揚の強弱（アクセント）を、スライダを操作して調整します。
〔 数字 〕	桁読み（「123」を「ひゃくにじゅうさん」と読む）か、棒読み（「123」を「いちにさん」と読む）かを選択します。
〔 記号 〕	記号を読むか読まないかを設定します。
〔 アルファベット 〕	チェックしておく、辞書に登録されている単語を読み上げる際に大文字と小文字を区別します。
〔 区切りモード 〕	読みの区切りを設定します。最初は、「句点」の箇所で区切って読む設定になっています。

さらに画面上部のボタンをクリックすると、次の設定ができます。詳しくは各画面でヘルプボタンをクリックして、ヘルプを参照してください。

項 目	内 容
〔 辞書 〕	ユーザ辞書の新規作成や登録ができます。
〔 システム 〕	音声出力モードやテキストリーダを常に前面に表示させるかどうかの設定ができます。
〔 ボリューム 〕	ボリュームコントロールが表示されます。

パソコンで電話番号案内を使う ～Angel Line for Windows

Angel Line for Windowsを使うと、パソコンで電話番号検索サービスが利用できます。

電話番号検索サービスを利用する前に

本機で電話番号検索サービスを利用するには、本機のFAXモデムボードと電話回線とを接続する必要があります。

これらの接続方法については、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

■電話番号検索サービスを利用する

- 1 [インターネット&パソコン通信]グループの[Angel Line Ver1.04]をクリックします。または[スタート]メニューの[プログラム]-[Angel Line for Windows]にある[Angel Line Ver1.04]をクリックします。
Angel Line for Windowsが起動します。



Copyright © 1996-1997 NTT

初めてAngel Line for Windowsを使う場合は、通信の設定を行います。それ以外は手順3に進んでください。

本機の出荷時の設定は、『内蔵FAXボード』に合わせた設定になっております。出荷時の設定は、次のとおりです。

●出荷時の設定

【モデム関連】

- ・制御コマンド ヘイズATコマンド
- ・MNPの設定 使用する
- ・フロー制御 RS/CSフロー
- ・パソコン～モデム間の速度を固定する設定 ... 固定する



- ・ パソコン～モデム間の通信速度 9600bps
- ・ ダイヤル付加記号 付けない

【通信ポート関連】

- ・ 通信ポート名 C O M 2

【電話関連】

- ・ 回線種別 プッシュ式
- ・ 内線発信 (チェックしない)
- ・ 発信文字列 (0の灰色)
- ・ 発信待ち時間 (空白)

オプション

【通信ポート】

- ・ データ長 8
- ・ パリティ ンパリティ
- ・ ストップビット 1bit

【モデムコマンド】

- ・ パソコン～モデム間の通信速度を固定に
設定するコマンド なし
- ・ MNPモードに設定するコマンド ￥N 3
- ・ フロー制御設定コマンド & K 3
- ・ オプションコマンド登録 (空白)
- ・ 初期化コマンド一覧 ATQ0V1E1
- ・ ダイヤル付加記号 ^

【自動回線接続のタイミング】

「検索実行時」を選択

- 2** [設定]メニューの[通信の設定]をクリックします。表示された画面で、[回線種別]にお使いの回線を選択してください。また、内線をお使いの場合は、[する]をクリックして、チェックをつけてください。設定が終了したら[OK]ボタンをクリックします。
- 3** [サービスメニュー]の画面で、検索したいメニューを選択します。

4 入力画面が表示されますので、調べたい相手の条件を入力してください。

漢字の入力はできません。入力可能な文字はひらがな、カタカナ、英数字のいずれかです。

入力したら、[検索]ボタンをクリックします。

検索結果が表示されます。

Angel Line for Windowsには、その他にもアドレス帳機能などがあります。詳しい説明については、オンラインヘルプをご覧ください。

コンピュータウイルスに備える ～ ScanVakzin Limited

コンピュータを使用した日常業務で、フロッピーディスクや光ディスクを使用したデータの受け渡しや、ネットワークを通じてデータのやりとりを繰り返していると、コンピュータウイルスに感染したデータを受け取る危険性があります。コンピュータウイルスの感染に備えて、ScanVakzin Limitedを使ってウイルスの検査が行えます。

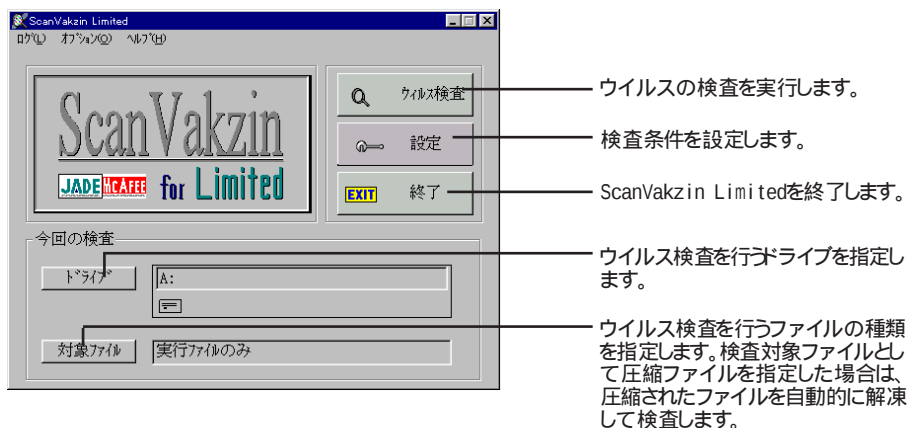
ScanVakzin Limitedを使って ウイルスを検査する.....

本機では海外のコンピュータウイルスを含め、約7500種類以上のウイルスを発見するアプリケーションソフトScanVakzin Limitedを使って、指定したドライブやフォルダの検査を行うことができます。また、スケジュール(自動ウイルス検査)によって指定したタイミングで検査することができます。

■ ウイルスの検査

ScanVakzin Limitedを起動して、本機に接続されているディスク内のウイルスを検査します。

- 1 [スキャンワクチン Limited]を起動します。
[書庫]グループの[NECユースフルパック]フォルダにある[スキャンワクチン Limited]をクリックします。
または [スタート]メニューの[プログラム]-[書庫]をポイントし、[NECユースフルパック]から[スキャンワクチン Limited]をクリックします。
画面の各ボタンの内容については以下のとおりです。詳しい使い方については、ScanVakzin Limitedのヘルプを参照してください。



■ スケジューラの起動

定期的にウイルスを検査するにはスケジューラ Limitedを使います。スケジューラを起動するには[書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[スケジューラ Limited]をクリックします。自動ウイルス検査の日時設定画面が表示されますので、ウイルス検査を行う時間を設定してください。設定の詳細については、スケジューラのヘルプをご覧ください。

● スケジューラ Limitedをスタートアップに登録する

ウイルス検査を行う日時を設定しても、スタートアップにスケジューラ Limitedに登録しなければ、Windows 95の再起動時に設定が解除されます。スケジューラ Limitedをスタートアップに登録するには、次の手順で行います。

- 1** [スタート]メニューの[設定]から[タスクバー]をクリックします。
- 2** [タスクバーのプロパティ]で[スタート]メニューの設定 タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。
- 3** [ショートカットの作成]の画面で[コマンドライン]に次のように入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

"A:¥Program Files¥Vakzin95¥Scw95.exe "
- 4** [フォルダの選択]で[スタート メニュー]-[プログラム]の下にある[スタートアップ]をクリックして、[次へ]ボタンをクリックします。
- 5** [名前の指定]で[完了]ボタンをクリックします。
- 6** [タスクバーのプロパティ]の画面に戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。

海外ゲーム対応ユーティリティを使う

本機には、Windows 95用海外ゲームでキー入力を正常に行うための海外ゲーム対応ユーティリティが用意されています。

海外ゲームを起動する前に、[スタート]メニュー-[プログラム]-[海外ゲーム対応ユーティリティ]をクリックします。詳しくは[スタート]メニュー-[プログラム]-[海外ゲーム対応ユーティリティ]-[お読みください]をクリックして表示される内容をご覧ください。一度、海外ゲーム対応ユーティリティを起動すると、タスクバーに[海外ゲーム対応ユーティリティ]アイコンが表示されるようになります。



- ・ 海外ゲーム対応ユーティリティがONの間は、日本語入力が行えなくなります。日本語入力を行いたい場合は、タスクバーに表示されているをクリックして、にして海外ゲーム対応ユーティリティをOFFにしてください。または、を右クリックして表示されたメニューから[終了]をクリックしてください。
- ・ 海外ゲームアプリケーションによっては、海外ゲーム対応ユーティリティを使用してもキーボード入力が正しく動作しないものがあります。

フォントを利用する ～ Font Avenue フォント

FontAvenueフォントは、高品質な日本語の画面表示やプリンタ出力を実現します。
Windows 95では、FontAvenueはTrueType版フォントを提供します。また、本機にはWindows 3.1との互換用として、WIFE版FontAvenueフォントも添付しています。



WIFE版FontAvenueフォントを利用する場合は、後述の「WIFE版FontAvenueフォントについて」に従ってインストールしてください。

TrueType版FontAvenueフォントのご紹介.....

本機にインストールされているTrueType版FontAvenueフォントの用途・特長を説明します。

TrueType 版 FontAvenue フォント	サンプル	内 容
F A 明朝	愛あ	文書の本文から小見出しまでに適しています。
F A P 明朝	愛あ	文字形状に合わせた字詰めによって、より美しく、読みやすい文章を作成できます。
F A ゴシック	愛あ	文章の見出し、強調およびプレゼンテーション用に適しています。
F A P ゴシック	愛あ	文字形状に合わせた字詰めによって、より美しく、読みやすい文章を作成できます。
ふみゆう F A 文結明朝	愛あ	FA明朝の漢字に和風のかなを組み合わせた書体です。手紙、案内状、俳句などに適しています。
ふみゆう F A 文結ゴシック	愛あ	FAゴシックの漢字に和風のかなを組み合わせた書体です。手紙、案内状、俳句などに適しています。
F A クリアレター	愛あ	FA明朝の漢字に別デザインのかなを組み合わせた書体です。多目的の使用に適しています。
F A ぼぼる	愛あ	FAゴシックの漢字にポップ風のかなを組み合わせた書体です。チラシ、絵本などに適しています。
F A ゴシック B	愛あ	FAゴシックの線幅を太くした書体で、文書のタイトル・大見出し、小さな垂れ幕などに適しています。
F A 丸ゴシック M	愛あ	見出し・OHPなどの他、本文にも適しているソフトな書体です。
F A 教科書M	愛あ	小学校教育に関連する文書などの他、賞状・名刺などに適しています。
F A 瑞筆行書M	愛あ	挨拶状・案内状などに適した、流麗で伸びやかな文字です。
F A 隷書M	愛あ	年賀状など、フォーマルな文書に適する一方で、広告・遊び文書などの用途にも使える書体です。
F A ポップ B	愛あ	人目を引き付けやすいデザインによって広告などに使用される、遊びイメージの強い書体です。

TrueType版FontAvenueフォントの削除と追加

フォントの削除、追加には[コントロールパネル]の[フォント]を使用します。

■フォントの削除

必要のないフォントの登録を削除します。

- 1 [書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[コントロールパネル]をクリックします。または[スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]をクリックします。
- 2 [フォント]をダブルクリックします。[Fonts]ウィンドウが表示されます。
- 3 削除するフォントを選択します。
- 4 [ファイル]メニューの[削除]を選択するか、**[DEL]**キーを押します。「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というフォントの削除を確認するメッセージが表示されます。
- 5 [はい]ボタンをクリックします。フォントの登録が削除されて、表示されていたフォント名が[Fonts]ウィンドウから消えます。

■TrueType版FontAvenueフォントの追加

削除したフォントを再び追加するには以下の手順で行います。

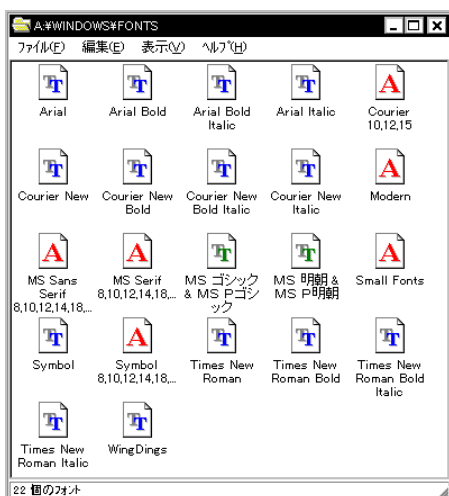
- 1 「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。



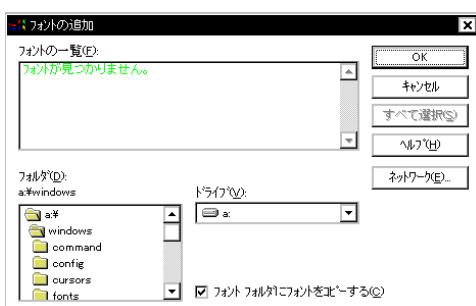
CD-ROMをセットしてNECファイルビューワが起動した場合は、起動したNECファイルビューワを終了させ、作業を続けてください。

- 2 [書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[コントロールパネル]をクリックします。または[スタート]メニューの[設定]から[コントロールパネル]をクリックします。

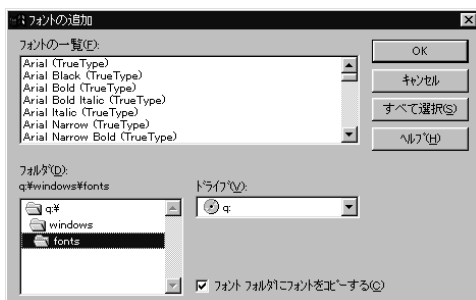
3 [フォント] をダブルクリックします。[Fonts] ウィンドウが表示されます。



4 [ファイル] メニューの [新しいフォントのインストール] を選択します。[フォントの追加] ダイアログボックスが表示されます。



5 「バックアップCD - ROM」を挿入したCD - ROMドライブとフォルダ(¥ WINDOWS¥FONTS) を指定し、[フォントフォルダにフォントをコピーする] にチェックマークを付けてください。しばらくすると、追加するフォントが表示されます。



(お使いの環境により、フォントの一部の内容が異なります。)

6 [フォントの一覧] に表示されるTrueType版FontAvenueフォントを選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。インストールが終了すると、[Fonts] ウィンドウにTrueType版FontAvenueフォントが表示されます。



複数のフォントを選択する場合は、**CTRL**キーを押したままフォントをクリックします。



FA ゴシック & F FA 明朝 & FA P
A P ゴシック & F 明朝 & FA 文結
A 文結ゴシック & 明朝 & FA クリア
FA まる leter

追加されたTrueType版FontAvenueフォント

FontAvenueフォントのJIS文字セットとベースラインを設定する.....

FontAvenue切り替えでは、2つの設定ができます。

- ・ JIS文字セットの切り替え
FontAvenueフォントは出荷時の設定ではJIS90文字セットに設定されていますが、JIS78文字セットに切り替えることができます。
- ・ ベースラインの切り替え
ベースラインとは、文字を並べるときに基準となる位置のことです。
FontAvenueフォントは、出荷時には欧文フォントなどと組み合わせた時のバランスを考慮したベースラインを設定していますが、これは、Windows3.1で提供していたWIFE版FontAvenueフォントとは異なります。このため、TrueType版FontAvenueフォントを古いベースラインに切り替えることで、WIFE版FontAvenueフォントと組み合わせた場合のバランスを最適にすることができます。

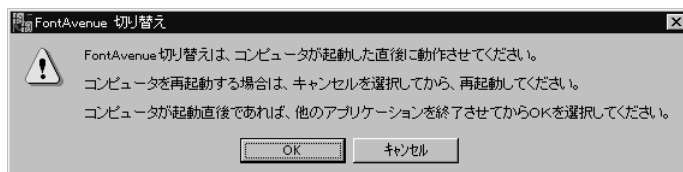
JIS文字セットもベースラインも、フォントごとに切り替えることができます。



- ・ JIS78文字セットとJIS90文字セットは、それぞれを制定時期の異なるJISの規格を参考にしております。
JIS78文字セットは1978年に制定された「JIS C 6226-1978」に準拠しており、JIS90文字セットは1990年に制定された「JIS X 0208-1990」に準拠しています。
結果として、JIS90文字セットではJIS78文字セットに比較して77文字が追加されており、その他に322文字の字形が変更されています。
- ・ Windowsシリーズでは、標準的な文字セットは「JIS X 0208-1990」に準拠するとしているため、一般的にはJIS90文字セットを使用してください。ただし、JIS78文字セットを採用している装置で運用していたデータを、同じ字形でWindowsシリーズの上で利用したい場合や、JIS78文字セットで採用されている古い字体を利用したい場合には、JIS78文字セットを使用してください。

■FontAvenue切り替えの起動

コンピュータを再起動して、他にアプリケーションを起動していない状態で、[書庫]グループの[NECユースフルパック]フォルダまたは[スタート]メニューの[プログラム]-[NECユースフルパック]にある[FontAvenue切り替え]を起動すると、次のメッセージが表示されますので、指示にしたがってください。



「準備中」のウィンドウが終了すると[FontAvenue 切り替え]ウィンドウが表示されます。



- FontAvenue切り替えを起動している間はフォントの削除や追加を行わないでください。
- 他のアプリケーションがフォントを使用している時は、切り替えを実行することができません。他のアプリケーションを全て終了してから実行してください。また、フォントファイルがネットワーク上の他のコンピュータにあると、切り替えができない場合があります。

●JIS文字セットの切り替え

JIS文字セットを切り替えるには、[文字セット切り替え]タブをクリックします。



- 全てのフォントを切り替える
全てのフォントをJIS78文字セットに切り替える場合は[全てJIS78に>>]ボタンを、JIS90文字セットに戻す場合は[<<全てJIS90に]ボタンをクリックします。
- 特定のフォントを切り替える
切り替えたいフォントを選択して、[JIS78に変更>]または[<JIS90に変更]ボタンをクリックします。



複数のフォントを選択する場合は、**CTRL** キーまたは **SHIFT** キーを押したままフォントを選択します。



- ・ JIS78文字セットに切り替えたフォントを使用して印刷しても、JIS90文字セットで印刷される場合があります。これは、FontAvenueフォントをプリンタ内蔵フォントで置き換えていることが原因ですので、プリンタ内蔵フォントで置き換えないようにプリンタの設定を変更してください。
- ・ JIS78文字セットに切り替えたフォントも、いったん削除して再登録するとJIS90文字セットに初期化されますので、登録後に文字セットを再度切り替えてください。

● ベースラインの切り替え

ベースラインを切り替えるには、[ベースライン調整] タブをクリックします。



- ・ 全てのフォントを切り替える
全てのフォントを古いベースラインに切り替える場合は、[全て古いベースラインに >>] ボタンを、新しいベースラインに戻す場合は、[<< 全て新しいベースラインに] ボタンをクリックします。
- ・ 特定のフォントを切り替える
切り替えたいフォントを選択して、[古いベースラインに変更 >] または [< 新しいベースラインに変更] ボタンをクリックします。



古いベースラインに変更したフォントで外字を使用すると、外字がずれる場合があります。この場合は、新しいベースラインに戻してください。

W I F E 版Font Avenue フォントをTrueType 版Font Avenue フォントで代替する

本機では、既存の文書などで使用している従来のW I F E 版Font Avenue フォントを、TrueType 版Font Avenue フォントで代替するように設定しています。
この設定では、以下のようにフォントが代替されます。

W I F E 版		TrueType 版
FA 明朝	→	F A 明朝
明朝-L FA	→	F A 明朝
FA ゴシック	→	F A ゴシック
ゴシック-M FA	→	F A ゴシック
ゴシック-B FA	→	F A ゴシック B
丸ゴシック-M FA	→	F A 丸ゴシック M
教科書-M FA	→	F A 教科書 M
瑞筆行書-M FA	→	F A 瑞筆行書 M



- TrueType 版Font Avenue フォントがインストールされていない場合は、適当なフォントに自動的に代替されますが、体裁が崩れる場合があります。
 - W I F E 版Font Avenue フォントがインストールされている場合、代替機能は働きません。
-

Windows 3.1 で作成したFont Avenue の外字をWindows 95 に移行する

Windows 3.1 で作成したW I F E 版Font Avenue フォントの外字は、[Font Avenue 外字コンバータ] を使用してWindows 95 用の外字として利用することができます。



[Font Avenue 外字コンバータ] で外字を利用するには、Windows 3.1 の [Font Avenue 外字エディタ] の [補助機能] メニューの [外字データのFD媒体への退避] コマンドで作成したフロッピーディスクを用意する必要があります。

■ Windows 3.1で作成したFontAvenue外字の Windows 95への移行

Windows 3.1で作成したFontAvenue外字をWindows 95用の外字に変換します。

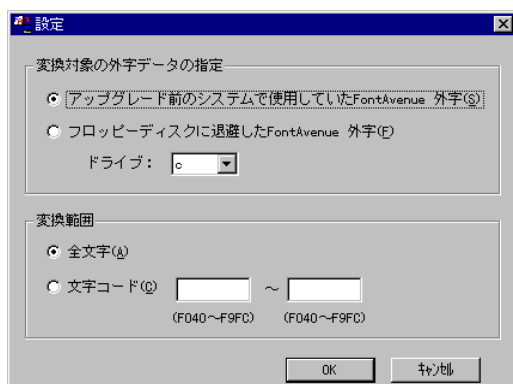
- 1 [FontAvenue 外字コンバータ] を起動します。
[書庫]グループの[NECユースフルパック フォルダ、または[スタート]メニューから [プログラム]-[NECユースフルパック]から[FontAvenue外字コンバータ] をクリックします。



FontAvenue外字が見つからない場合は、「アップグレード前のシステムで使用していたFontAvenue外字が見つかりません」というメッセージを表示します。[OK]ボタンをクリックすると[FontAvenue 外字コンバータ]ウィンドウが表示されます。



- 2 変換対象を変更する場合や変換範囲を変更する場合は、[設定]ボタンをクリックします。[設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 3** [変換対象の外字データの指定]でアップグレード前のシステムで使用していたFontAvenue外字 または フロッピーディスクに退避したFontAvenue外字 のドライブ を選択します。また、[変換範囲]で 全文字 または 文字コード の範囲を設定します。



- [フロッピーディスクに退避したFontAvenue外字]を選択する場合は、事前にFontAvenue外字ファイルの入ったフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入しておいてください。
- [フロッピーディスクに退避したFontAvenue外字]は、Windows 3.1で [FontAvenue外字エディタ]の[補助機能]メニューの[外字データのFD媒体への退避]で作成したFontAvenue外字ファイルだけが変換できます。

- 4** [OK] ボタンをクリックすると、変換するFontAvenue外字が[フォント名]の一覧に表示されます。

- 5** [フォント名]の一覧に表示されているFontAvenue外字を選択した後、[変換] ボタンをクリックします。



複数のフォントを選択することはできません。

- 6** [指定したフォントを変換してよろしいですか?]というメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。Windows 3.1で作成したFontAvenue外字がWindows 95用の外字に変換されます。

- 7** [変換したファイルを保存しますか?]というメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。[変換後のファイルを保存する]ダイアログボックスが表示されます。

- 8** [保管される場所]と[ファイル名]を指定した後、[保存] ボタンをクリックします。変換したファイルが保存されます。

■ 変換したFontAvenue外字の外字エディタへの取り込み

変換したFontAvenue外字を外字エディタに取り込んでWindows 95で利用できるようにします。手順については、[外字エディタ]のヘルプを参照してください。



WIFE版FontAvenueフォントとあわせて外字を使用すると、文字位置がずれる場合があります。詳しくは、[FontAvenue 外字コンバータ]のヘルプの「トラブルシューティング」-「外字を使用すると文字位置がずれる」の項目を参照してください。

W I F E 版Font Avenue フォントについて.....

W I F E 版Font Avenue フォントは、Windows 3.1 に標準搭載されていたフォントです。従来 W I F E 版Font Avenue フォントをご利用いただいていた方のために、本機添付の「チュートリアルCD-ROM」には、FA 明朝、FAゴシックの2種類の書体を添付しています。なお、初めてFont Avenue フォントをご利用になる場合は、より高品質なTrueType版Font Avenue フォントをお勧めします。

W I F E 版Font Avenue フォントファイルは、[Font Avenue インストール] からインストールしてください。

■ W I F E 版Font Avenue を利用する

W I F E 版Font Avenue フォントを利用する際に、追加、再登録、フォント名と高さの設定、文字飾りの設定、削除、JIS文字セットの切り替えを行うには、[Font Avenue インストール] を使用します。



Font Avenue 外字は使用できません。

・Font Avenue インストールを起動する

[書庫] グループの [NEC ユースフルパック] フォルダ、または [スタート] メニューの [プログラム] - [NEC ユースフルパック] から [Font Avenue インストール] をクリックすると、[Font Avenue インストール] 画面が表示されます。[Font Avenue インストール] の操作方法については、オンラインヘルプを参照してください。

■ Font Avenue インストール使用上の注意事項

- ・本機添付の W I F E 版Font Avenue フォントを使用する場合は、CD-ROM ドライブに本機添付の「チュートリアルCD-ROM」をセットし、[Font Avenue インストール] の [追加] ボタンをクリックして、[インストール媒体のドライブ] に次のように指定します。
<CD-ROM ドライブ名> : ¥USEFULPK
- ・[Font Avenue インストール] を起動する際には、あらかじめすべてのアプリケーションを終了させてください。
- ・[Font Avenue インストール] には、TrueType 版Font Avenue フォントのインストール機能はありません。
- ・W I F E 版Font Avenue のフォントがインストールされていない状態では、[Font Avenue インストール] 画面の表示直後、[追加] ダイアログボックスが表示されます。

- ネットワーク上のCD-ROMドライブおよびフロッピーディスクドライブからは、フォントを追加できません。
- 登録先のディレクトリ名が長いファイル名の場合、フォントを追加できません。
- WIFE版FontAvenueフォントのJIS文字セット切り替えが正常に動作しない場合は、以下の操作を行ってください。

他のアプリケーションを終了させます。

『FontAvenueインストール』を起動して、文字セット切り替えが正常に実行できないフォントを選択します。

[削除]ボタンをクリックし、[削除]画面で「ファイルも削除する」チェックボックスを選択しないで「はい」ボタンをクリックします。

Windows 95を再起動します。

『FontAvenueインストール』を起動して、文字セット切り替えが正常に行われないフォントを選択します。

[再登録]ボタンをクリックします。

Windows 95を再起動します。

FontAvenueボードの注意事項

FontAvenueボード(PC-9801-89)は使用できません。

LANシリーズのデータを見る

～LANWORD、LANPLAN/G、LANFILE ファイルのクイック表示

Windows 95では、Windowsベースのアプリケーションで作成されたファイルは、アプリケーションを起動しなくても、クイックビューアでその内容を簡単に表示することができます。本機では、LANシリーズで作成したファイルもクイックビューアで表示することができます。クイックビューアで表示できるLANシリーズのファイル形式については、各項をご覧ください。

■ ファイルをクイック表示する

ファイルの内容をクイックビューアで表示します。

- 1** [書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[エクスプローラ]をクリックするか、[スタート]メニューの[プログラム]にある[エクスプローラ]を起動するか、またはデスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
- 2** 表示したいファイルを選択した状態で、マウスの右ボタンをクリックしポップアップメニューから[クイックビューア]を選択するか、同じ状態で、[ファイル]メニューから[クイックビューア]を選択してください。
[クイックビューア]が起動し、選択されたファイルの内容が[クイックビューア]ウィンドウに表示されます。

■ クイック表示するときの注意

● LANWORD 文書ファイルのクイック表示の注意事項

クイック表示の対象となるファイルは、LANWORD(Windows 3.1版、Windows 95版、Windows NT版)文書ファイル(*.DWD)または文豪DP-WORDの文書ファイル(*.DWD)のみです。PTOS版LANシリーズのファイルをクイック表示することはできません。

● LANPLAN/G ワークシートファイルのクイック表示の注意事項

- クイック表示の対象となるファイルは、LANPLAN/G(Windows 3.1版、Windows 95版、Windows NT版)ワークシートファイル(*.DST)または文豪DP-PLANのワークシートファイル(*.DST)のみです。マクロシートファイル(*.DMT)やPTOS版LANシリーズ、文豪PLANのファイルをクイック表示することはできません。

- ・ クイック表示機能はファイル内容の簡易表示を目的としています。したがって、ワークシートに設定された書式情報(罫線 / パターン / 文字色など)の一部は省略して表示されます。
- ・ 最大表示範囲は、20列×50行です。

● LANFILE データベースファイルのクイック表示の注意事項

- ・ クイック表示の対象となるファイルは、LANFILE(Windows 3.1版、Windows 95版)および文豪DP-CARD⁺のディレクトリファイル(*.DDR)に関連付いているデータベースファイルと送信形式ファイル(*.DDS)のみです。マクロシートファイル(*.DDM)や帳票ファイル(*.DDT)、PTOS版LANFILE、LANFOLDER、文豪CARD、文豪DP-CARDのファイルはクイック表示できません。
- ・ クイック表示機能はファイル内容の簡易表示を目的としています。したがって、ディレクトリファイルに設定された書式情報(文字色 / 文字フォント / 文字サイズ)の一部は省略して表示されます。
- ・ 最大表示件数は100件です。
- ・ ディレクトリファイルに関連付いているデータファイルが存在しない場合、表定義情報のみ表示されます。
- ・ 表定義のみで作成したディレクトリファイルをクイック表示した場合、表定義情報のみクイック表示されます。
- ・ 1レコードの最大表示幅は340バイトです。
- ・ ディレクトリファイルに関連付いているデータファイルを読み込んでいるときにエラーが発生した場合、ディレクトリファイルのエラーとしてメッセージが表示されます。

英語モードフォントを使用する

日本語モードフォントのままで、海外製Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードのままで、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用する場合も、正しく表示されない文字があります。

それぞれのモードでの表示状態については、次の通りです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ウ」 「®」→「ヨ」 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ウ」→「©」 「ヨ」→「®」 「¥」→「\」

■ 英語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを日本語モードから英語モードに切り替えます。

- 1 [書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[コントロールパネル]をクリックして[フォント]を起動します。または[スタート]メニューの[設定]-[コントロールパネル]から[フォント]を起動します。[Fonts]フォルダが開きます。
- 2 [ファイル]メニューの[新しいフォントのインストール]を選択します。[フォントの追加]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ドライブ]にWindows 95がインストールされているドライブ(通常はA:)を指定し、[フォルダ]に「¥windows¥usfont」ディレクトリを指定します。
- 4 [フォントの一覧]のリストボックスに、「EnglishModeFixedSys (Set #6)」、「EnglishModeSystem (Set #6)」、「EnglishModeTerminal (Set #6)」が表示されることを確認してから、[すべて選択]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。[Fonts]フォルダ内に英語モードフォントが追加され、英語モードフォントに切り替わります。



使用しているフォントが英語モードのままで、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用すると、「ウ」「ヨ」「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードを日本語モードに切り替えてください。

■ 日本語モードフォントへの切り替え

使用するフォントを英語モードから日本語モードに切り替えます。

- 1** [書庫]グループの[ユーティリティ]フォルダにある[コントロールパネル]から[フォント]を起動します。または[スタート]メニューの[設定]-[コントロールパネル]から[フォント]を起動します。[Fonts]フォルダが開きます。
- 2** [Fonts]フォルダ内の「EnglishModeFixedSys (Set #6)」、「EnglishModeSystem (Set #6)」、「EnglishModeTerminal (Set #6)」(実際には名前が短く表示される場合があります)を選択し、[ファイル]メニューの[削除]を選択します。「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」というメッセージが表示されます。[はい]ボタンをクリックすると英語モードフォントが削除され、日本語モードフォントに切り替わります。



使用しているフォントが日本語モードのままで、海外版Windows 95アプリケーションをWindows 95で利用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードを英語モードに切り替えてください。

DOS APインストーラ

Windows 95の動作環境を変更せず、MS-DOSアプリケーションのインストールを行うことができます。また、すでにインストールされているMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成したり、使用しているデバイスドライバの内容を確認/修正することもできます。



ここで「ショートカットを作成する」とは、「[スタート]メニューにアプリケーションを登録する」という意味です。

■DOS APインストーラをお使いになる前に

次のようなMS-DOSアプリケーションは、Windows上では実行できません。

- ・ フロッピーディスクからの起動が必要なアプリケーション
このようなアプリケーションは、Windowsを終了してMS-DOSモードで再起動してから実行してください。起動方法の詳細については、アプリケーションに添付しているマニュアルを参照してください。
- ・ ADDDRVコマンドに対応していないかな漢字変換機能を利用するアプリケーションや、終了後MS-DOSに戻らないアプリケーション
このようなアプリケーションは、後述の「アプリケーションを利用する際の注意」を参照してください。

また、次のようなアプリケーションはDOS APインストーラではインストールできません。

- ・ インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的にリセットするアプリケーション
このようなアプリケーションは、MS-DOSモードでコンピュータを再起動して、手作業でインストールしてください。
手作業によるアプリケーションのインストールについては後述の「手作業によるアプリケーションの登録」を参照してください。
インストール中またはインストール後にコンピュータを自動的にリセットするかどうかは、アプリケーション添付のマニュアルを参照してください。

MS-DOSアプリケーションをインストールして ショートカットを作成する

DOS APインストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションをインストールした後、ショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

■DOS APインストーラでのインストール

MS-DOSアプリケーションをDOS APインストーラを使用してインストールします。

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]をポイントし、[DOSアプリケーション]から[DOS APの登録]を起動します。
[DOSアプリケーションの登録]ダイアログボックスが表示されて、インストールに必要な手順や注意事項が説明されますので、確認しながら[次へ]ボタンをクリックして進めてください。
- 2** MS-DOSプロンプトが起動して、MS-DOSプロンプトのDOS APインストーラの画面が表示されます。インストールするMS-DOSアプリケーションのインストール手順にしたがって、インストールを行ってください。



- MS-DOSアプリケーションのインストール中にCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの変更を選択する場面がある場合は、必ず「変更する」を選択してください。
- インストールに際して必要なファイルがハードディスクに存在しない場合、以降の操作が正しく実行できない場合があります。



MS-DOSアプリケーションのインストール方法については、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルを参照してください。

- 3** MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、EXIT[Ⓢ]と入力するとWindows 95の画面に戻ります。



MS-DOSアプリケーションのインストール後、リセット(再起動)の指示がありますが、絶対に行わないでください。必ずインストール終了後は、EXIT[Ⓢ]と入力して、Windows 95の画面に戻ってください

DOS APインストーラでインストールできなかった場合は、後述の手作業によるアプリケーションの登録を参照してインストールしてください。

- 4** 引き続き、[DOSアプリケーションの登録]ダイアログボックスが表示されて、インストールしたMS-DOSアプリケーションを[スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション]フォルダに登録する作業が行われますので、[次へ]ボタンをクリックして、これ以降の「■インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成」の順に進んでください。また、登録しない場合は、[終了]ボタンをクリックして[DOS APインストーラ]を終了してください。

■インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

インストールしたMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- 1** MS-DOSアプリケーションの起動方法を選択する画面で、[コマンドで起動]または[自動的に起動]のどちらかを選択した後、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 2** MS-DOSアプリケーションを起動するコマンド名を入力する画面で、コマンド名にはMS-DOSアプリケーションの起動コマンドを入力するか、[参照]ボタンをクリックして起動用に作成、インストールした実行ファイル(*.EXE)、バッチファイル(*.BAT)またはコマンドファイル(*.COM)を選択した後、[OK]ボタンをクリックしてください。選択したコマンドを表示しますので、確認した後、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 3** 起動するMS-DOSアプリケーションの登録名を指定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、[次へ]ボタンをクリックしてください。
- 4** MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数を設定する作業が行われますので、これ以降の「■MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集」の処理を進めてください。ショートカットの作成が必要ない場合は、[終了]ボタンをクリックして[DOS APインストーラ]を終了してください。



MS-DOSアプリケーションの起動コマンドについては、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルを参照してください。



MS-DOSアプリケーションの起動に必要なデバイスドライバや環境変数については、MS-DOSアプリケーションに添付されているインストールまたはセットアップ関連のマニュアルを参照してください。

■MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用デバイスドライバ、環境変数を設定します。ただし、MS-DOSアプリケーションのインストール時にCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATが変更された場合は、この処理は行えません。

- 1 [オプション] ボタンをクリックします。[DOSアプリケーションの登録] [デバイスドライバ定義ファイルの編集] タブの画面が表示されます。



- 2 デバイスドライバを新規に追加する場合は、[追加] ボタンをクリックすると、デバイスドライバを選択する画面が表示されます。[ファイルの場所] [ファイル名] デバイスドライバ名:*.DRV を選択した後、[開く] ボタンをクリックすると [有効な内容] に新規に追加したデバイスドライバが表示されます。



[追加] は、Windowsの[マイ コンピュータ]または[エクスプローラ]の[表示] - [オプション] を実行して、[すべてのファイルを表示] をチェックしてから行ってください。

- 3 すでに設定されているデバイスドライバを削除する場合は、[有効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[無効 ↓] ボタンをクリックします。デバイスドライバが [無効な内容] に移動します。
一度、削除したデバイスドライバを設定する場合は、[無効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[↑ 有効] ボタンをクリックします。

- 4 デバイスドライバの設定内容が変更できたら、[更新] ボタンをクリックしてください。デバイスドライバの設定内容が更新されます。引き続き、環境変数の設定内容の変更を行いたい場合は、[DOS AP起動用ファイルの編集] タブをクリックしてください。[DOS AP起動用ファイルの編集] タブの画面が表示されますので、これ以降の「■MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集」の処理を進めてください。必要ない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして「■MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定」の処理に進んでください。



- ・すでに設定されているデバイスドライバを編集したり、パラメータを変更する場合は、[有効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[編集] ボタンをクリックします。[指定行の修正] ダイアログボックスが表示されます。行の修正をした後、[更新] ボタンをクリックすると、デバイスドライバのパラメータが更新されます。
- ・他のアプリケーションで使っているデバイスドライバ定義ファイルを共有する場合は、[ファイル変更] ボタンをクリックして共有するファイルを選択してください。

■MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集

インストールしたMS-DOSアプリケーション起動用環境変数を設定します。

- 1** [DOS AP起動用ファイルの編集] タブの画面で環境変数を新規に追加する場合は、[追加] ボタンをクリックすると、環境変数を入力するための画面が表示されます。環境変数を入力した後、[更新] ボタンをクリックすると [有効な内容] に表示されます。
- 2** すでに設定されている環境変数を削除する場合は、[有効な内容] に表示されている環境変数を選択した後、[無効 ↓] ボタンをクリックします。環境変数が [無効な内容] に移動します。
削除した環境変数を設定する場合は、[無効な内容] に表示されているデバイスドライバを選択した後、[↑ 有効] ボタンをクリックします。
- 3** 環境変数の設定内容が変更できたら、[更新] ボタンをクリックして、[OK] ボタンをクリックしてください。環境変数の設定内容が更新されて、メモリサイズを設定する画面に進みます。メモリサイズの設定が必要な場合は、「■MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定」の処理を進めてください。

■MS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズの設定

インストールしたMS-DOSアプリケーションの起動用メモリサイズを設定します。

- 1** [オプション] ボタンをクリックすると、MS-DOSアプリケーションを実行するディレクトリを設定する画面が表示されます。



- 2** 実行するディレクトリ名を入力した後、[次へ] ボタンをクリックします。設定内容が有効になり、メモリサイズを設定する画面に進みます。



- 3** [コンベンショナルメモリ] [EMSメモリ] [XMSメモリ] [環境変数の初期サイズ] を設定した後、[次へ] ボタンをクリックします。コマンド、実行ディレクトリ、メモリサイズの設定を確認する画面が表示されます。
- 4** 設定を確認した後、[次へ] ボタンをクリックします。MS-DOSアプリケーションが、[スタート] メニューからアイコンを選択することで起動できるようになります。

■MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- [スタート] メニューの [プログラム] - [DOSアプリケーション] からMS-DOSアプリケーションのショートカットをクリックする
- [マイ コンピュータ] や [エクスプローラ] から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある [DOSアプリケーション] フォルダを開いて、MS-DOSアプリケーションのショートカットをダブルクリックする

MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する

DOS APインストーラを使用して、新しくMS-DOSアプリケーションのショートカットを作成するには、次の手順で行ってください。

■MS-DOSアプリケーションのショートカットの作成

MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成します。

- 1** [DOS APショートカットの作成] を起動すると、[DOSアプリケーションの登録] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 画面に表示される指示にしたがって、[次へ] ボタンをクリックして処理を進めてください。ハードディスクにインストールされているMS-DOSアプリケーションを起動するコマンドを入力する画面が表示されます。起動コマンドを入力するか、[参照] ボタンをクリックして起動用に作成、またはインストールされている実行ファイル(*.EXE)、バッチファイル(*.BAT)またはコマンドファイル(*.COM)を選択した後、[OK] ボタンをクリックしてください。
- 3** アプリケーション名を設定する画面が表示されますので、アプリケーション名を入力した後、[次へ] ボタンをクリックしてください。以降のデバイスドライバ、環境変数、メモリサイズの設定は、前述の「MS-DOSアプリケーションをインストールしてショートカットを作成する」で行ったのと同じ手順で設定してください。MS-DOSアプリケーションのショートカットが、[スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション]に登録されます。

■MS-DOSアプリケーションのショートカットの起動

MS-DOSアプリケーションのショートカットを起動するには、次の2つの方法があります。

- ・ [スタート]メニューの[プログラム]-[DOSアプリケーション] からMS-DOSアプリケーションのショートカットをクリックする
- ・ [マイ コンピュータ]や[エクスプローラ] から¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある [DOSアプリケーション] フォルダを開いて、MS-DOSアプリケーションのショートカットをダブルクリックする

MS-DOSアプリケーションのショートカットのデバイスドライバ、環境変数を変更する

ショートカットのデバイスドライバの内容を変更します。

- 1** デバイスドライバの内容を確認するショートカットアイコンを選択します。ショートカットアイコンにマウскарソルを近づけたまま右クリックするか、または[エクスプローラ]の[ファイル]メニューを選択し、[デバイスドライバの変更]を選択してください。使用しているデバイスドライバの一覧が表示されます。
- 2** 以降のデバイスドライバと環境変数の設定については、「 ■ MS-DOSアプリケーションのデバイスドライバ定義ファイルの編集 」と「 ■ MS-DOSアプリケーションの起動用ファイルの編集 」の手順を繰り返します。

DOS APインストーラの注意事項

- かな漢字変換ドライバのみの登録はできません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール終了後、自動的にリセットを行う(電源スイッチを押す以外の操作を受け付けない場合も含みます)MS-DOSアプリケーションは登録できません。
- MS-DOSアプリケーションのインストール途中でエラーが発生した場合は、環境設定ファイル(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BAT)は変更されたままの状態になります。
- ブロックデバイスを使用するMS-DOSアプリケーションは、正常に動作しないことがあります。
- 起動コマンドにバッチファイル(*.BAT)を指定しているアイコンを起動した場合、アプリケーションを終了してもMS-DOSプロンプトが終了しないことがあります。EXIT(␣)と入力してMS-DOSプロンプトを終了させてください。
- MS-DOSアプリケーション固有のかな漢字変換ドライバを使用するMS-DOSアプリケーションは、MS-DOSプロンプトが起動した後でかな漢字変換ドライバを使用する環境を作成(CONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを変更 し、MS-DOSアプリケーションのインストールを行ってください)。
- MS-DOSアプリケーションの動作時に必要な設定を手作業で行う場合は、MS-DOSプロンプト終了前に行ってください。
- Windows 95で使用できないドライバをCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATに追加するMS-DOSアプリケーションを登録しようとすると、「MS-DOSアプリケーションのインストール時に変更したCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATファイルの内容を元に戻しますか」という確認ダイアログが表示されます。この場合、通常は「はい」を選択してください。「いいえ」を選択すると、Windowsが起動しなくなることがあります。



- ・ MS-DOSアプリケーションのインストールを行ったことによりWindowsが起動しなくなった場合は、次の手順で環境を元に戻してください。

キーボードの[F8]キーを押した状態で本機を再起動し、WindowsをSafeモードで起動します。

[スタート]メニューの[プログラム]から[エクスプローラ]を起動し、[表示]メニューの[オプション]を選択します。

[表示]タブを選択し、[すべてのファイルを表示]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

[エクスプローラ]で[Windows]フォルダを開き、順に[スタートメニュー] [プログラム] [DOSアプリケーション] [DATA]を開きます。

次のファイルがあることを確認してください。

確認するファイルは、手順 5 の操作を行ったときの状況によって異なります。

- ・ MS-DOSアプリケーションのインストール中にリセットした場合
x_CONF.SYS
x_AUTO.BAT
(xはドライブ名)
- ・ MS-DOSアプリケーションのインストール後に環境を元に戻さなかった場合
x_CONF.yyy
x_AUTO.yyy
(xはドライブ名、yyyはファイル番号を示します。同じファイル名でファイル番号が異なるファイルが複数ある場合はファイル番号の大きいファイルを選択してください)

手順 5 で選択した2つのファイルを、ドラッグアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーします(元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます)。

コピーしたファイルを選択し、[ファイル]メニューの[名前の変更]を選択してファイル名を次のように変更します。

x_CONF.SYS / x_CONF.yyy	→	CONFIG.SYS
x_AUTO.BAT / x_AUTO.yyy	→	AUTOEXEC.BAT

手作業によるアプリケーションの登録

DOS APインストーラでインストールできないアプリケーションは、本項の説明を参考にして登録してください。以下に具体的な操作手順を説明します。あらかじめ、フォーマット済みのフロッピーディスクを1枚用意してください。なお、説明は以下の前提で行います。お使いのシステム構成と異なる場合は、読み替えてください。

- Windowsがインストールされている内蔵ハードディスク : Aドライブ
- フロッピーディスクドライブ : Cドライブ

DOS APインストーラでインストールしようとして成功しなかった場合は、手順1から順に、そうでない場合は手順7からお読みください。

- 1** [スタート]メニューの[プログラム]をポイントし、[エクスプローラ]を選択します。[エクスプローラ]ウィンドウが表示されます。
- 2** [表示]-[オプション]を選択すると、[オプション]ウィンドウが表示されます。[表示]タブを選択し、[すべてのファイルを表示]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。
- 3** エクスプローラで[Windows]フォルダを開き、順に[スタートメニュー] [プログラム] [DOSアプリケーション]と開いていき、最後に[DATA]フォルダを開きます。
- 4** [X_AUTO.BAT] [X_CONF.SYS] (Xはドライブ名)の2つのファイルをドラッグアンドドロップでドライブのルートディレクトリにコピーします(元のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは削除しておきます)。
- 5** コピーしたファイルを選択し、[ファイル]メニューから[名前の変更]を選択して、X_AUTO.BATはAUTOEXEC.BATに、X_CONF.SYSはCONFIG.SYSに名前を変更します。
- 6** コピーし、名前を変更したファイルを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択して、[属性]の[隠しファイル]のチェックマークを消します。
- 7** フォーマット済みのフロッピーディスクをCドライブに挿入し、Windowsの[エクスプローラ]を利用して、AドライブのルートディレクトリにあるCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの2つのファイルをCドライブにコピーします。
- 8** Cドライブにコピーしたファイルの名前を、それぞれCONFIG.NEC、AUTOEXEC.NECに変更します。
- 9** フロッピーディスクを取り出します。
- 10** 起動中のアプリケーションをすべて終了し、[スタート]メニューの[Windowsの終了]を選択し、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する]を選択します。

11 MS-DOSモードで再起動したらアプリケーションをインストールします。



インストール中にCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATを書き替えてもよいかどうか確認されたら、「書き替えない」を選択してください。確認メッセージが表示されなかった場合は、アプリケーションのインストール終了後、手順7で用意したフロッピーディスクをドライブに挿入して、コマンドプロンプトから次のように入力します。

```
COPY C:¥CONFIG.NEC A:¥CONFIG.SYS [F5]
```

```
COPY C:¥AUTOEXEC.NEC A:¥AUTOEXEC.BAT [F5]
```

また、アプリケーションのインストール先や起動ドライブとしてAドライブ以外のドライブを指定した場合、そこにCONFIG.SYSやAUTOEXEC.BATが存在するとそれらのファイルが書き替えられる可能性があります。その場合は、上記手順を参考にして、該当ドライブのCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATを復元してください。

12 EXIT[F5]と入力してコンピュータを再起動します。これ以降は前述の「MS-DOSアプリケーションのショートカットを作成する」を参照してください。

アプリケーションを利用する際の注意



市販のMS-DOSアプリケーションには、使用するMS-DOSのバージョンを指定しているものがあります。ご使用の際には、アプリケーションが動作するMS-DOSのバージョンを確認してください。

- ADDDRVコマンドでかな漢字変換用デバイスドライバが組み込めないアプリケーション、または終了してもMS-DOSに戻らないアプリケーションの実行方法

- 1 [エクスプローラ]で目的のプログラムのアイコンを選択します。
- 2 [ファイル]メニューの[プロパティ]を選択します。
- 3 [プロパティ]ウィンドウで[プログラム]を選択し、[詳細設定]ボタンをクリックします。
- 4 [MS-DOSモード]にチェックマークをつけ、[新しいMS-DOS設定を指定する]を選択します。

- 5** [MS-DOSモード用CONFIG.SYSファイル]と[MS-DOSモード用AUTOEXEC.BATファイル]を記述します。
- 6** [OK]ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウに戻ります。
- 7** [OK]ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウを閉じます。
- 8** [スタート]メニューの[Windowsの終了]を選択し、[MS-DOSモードでコンピュータを再起動する]を選択し、[はい]ボタンをクリックします。
- 9** コンピュータが再起動したらアプリケーションを実行します。

●登録したアプリケーションの実行環境を詳細に設定するには

各プログラムの[プロパティ]で設定を行います。詳細はヘルプの[キーワード]画面で[MS-DOSプログラム]の項目を検索し参照してください。

●登録したアプリケーションにオリジナルのアイコンを割り当てるには

各プログラムの[プロパティ]で設定を行います。次の手順でアイコンを割り当ててください。

- 1** [エクスプローラ]で目的のプログラムを選択します。
- 2** [ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
- 3** [プロパティ]ダイアログボックスで[プログラム]を選択し、[アイコンの変更]ボタンをクリックします。
- 4** [アイコンの変更]ダイアログボックスでアイコンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
- 5** [OK]ボタンをクリックして[プロパティ]のウィンドウを閉じます。

その他のアプリケーションを使う

本機では、これまで紹介したものの他にもいろいろなアプリケーションが添付されています。ここでは、これらのアプリケーションの使い方について説明します。

- その他のアプリケーションを利用する

その他のアプリケーションを利用する

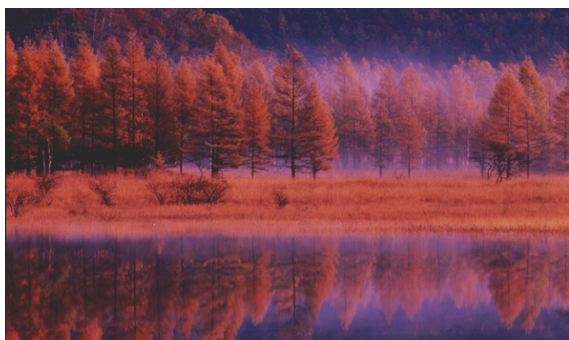
■Photo Museum ([居間]グループ)

Photo Museumは、「日本の四季」「北海道の風景」「南洋の海中」「ヨーロッパの自然と街並み」の4テーマで構成された美しい写真が、MIDI サウンドをバックに鑑賞できます。添付の3Dメガネを使うことでより迫力のある写真が楽しめる3Dモードも用意しました。詳しくは、『Photo Museum』のCD-ROMケースに記載の説明文をご覧ください。



「Photo Museum」はCD-ROMアプリケーションです。必ず本機に添付の「Photo Museum」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてから実行してください。

CD-ROMをセットせずに「Photo Museum」のアイコンをクリックしても起動することはできません。



■フジテレビ本格料理の決定版 レシピの殿堂

「くりっく亭」1号店家庭料理館 ([居間]グループ)

グルメ時代は食べるから作るへ。

約190の家庭料理レシピを楽しく検索することができます。

メニューが決まったら出来上がりの写真と材料、作り方を表示します。

さらに、その料理を作るコツをフジテレビ八木亜希子アナウンサーによるナレーションのビデオで紹介、素材や調味料などの料理のウンチクも満載していますので、料理の初心者からセミプロまで、料理の楽しさを満喫できます。また、健康に気をつかうあなたのために、栄養バランスについても、キメ細やかなアドバイスをします。

本機に添付の「くりっく亭1号店 家庭料理館」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、「くりっく亭」が起動し、支配人とシェフが自信満々に本日のおすすめ料理を紹介します。あなたの好みに合わなければ、迷わず「いやだ」を選択してください。

メイン画面では「じっくり選びたい...」「さっさと決めたい...」の二通りの選択ができます。



「くりっく亭」はCD-ROMアプリケーションです。必ず本機に添付の「くりっく亭1号店 家庭料理館」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてから実行してください。

CD-ROMをセットせずに「くりっく亭1」のアイコンをクリックしても起動することはできません。



・画面表示のモードは、640×480ドットでご使用ください。また、256色モードでも動作しますが、美しい料理の写真を豊富に使用していますので、なるべく65536色以上のモードでお使いください。

・「くりっく亭」の操作は、全てボタンを1回だけクリックすることで操作が可能です。ダブルクリックやドラッグなどの複雑な操作は必要としません。不必要に同じボタンを何度も素早くクリックすると、システムが正常に動作しない場合があります。



Copyright NEC Interchannel, Ltd., Fuji Television Inc., NEC

■ てきぱき家計簿Windowsマム ([居間]グループ)

マウスを使って簡単操作の家計簿ソフトです。

手書き家計簿帳と同イメージの週間画面から処理できます。見たい資料がボタン操作で簡単に表示でき、現金はもちろん、各口座の管理・出納帳の参照・入力、入力明細のソフトも可能です。

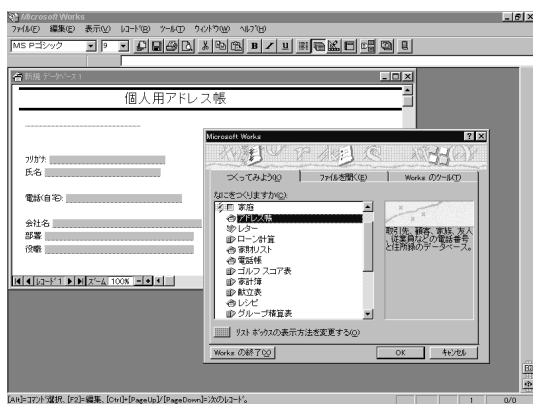
予算管理で使い過ぎのチェックもでき、充実したグラフ・日記機能も魅力です。カレンダーにイベントアイコンの貼り付けができます。



©TECHNICAL SOFT Inc. 1996

■Microsoft Works for Windows 95 ([書斎]グループ)

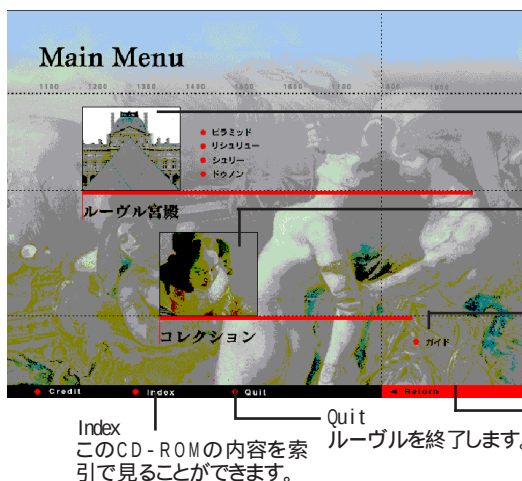
Microsoft Works for Windows 95には、30以上の「つくってみよう」が用意されており、画面の指示にしたがって入力することで、オフィス、家庭、および学校で、洗練された文章を簡単に作成できます。たとえば、取引先、顧客、友人などのアドレス帳、特殊なフォームレターや宛名ラベルの作成、売買、明細書、ローンといった表計算など数多くの機能を搭載しているWindows 95対応総合ソフトです。詳しくは、『Worksガイドブック』をご覧ください。



©1987-1995 Microsoft Corporation. All rights reserved.

■RMNデジタル・アートセレクション ルーヴル美術館 絵画と宮殿([書斎]グループ)

35万点にも及ぶ美術・工芸品の膨大なコレクションが集められた美術館であり、数世紀に渡る歴史を経て完成された世界最大級の宮殿ルーヴル。このルーヴルに所蔵されているコレクションから「モナ・リザ」など著名な100点の作品を厳選して収録しました。丹念に撮影された館内の写真と正確な間取り図をもとに再現されたルーヴル館内をインタラクティブに巡ることができます。ナレーションは森山周一郎が担当。気に入った絵の案内を聞き、その画家についての解説をひもといたり、フランスの歴史やルーヴルを巡る権力者たちの素顔を研究したり、宮殿探索を楽しみながら、美術、歴史などの知識を自然に身につけることができます。



Copyright © Montparnasse Multimedia/Reunion Des Musees Nationaux. All rights reserved.
©フジテレビ/インフォシティ1995

画面上に表示されているテキストや絵をクリックすると、そのテキストや絵に関連する色々な画面にジャンプできます。これによって、知りたい事柄や見たい絵などに素早くアクセスし、物事の関連を把握することができます。



「ルーヴル美術館」はCD-ROMアプリケーションです。必ず本機に添付の「ルーヴル美術館 絵画と宮殿」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてから実行してください。
CD-ROMをセットせずに「ルーヴル美術館」のアイコンをクリックしても起動することはできません。

● 各種機能

- 「ナレーション」：一つの作品の基本的な事項を音声で解説します。
- 「アニメーション」：作品構成をアニメーションや関連図版を表示し解説します。
- 「ディテール」：細部をクローズアップしつつ作品の内部について、音声で詳しく解説します。
- 「人物解説」：それぞれの人物についてテキストで詳しく解説します。
- 「エピソード」：作品を巡るこぼれ話を、テキストで解説します。
- 「用語解説」：専門用語をテキストで詳しく解説します。

収録画家、重要な関連人物、文書中の重要な用語や専門用語、歴史的イベントなどはそれぞれの解説テキストへ相互にリンクするようになっています。

■冠婚葬祭[書斎]グループ)

● 紹介

主婦の友社発行の実用書「冠婚葬祭」の内容が主体で、添付の「冠婚葬祭」のCD-ROMを使用します。

全体は、7つの章に分かれています。おめでたいことを扱う「冠」、婚約や結婚をテーマにした「婚」、葬儀や法要を中心にした「葬」、そして祭事が主題の「祭」、さらにそれらの中から「手紙」と「挨拶・スピーチ(音声あり)」を集め、独立した2つの章にしています。また、儀式につきものの「熨斗(のし)」を集め、その折り方と、儀式の際に大きな問題となる各種の金銭の平均値を一覧表にして付録としています。



©1996 Shufunotomo CO.,Ltd, /NEC Interchannel ,Ltd.

● 操作方法

本機に添付の「冠婚葬祭」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、メニュー画面が表示されます。ご覧になりたい項目を選択してください。また、どの画面からでも画面上部のメニューバーからお好きな項目にジャンプできます。



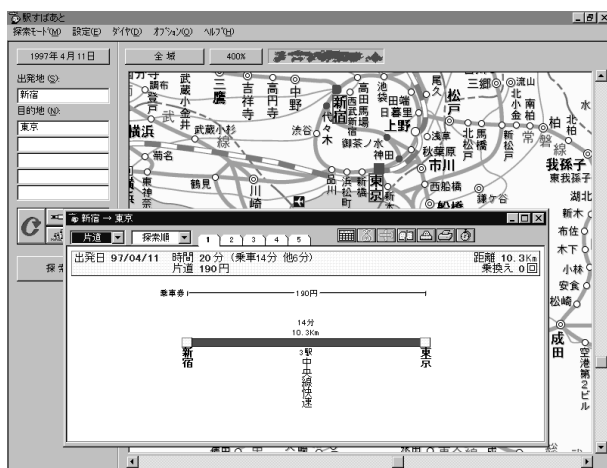
「冠婚葬祭」はCD-ROMアプリケーションです。必ず本機に添付の「冠婚葬祭」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてから実行してください。CD-ROMをセットせずに「冠婚葬祭」のアイコンをクリックしても起動することはできません。



- ・画面表示は、256色以上でお使いください。
- ・「冠婚葬祭」の操作は、画面上部のメニューバー以外はボタンを一回だけクリックすることで操作が可能です。ダブルクリックやドラッグなどの複雑な操作は必要としません。不必要に同じボタンを何度も素早くクリックすると、システムが正常に動作しない場合があります。
- ・各Part(章)の最初の画面は印刷できません。
- ・付録以外の各Part(章)内では、画面左下の三角アイコンをクリックすると、そのPartの最初の画面に戻ることができます。
- ・目次に戻る場合は、画面上部のメニューバーの「ファイル」-「目次」をクリックしてください。

■ 駅すばあと for Windows 95〔書斎〕グループ)

駅すばあと for Windows 95は、人工知能 / 知識ベースを活用し、パソコン上での利用を初めて可能にしたWindows 95対応全国交通網案内システムです。簡単な操作で目的地に最短時間で行くための路線や乗り換え、運賃、距離、待ち時間などの情報をすばやく検索できます。詳しくは〔書庫〕グループの「お読みください」フォルダにある「駅すばあとオンラインマニュアル」をご覧ください。



Copyright©1988-1997 (株)ヴァル研究所 All rights reserved.

■通信カラオケシングる ([プレイルーム]グループ)

シングるはパソコン通信を利用して音楽データを受信、演奏する家庭用通信カラオケです。あなたのパソコンを使ってホームパーティなどでお楽しみください。



シングるは、メディアコントローラで演奏の開始 / 中断 / 中止・次曲 / 前曲の頭だしなどが行えます。



Copyright © MasterNet Corporation 1995,1997

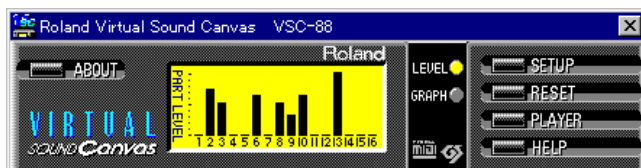
■Virtual Sound Canvas VSC-88 ([プレイルーム]グループ)

GS ソフトウェア・シンセサイザー「Virtual Sound Canvas VSC-88」は、パソコンだけでMIDI演奏をお楽しみいただけるようにするソフトウェアです。もちろんGS/GM対応音源だから、サウンド・クオリティーも折り紙つき。

546音色 + 15ドラム・セットという豊富な音色数、多彩なエフェクトやフィルタを搭載し、GS音源用の豊富なミュージック・データを忠実に再生することができます。

MMX₃テクノロジーPentium³プロセッサに対応していますので、CPUの能力を最大限に引き出した演奏が可能です。

詳しくは、オンライン・ヘルプをご覧ください。



Copyright © 1994-1996 by Roland Corporation

■通信ジュークカラオケ ([プレイルーム]グループ)

NTTビデオテックス回線を利用して、自宅にいながらいつでも通信カラオケが楽しめます。カラオケではおなじみの「文字なめ 色変わり」機能を装備し、もちろん曲のテンポやキーの調整も自由自在。カラオケ・データのジャンルは多彩で、新曲もどんどん増加中!一度ダウンロードしたデータはハードディスク内に記憶されるので、何度でも繰り返し歌うことができます。

詳しくは『通信ジュークカラオケ説明書』およびオンライン・ヘルプをご覧ください。

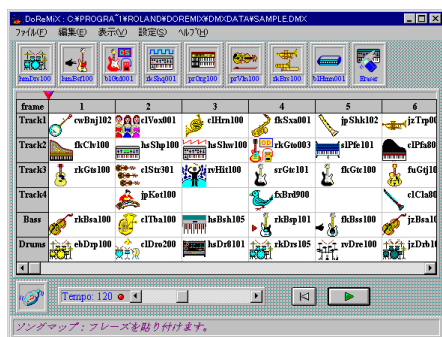


Copyright © 1994-1996 by Roland Corporation
Copyright © 1995 by Borland International, Inc.

■DoReMiX ([プレイルーム]グループ)

DoReMiXは、パズル感覚で作曲が楽しめる音楽作成ツールです。4小節単位でアイコン化されたフレーズ・データをドラッグ&ドロップでマップ上に貼り込むだけで曲が作れます。フレーズ・データは、クラシックやロックなどジャンル別に分類された510種類から選択可能。マップは、ベース、リズムを含む6パート構成。スタンダードMIDIファイル形式への出力(フォーマット 0)に対応し、オリジナルのフレーズも使用できます。

詳しくは、オンライン・ヘルプをご覧ください。



Copyright © 1994-1996 by Roland Corporation

■MusicBox ([プレイルーム]グループ)

情感あふれるオルゴールの演奏を再現。実物のオルゴールさながらにドラムが回転して曲が演奏されます。また、強・中・弱の3種類のピンを並べるだけで、オリジナルの演奏データも簡単に作成可能。コードの入力もできます。音色はオルゴールのほか、ビブラフォン、マリンバ、琴など10種類。できた曲はスタンダードMIDIファイル(フォーマット 0)として保存することもできます。

MusicBox曲集では、本機に内蔵されている音楽を聴くことができます。
基本的な操作方法是以下のとおりです。

- 1** [プレイルーム]グループの[MusicBox曲集]アイコンをクリックします。
- 2** 表示された画面で、演奏したい曲のアイコンをクリックします。
- 3** オルゴールの絵をクリックします。
[MusicBox]の画面が表示されます。
- 4**  ボタンをクリックすると、手順2で選択した曲が演奏されます。
- 5**  ボタンをクリックすると、演奏が停止します。



MusicBox曲集の詳しい操作方法については、MusicBoxのヘルプをご覧ください。ヘルプは  ボタンをクリックして起動します。



Copyright © 1994-1996 by Roland Corporation



■ バーチャロン ([プレイルーム]グループ)

「 電脳戦機 バーチャロン(Cyber Troopers VIRTUAL-ON)」(以降、バーチャロン)
の基本操作方法について説明します。

● ゲームの紹介

バーチャロンは、格闘ゲームです。あなたは電脳暦(Virtual Century)の新兵器バー
チャロイドを操作して、敵のバーチャロイドと戦ってください。

● 起動方法

次の手順でゲームをはじめます。

1 VIRTUAL-ON CDをCD-ROMドライブにセットします。「ようこそCYBER TROOPERS
VIRTUAL-ON(TM)へ」の画面が表示されますので、[プレイ]ボタンをクリックしま
す。
すでにVIRTUAL-ON CDがセットされている場合は、[プレイルーム]グループの
[VIRTUAL-ON]をクリックします。

2 スペースキーを押すとモード選択画面になります。[W] [S]キーで希望のモードを
表示して、スペースキーで選択してください。
次のモードがあります。

- ・ 1Player Mode 1人用プレイのモードです。
- ・ 2Player versus 2人用プレイのモードです。
- ・ Network versus 通信対戦用のモードです。

● 基本操作

バーチャロンの基本操作は次の通りです。詳細な操作方法については、ゲームの起動
後、[F1]キーで表示されるヘルプをご覧ください。

- | | | |
|-------------------|---------------------------------|-----------|
| ・ スタートボタン | スペースキー | |
| ・ モード選択 | [W] [S]キー | |
| ・ マシン選択 | [A] [D]キー | |
| ・ 前移動 | [W]キー | ・ 右武器使用 |
| ・ 後移動 | [S]キー | ・ 左武器使用 |
| ・ 右移動 | [D]キー | ・ 両武器使用 |
| ・ 左移動 | [A]キー | ・ ダッシュボタン |
| ・ 右旋回 | [E]キー | ・ 視点変更 |
| ・ 左旋回 | [Q]キー | ・ ジャンプ |
| ・ しゃがみ
(ガード) | [V]キー (攻撃キーとの組み合わせで使用できます。) | |



- ・ゲームの設定は`[GRPH]`キーで起動されるメニューバーで変更できます。
- ・操作方法の設定は`[F・7]`キーで表示される「Device Settings...」で変更できます。
- ・別売のマイクロソフト サイドワインダーゲームパッドなどをご利用になると、より快適に操作することができます。

● ゲームの終了

ゲームを終了するには、`[GRPH]` + `[F・4]` キーを押してください。

● バーチャロン使用時のご注意

- ・バーチャロンは、CD-ROMアプリケーションです。必ず、VIRTUAL-ON CDをCD-ROMドライブにセットしてから実行してください。CD-ROMをセットせずにバーチャロンのアイコンをクリックしても起動することはできません。
- ・バーチャロンのプレイ起動時および、各ステージの最初に、一時的にディスクドライブの動作音が大きくなったり、画面の表示が遅くなることがあります。これは大量のデータを読み込み処理しているためで、故障ではありません。この現象は、バーチャロンの画面の表示設定を変更するか、メモリを増設することで、防ぐことができます。
- ・バーチャロンには通信対戦機能があります。2台のパソコンをモデム、LAN環境、シリアルクロスケーブルのいずれかの方法で接続することで、対戦プレイが可能です。(両方のパソコンにVIRTUAL-ON CDが必要です)通信対戦の方法については、ヘルプをご覧ください。また、通信環境の設定については、パソコン本体、モデム、ネットワークボードのマニュアルをご覧ください。LANを使用する場合、ご利用になれるネットワークボードは、NEC純正品のみです。

■ ジグザット ([プレイルーム]グループ)

ジグザットの基本操作方法について説明します。

● ゲームの紹介

ステージが画面中央に浮かんでいます。そのステージの上の方から色々な形、色々な重さのブロックが1個ずつ落ちてきます。このブロックをステージ上にバランスをとりながら載せていきます。



● 起動方法

[プレイルーム]グループの[ジグラット]をクリックします。
ゲームが起動します。

● メニュー画面

起動するとメニュー画面が表示されます。



Copyright © 1996 TRUNK All rights reserved.

この画面では次のボタンがあります。

Simple factory それぞれのゲームを開始します。

Combination factory

Collosseum

HIGH SCORE それぞれのゲームのトップ10のスコアが記録され、表示されます。記録されたスコアをクリックすると、そのスコアの情報が表示されます。矢印のボタンで、ゲームのスコアを切り替えます。

SET UP 画面や音の設定を行います。

OPEN ゲームを行っている時にセーブしたゲームを開いて、その続きからゲームを再開します

QUIT ジグラットを終了します。

[Select Game]の中の[Simple factory][Combination factory][Collosseum]から、ゲームを選択してください。

● ゲームのルールと目的

それぞれのゲームのルールと目的は以下のとおりです。

• Simple factory

1種類の重さの、単純な形のブロックが落ちてきます。このゲームの目的は、立体的なオブジェクトを作ることです。

• Combination factory

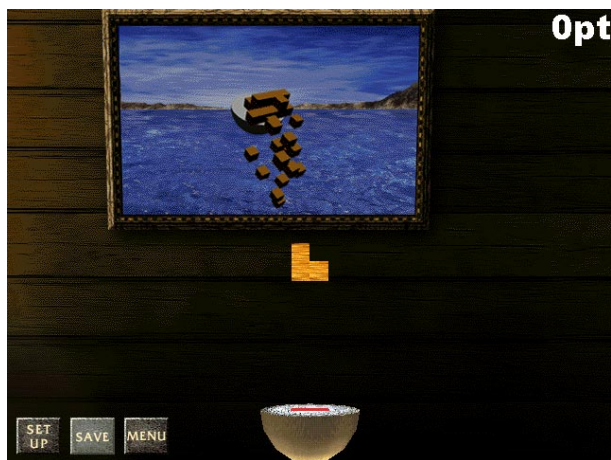
3種類の重さの、複雑な形のブロックが落ちてきます。このゲームの目的は、ステージ上にバランスをとりながら、出来るだけ数多く出来るだけ高くブロックを載せて高得点を狙うことです。

• Collosseum

3種類の重さの、複雑な形のブロックが落ちてきます。このゲームの目的は、10のレベルをクリアすることです。30～100個のブロックをステージに載せるとレベルをクリアすることができます。

● ゲーム画面

ゲームを選択すると、ゲーム画面が表示されます。



この画面はSimple factoryです。

Copyright © 1996 TRUNK All rights reserved.

この画面では次のボタンがあります。

SETUP	画面や音の設定を行います。
SAVE	ゲームをセーブします。メニュー画面でOPENをクリックして、セーブしたゲームを開くとセーブした時点からゲームを再開できます。
MENU	メニュー画面に戻ります。



● 基本操作

・ブロックの移動

テンキーの $\boxed{5}$ 、または $\boxed{H}$ の上下左右にあるキーで移動の操作をします。

・ブロックの回転

$\boxed{SHIFT}$ キーまたは $\boxed{TAB}$ キーを押しながら、テンキーの $\boxed{5}$ または $\boxed{H}$ と、テンキーの $\boxed{5}$ または $\boxed{H}$ の上下左右のキーで回転の操作をします。

・視点の移動

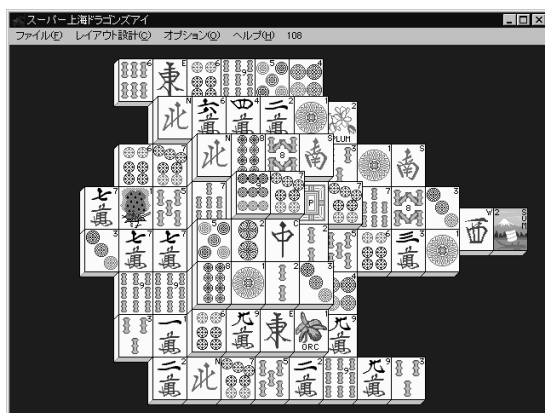
テンキーの $\boxed{7}$ または $\boxed{T}$ で左へ移動、テンキーの $\boxed{9}$ または $\boxed{U}$ で右へ移動します。
テンキーの $\boxed{1}$ または $\boxed{B}$ で上へ移動、テンキーの $\boxed{3}$ または $\boxed{M}$ で下へ移動します。

■ スーパー上海ドラゴンズアイ([プレイルーム]グループ)

● 上海

上海の目的は、一度に2個ずつ、レイアウトから144個全部の牌を取り除くことです。取り除く時は2個組でなければならず、しかもその2個は、基本的に同じ模様でなければなりません。上に何ものっていなくて、左右のどちらか一方、またはその両方に動けず、その牌は取れるものとみなされます。画面の上方あるいは下方にしか動かない牌は取ることができません。

詳しくはオンライン・ヘルプをご覧ください。



©1990,1991,1994,1996,1997 Activision,inc.All rights reserved.



「スーパー上海ドラゴンズアイ」を起動するときは、MIDI デバイスを使用している他のアプリケーションを終了させてから、行ってください。

●ドラゴンズアイ

ドラゴンズアイは、マスターとスレイヤーに分かれて対戦します。

ドラゴン・マスターの目的は、1段目の高さのディスプレイのスペースと、2段目の高さのドラゴンの心臓と手足の部分全部を埋めて、最強のドラゴンを作ることです。かたやドラゴン・スレイヤーの目的は、ドラゴンのディスプレイから全ての牌を取り除くことです。

勝敗は、両者の獲得したポイントの合計を比較し、決定します。

詳しくはオンライン・ヘルプをご覧ください。

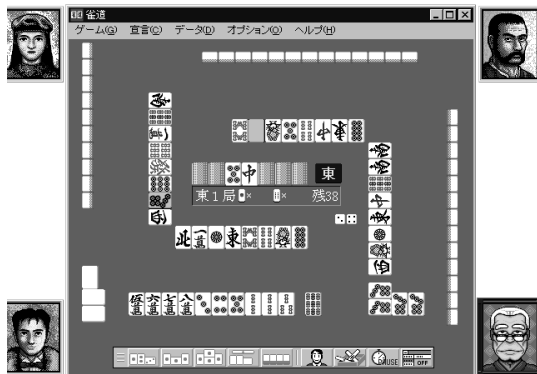
■雀道〔プレイルーム〕グループ

雀道は本格派四人打ち麻雀ゲームです。一人はあなたが、残りの三人は添付されているコンピュータキャラクタの中から選んで対戦を行います。

コンピュータもあなたも、戦う条件は同じ。自分の手牌及び表示されている牌以外の情報は持ちませんし、もちろん「積み込み」といった不正なテクニックも使いません。設定により、あなたは参加せず、コンピュータ同士の対局を「観戦」しながら、各キャラクタの打ち方を研究することもできます。

また、添付されているキャラクタの他に、性格や思考・役の好みなどを任意に設定して、自分だけのオリジナルキャラクタを作成することも可能です。作成したキャラクタは、他のコンピュータキャラクタや、友人の作ったキャラクタと戦わせることができ、「自分の手で強い雀士を作成する」というシミュレーションゲーム的な面白さを味わうこともできます。

詳しくはオンライン・ヘルプをご覧ください。



©1994,96 SystemSoft Corporation/Mediarium Corporation

■AI将棋Ver.1.5R〔プレイルームグループ〕

AI将棋は、「思考時間を長く取れば取るほど強くなる」といわれていた将棋ソフトの常識を塗り変え、快適なレスポンスで、なおかつ強いといういわば将棋ソフトの定番です。

「ハンディ機能」や「盤面編集機能」を使って、駒を自由に配置し、対局を楽しむことができます。さらに、「待ったあり」の「アンドゥ機能」、任意の局面まで戻し、そこから違った手を指すことができる「再生機能」も用意。初心者の方のためには棋力アップを図ることができる「保存対局の呼出、再生機能」も用意しています。また、自分の好きな絵を将棋盤に貼り付けることもできます。

詳しくは「書庫」グループの「お読みください」フォルダにある「AI将棋Ver.1.5Rお読みください」をご覧ください。



©1993-7 Hiroshi Yamashita
©1997 ASCII SOMETHING GOOD CORPORATION

Windowsを使う

本機では、CEREBメニューのかわりにWindowsのデスクトップを使うこともできます。

- Windowsのデスクトップを利用する

Windowsのデスクトップを利用する

■ デスクトップの操作

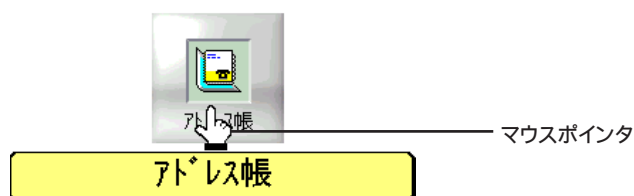
[操作モード切り替え]で、[デスクトップ]を選択すると、Windowsのデスクトップを使うことができます。デスクトップの操作は、アプリケーションの起動方法などCEREBメニューでの操作と異なります。

● アプリケーションの起動方法

・ CEREB メニューの場合

1つの画面には1つのグループだけが表示されます。

- 1 [グループ] ボタンと [グループ切り替え] ボタンを操作して、起動したいアプリケーションがあるグループを表示させます。
- 2 [アプリケーション起動 アイコン] をクリックします。
- 3 アプリケーションが起動します。



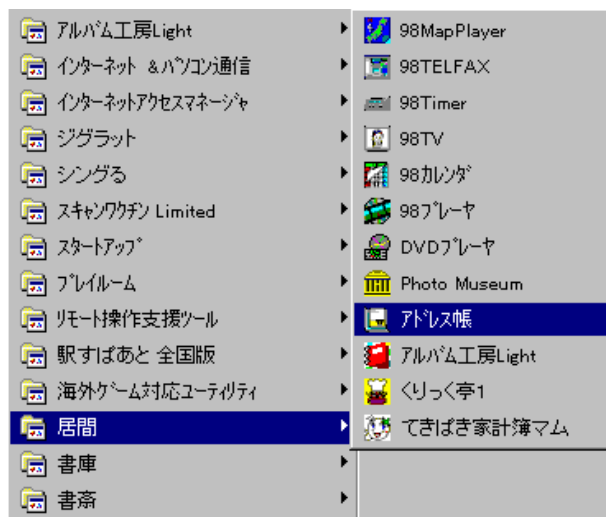
フォルダのアイコンをクリックすると、さらにアイコンが表示されます。これらのアプリケーションを起動するには、アイコンをクリックしてください。

・ デスクトップの場合

画面左下の [スタート] ボタンをクリックしてメニューを表示させます。このメニューにWindowsを使い始めるにあたっての、すべての項目が含まれています。ここでは、アプリケーションの起動方法の一例を説明します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックしてメニューを表示させ、[プログラム] にマウスポインタをあわせます。
- 2 右側に [プログラム] のメニューが表示されますので、起動したいアプリケーションがあるフォルダにマウスポインタをあわせます。

3 さらに表示されたメニューから起動したいアプリケーションをクリックします。

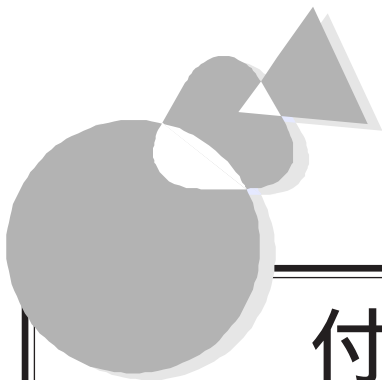


PC-9821C166/Dの場合、画面が多少異なります。

4 アプリケーションが起動します。



- ・ 電源をOFFにするには、Windows 95の[スタート]メニューから、[Windows の終了]をクリックし、「コンピュータの電源を切れる状態にする」を選択します。[はい]ボタンをクリックすると、電源がOFFになります。詳しくは、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。
- ・ デスクトップの操作については、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をご覧ください。



付録

各アプリケーションをメディアコントローラで操作する方法を一覧で紹介します。詳しくは各アプリケーションの説明をご覧ください。

- メディアコントローラ操作早見表
- 索引

メディアコントローラ操作早見表

メディアコントローラでの操作の一覧表です。メディアコントローラに関する詳しい説明や注意事項は、各アプリケーションの説明、および『ステップアップガイド』をご覧ください。

■ 共通の操作

操 作	ボタン
本機の電源をONにする	電源
メニューに戻る	メニュー
アプリケーションを終了する	終了
キーボードの[Enter]キーを押す	↵
キーボードの[ESC]キーを押す	ESC
音量を調整する	音量
音を一時的に消す(消えている場合は解除)	消音
インターネットアプリケーションを起動する	インターネット
98TELFAXを起動する	電話
98Timerを起動する	タイマ
98TVを起動する	テレビ
モニタ切り替えをする(モニタ切替有効時のみ)	モニタ切替
サスペンドを行う	スリープ

購入時の状態では、インターネットエクスプローラが起動するように設定されています。起動するインターネットアプリケーションはメディアコントローラユーティリティで変更することができます。メディアコントローラユーティリティについて、詳しくは『ステップアップガイド』をご覧ください。

■ 98 インスタントTVの操作

BSワイドディスプレイテレビを接続の場合

操 作	ボタン
本機の電源をONにし、テレビをつける	テレビ
テレビを消して本機の電源をOFFにする	電源
チャンネルを変える	チャンネル
音量を調整する	音量

17 インチディスプレイ(PC-DH171)を接続の場合

操 作	ボタン
本機の電源をONにし、テレビをつける	テレビ
テレビを消して本機の電源をOFFにする	電源
チャンネルを変える	チャンネル
音量を調整する	音量
色を調整する	▲▼で調整項目の表示 ◀▶で調整



- ・ BSワイドディスプレイテレビ添付のリモコンでもチャンネルや音量切り替えを行うことができます。
- ・ 98インスタントTVは、BSワイドディスプレイテレビまたは17インチディスプレイ(PC-DH171)を接続している場合に、ご利用になれます。

■98 インスタントCD プレーヤの操作

操 作	ボタン
本機の電源をONにし、CDプレーヤを起動する	▶▶ ■ ◀◀ ▶▶ のいずれか
CDを再生する	▶▶
CDプレーヤを消して本機の電源をOFFにする	電源

■98 TV の操作

操 作		ボタン
テレビをつける		テレビ
テレビを消す	テレビを終了する(ウィンドウ内表示のとき)	テレビ
	テレビを終了する(全画面表示のとき)	電源
チャンネルを変える		チャンネル
音量を調整する		音量
主音声 / 副音声を切り替える(全画面表示のときのみ)		▲▼で調整項目の表示 ◀▶で調整
テレビとビデオの画像を切り替える(全画面表示のときのみ)		▲▼で調整項目の表示 ◀▶で調整
全画面表示にする		フル画面
画像を取り込む	静止画を取り込む(クリップボードへ転送する)	●
	動画を取り込む(ウィンドウ内表示のときのみ)	●(始まり) → ■(終了)
取り込んだ画像を再生する		▶▶
取り込んだ画像の画面からテレビの画面に戻る		■
色を調整する(全画面表示のときのみ)		▲▼で調整項目の表示 ◀▶で調整

17インチディスプレイ(PC-DH171)接続時のみ操作できます。

■98 プレーヤの操作

操 作		ボタン
98プレーヤを終了する		終了
CDを再生する		▶▶
CDの再生を停止する		■
一時停止する		▶▶
一時停止を解除する		▶▶
早送りする		▶▶(押し続ける)
巻き戻す		◀◀(押し続ける)
曲の頭出しをする		◀◀▶▶
プレイバックコントロールウィンドウを 操作する	前の画面へ戻る	◀
	次の画面へ進む	▶
	数値を増やす	▲
	数値を減らす	▼
	メニュー画面にもどす	E S C
	選択画面を表示する	↵
	選択した番号を決定する	↵
音量を調整する		音量
CDをイジェクトする		■

■98 TELFAX の操作

操 作		ボタン
98TELFAXを起動する		電話
留守録を再生する		▶▶
留守録の再生を停止する		■
次の留守録を再生する		▶▶
再生している留守録を最初から再生する		◀◀



■ 98Timer の操作

操 作		ボタン
カーソルを移動する	右へ移動する	▶
	左へ移動する	◀
カーソルが時刻表示にあるときに、時刻表示を変更する	1ずつ大きくなる	▲
	1ずつ小さくなる	▼

■ シングルの操作

操 作	ボタン
選曲をキャンセルする	ESC
選択項目を確定する	↵
演奏を開始する / 中断する	▶
演奏を中止する	■
早送りする	▶▶ (押し続ける)
巻き戻す	◀◀ (押し続ける)
曲の頭出しをする	◀◀ ▶▶

■ 98MapPlayer

操 作	ボタン
地図を一段階詳細な表示に変更する	◀◀
地図を一段階広域な表示に変更する	▶▶
地図をスクロールする	▲ ▼ ◀ ▶ (4方向)

■DVDプレーヤの操作(PC - 9821C233 / Vのみ)

操 作	ボ タ ン
DVDプレーヤを終了する	終了
再生する	▶▶
停止する	■
一時停止	▶▶
早送りで再生する	▶▶▶ (押し続ける)
早戻しで再生する	◀◀◀ (押し続ける)
曲(画面)の頭出しをする	◀◀▶▶
イジェクトする	■

■ビットキャストブラウザの操作(PC-9821C166/Dのみ)

『ビットキャストブラウザ ユーザーズガイド』をご覧ください。

索引

記号

98Film工房	104
98MapPlayer	94
98TELFAX	137
98Timerを使う	142
98TVを操作する	22
98インスタントCDプレーヤ	91
98インスタントTV	40
98カレンダー	150
98プレーヤ	81

A

AI将棋Ver.1.5R	209
Angel Line for Windows	160

B

BIGLOBEサインアップナビ	43
-----------------------	----

C

CDを再生する	82
CEREBメニュー	14

D

DoReMiX	201
DOS APインストーラ	181
DOS APインストーラの注意事項	188
DVDプレーヤを使う	74

F

FontAvenueフォント	166
FontAvenueボードの注意事項	176

L

LANシリーズのデータを見る	177
----------------------	-----

M

Microsoft Works for Windows 95	196
MusicBox	202

N

NIFTY Manager	55
NIFTY Managerの起動	61
NIFTY-Serveに接続する	61

NIFTY-Serveへの接続	64
NIFTY-Serveを利用する	55
NIFTY-Serveサインアップ	55

P

PC-VANナビゲータの起動	52
PC-VANに接続する	52
PC-VANへの接続	53
Photo Museum	194

R

RMNデジタルアートセレクション	196
------------------------	-----

S

ScanVakzin Limited	163
ScanVakzin Limitedを使ってウイルスを 検査する	163

T

TrueType版FontAvenueフォント	166
-------------------------------	-----

V

Virtual Sound Canvas VSC-88	200
-----------------------------------	-----

W

Windowsを使う	211
------------------	-----

ア

アプリケーション一覧	2
アプリケーションのファイルの保存	16
アプリケーション利用上の注意	12
アプリケーションを起動する	15
アプリケーションを終了する	16
アプリケーションを利用する際の注意	191
アルバム工房Light	110
アルバムを作る	110

イ

イメージスキャナユーティリティ	122
イメージスキャナユーティリティの注意事項	127
イメージデータを編集する	129
色の調整	35
インターネットを使う	65

エ

英語モードフォント	179
英語を日本語に翻訳する	70
英文を作成する	68
駅すばあと for Windows 95	199

オ

オーディオCD/ビデオCDの再生順序を 指定する	88
オーディオCDを聴く	83

カ

カーナビゲーション用CDを再生する	94
画像や音声を編集する	104
画像を読み込んで編集する	124
カラーイメージユーティリティ	128
カラーイメージユーティリティの注意事項	130
カレンダーを使う	150
冠婚葬祭	198

ク

くりっく亭	194
-------------	-----

コ

コンピュータウイルスに備える	163
----------------------	-----

シ

ジグザット	204
雀道	208
シングる	200

ス

スーパー上海ドラゴンズアイ	207
---------------------	-----

ツ

通信ジュークカラオケ	201
------------------	-----

テ

ディスプレイの設定	129
テキストリーダー	158
てきばき家計簿Windowsマム	195
手作業によるアプリケーションの登録	190
テレビを見る	21
電話番号検索サービスを利用する	160

ハ

バーチャロン	203
はがきを作る	115
パソコン通信	42
パソコンで電話番号案内を使う	160

ヒ

ビデオCD(カラオケCD)を見る	85
ビデオを作る	121

フ

ファックスを受信する	138
ファックスを送信する	137
フォトCDを見る	89
フォントを利用する	166
フジテレビ本格料理の決定版 レシピの 殿堂	194
文章をパソコンに読ませる	158

ホ

ボイスリモコン	155
翻訳アダプタ	68, 70

マ

マルチメディア機能を使う	73
マルチメディア機能を使う場合の注意	131

メ

メディアコントローラ操作早見表	216
-----------------------	-----

ヨ

読み込む画像の設定を変更する	124
----------------------	-----

ル

留守番電話機能を使う	134
------------------	-----

CEREB
セラブ